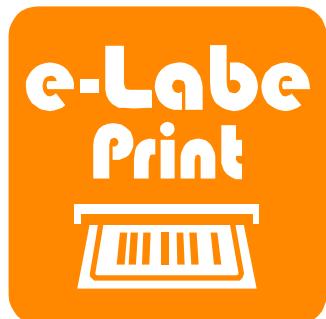




e-Labe

操作マニュアル



ご注意

1. 本ソフトウェアの著作権は、株式会社サトーにあります。
2. 本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. 本ソフトウェアおよびマニュアルは、本製品のソフトウェア使用許諾のもとでのみ使用することができます。
4. 本ソフトウェアおよびマニュアルを使用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本ソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

サトー、SATO ロゴ、FLEQV、e-Labe およびそのロゴは、株式会社サトーの商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Android は Google Inc.の商標です。

その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

例やサンプルで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名とは一切関係がありません。

目次

ご注意	2
目次	3
動作環境、対応プリンタ	5
本マニュアルについて	5
e-Labeについて	6
プロジェクトファイルとフォーマットファイルについて	7
STD形式とPRO形式について	7
準備	10
e-Labe Designerをコンピュータにインストールする	10
e-Labe Designer画面の説明	14
e-Labe PrintをFLEQV FX3-LXにインストールする	15
e-Labe Printをアンインストールする	19
ラベル発行手順	22
ラベル発行の流れ	22
(1) レイアウトを作成する	23
(2) フォーマットファイルをプリンタに送信する	37
(3) ラベルを発行する	81
データ連携処理機能	99
主要なオプション機能	99
フォーマット別マスター編集機能	102
e-Labe Designerでマスター編集用フォーマットファイルを準備する	102
フォーマット別マスター編集を利用するための設定をおこなう	104
フォーマット別マスター編集をおこなう	106
データ更新時フォーマット別マスター編集ファイルをクリアする	153
Printで編集したマスターデータを自動バックアップする	155
Designer編集前にPrintのマスターデータを取り込んで同期をとる	158
発行履歴機能	170
発行履歴項目	170
発行履歴機能の基本設定	173
発行履歴のオプション機能	177
発行履歴データを取得する	179
e-Labe Printの発行履歴表示機能を利用する	188
SATO App Storageの発行履歴管理機能を利用する	193

目次

[付録]印字中止時の発行履歴データについて	200
便利な機能	201
1. 複数枚貼りレイアウト機能	201
2. ヘッダラベル・テールラベル機能	201
3. 発行枚数のプリセット、参照機能	202
4. 発行枚数の上限／下限チェック機能	203
5. バーコード発行で読み込んだ値の一部を使用して検索する機能	204
6. バーコード発行で読み込んだ値を印字データとして参照する機能	205
e-Labe Print のバックアップと復元	206
バックアップ世代数を設定する	206
USB ストレージにバックアップする	208
USB ストレージから復元する	210
e-Labe Print の設定メニュー	215
設定メニューを表示する	215
マスター編集	216
操作設定	217
システム管理	224
外部ストレージ連携管理	228
周辺機器接続設定	233
発行履歴設定	234
スペック表	235
トラブルシューティング	237

動作環境、対応プリンタ

本製品は、以下の機器やソフトウェア環境で動作可能です。

・動作環境

項目	動作環境	備考
OS	Windows 11	※ARM 版 Windows には対応していません。
CPU	2GHz 以上 (デュアルコア以上推奨)	
メモリ	1024MB 以上の RAM	
ハードディスク	1GB 以上の空きスペース	
画面解像度	XGA(1024×768)以上 SXGA (1280×1024) 以上推奨	
外部ストレージ	SATO App Storage	TLS1.2 対応
その他	Adobe Reader 10.1.4 以上	ヘルプファイル表示

・対応プリンタ

分類	型式
スタンドアロンプリンタ	FX3-LX Plus
卓上プリンタ	CL4-SXR シリーズ, SCeaTa(シータ) CT4-LX シリーズ, CL4NX-J Plus シリーズ,
タフアーム	LR4NX-FOOD

※卓上プリンタ、タフアームで発行する場合は、別途 e-Labe 専用タブレットが必要となります。

本マニュアルについて

本マニュアルは、FX3-LX でのご利用をベースに記載しております。

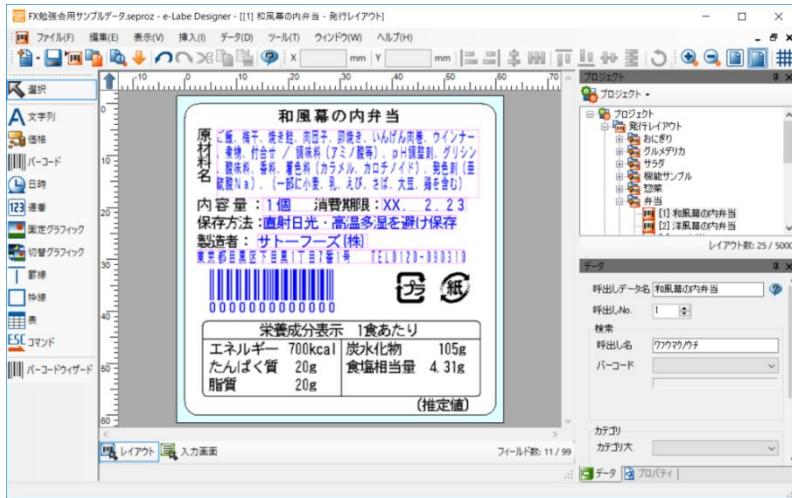
卓上プリンタをご利用の場合は、「導入ガイド[タブレット運用]」も併せてご参照ください。

タフアームをご利用の場合は、「操作マニュアル[LR4NX-FOOD]」をご参照ください。

e-Labeについて

e-Labeは、コンピュータでプリセットデータを作成するラベルデザイン作成ツール e-Labe Designer と、FX3-LXに登録されたプリセットデータを呼び出すプリセット発行アプリケーション e-Labe Printの2つで構成されています。

e-Labe Designer



Windowsコンピュータにインストールして使用します。コンピュータで印字イメージを確認できるので、ラベルデザインを簡単に作成、編集することができます。作成したラベルデータをSAS (SATO App Storage)などのサーバ経由やUSB経由でe-Labe Printに登録（プリセット）します。

e-Labe Print



登録されたデータをe-Labe Printで呼び出し、必要に応じて編集して発行します。呼び出し方法は5種類の中からお選びください。

プロジェクトファイルとフォーマットファイルについて

プロジェクトファイル：e-Labe Designer でレイアウトデータを管理するためのファイルです。

ファイルアイコンは「P」マークです。



フォーマットファイル：プロジェクトファイルを e-Labe Print 用にアーカイブしたファイルです。

ファイルアイコンは「F」マークです。



STD 形式と PRO 形式について

e-Labe Designer(Ver.1.3.0.0 以上)では、2つの形式から選択して作成可能です。

データの管理方法や利用可能な機能が異なります。

＜主な機能の違い＞

項目	PRO(プロ)形式	STD(スタンダード)形式
アイコン色	青  	オレンジ  
プリセットデータ最大件数	9,999 件	5,000 件
発行端末でのマスタ編集	○	×
上位システムとのマスタ連携	○	×
「食品大目付そうけんくん」連携	○	×
発行時のレイアウト切り替え	○	×
Windows フォントの使用※ (固定文字のみ)	△	○

※どちらの形式も発行時入力項目には使用できません

・ PRO 形式：呼出しテーブルプロジェクト

- [特長]マスターの一元管理や、多店舗展開の運用に適しています。



- [作成方法] 「呼出しテーブル」に商品マスターやレイアウトの組み合わせを登録します。

データサイズは比較的小さくなります。

呼出しテーブル

登録No.	呼出し名	レイアウトNo.	名称	原材料	内容量	賞味期限
0001	バタークッキー	[1]焼菓子レイアウト	焼菓子	小麦粉、砂糖、ショートニング:4枚	14	
0002	アーモンドクッキー	[1]焼菓子レイアウト	焼菓子	小麦粉、砂糖、ローストアーモンド:4枚	14	
0003	チョコクッキー	[1]焼菓子レイアウト	焼菓子	小麦粉、砂糖、ショートニング:4枚	14	
1001	生チョコレート	[2]生洋菓子レイアウト	洋生菓子	生クリーム、砂糖、全粉乳、生チョコ	50	
1002	生チョコ抹茶	[2]生洋菓子レイアウト	洋生菓子	ココアバター、砂糖、生クリーム、抹茶	50	
1003	生チョコ苺	[2]生洋菓子レイアウト	洋生菓子	ココアバター、砂糖、生クリーム、苺	50	

[1]焼菓子レイアウト

[2]生洋菓子レイアウト

・ STD 形式：基本レイアウト／発行レイアウト用プロジェクト

- [特長]商品数が少ない場合や簡易的な発行に適しています。



- [作成方法]アイテム数分の「発行レイアウト」を作成します。「基本レイアウト」を使用すれば、発行レイアウトを一括生成できます。PRO 形式と比べるとデータサイズは大きくなります

発行レイアウト

バタークッキー

名称: 焼菓子
原材料名: 小麦粉、砂糖、ショートニング、
バター、全脂牛乳、加糖脱脂炼乳、食盐、植物油
油脂 / 香料 (大豆由来)、膨脹剂、乳化剂 (大
豆由来)、着色料 (カロテン)

内容量: 4枚
賞味期限: 22.05.27
直射日光、高温多湿の所を避けて保存
してください。
製造者: (株)サトー製菓
○○県△△市□□町××番
TEL: 0120-XXX-XXXX

外装

呼出し No.1
バタークッキー

アーモンドクッキー

名称: 焼菓子
原材料名: 小麦粉、砂糖、ショートニング、
バター、全脂牛乳、加糖脱脂炼乳、食盐、植物油
油脂 / 香料 (大豆由来)、膨脹剂、乳化剂 (大
豆由来)、アーモンドペースト、食盐、クリーム
加工品 / 膨脹剂、乳化剂 (大豆由来)、酸化
防止剤 (ビタミンE)、香料

内容量: 4枚
賞味期限: 22.05.27
直射日光、高温多湿の所を避けて保存
してください。
製造者: (株)サトー製菓
○○県△△市□□町××番
TEL: 0120-XXX-XXXX

外装

呼出し No.2
アーモンドクッキー

チョコクッキー

名称: 焼菓子
原材料名: 小麦粉、砂糖、ショートニング、
植物油、カカオマス、液化植物油、
アーモンドペースト、食盐、クリーム
加工品 / 膨脹剂、乳化剂 (大豆由来)、
酸化防止剤 (ビタミンE)、香料

内容量: 4枚
賞味期限: 22.05.27
直射日光、高温多湿の所を避けて保存
してください。
製造者: (株)サトー製菓
○○県△△市□□町××番
TEL: 0120-XXX-XXXX

外装

呼出し No.3
チョコクッキー

基本レイアウト

【品名】
名称: (名称)
原材料名:

内容量: (内容量)
賞味期限: 22.05.06
(保存方法):

製造者: (株)サトー製菓
○○県△△市□□町××番
TEL: 0120-XXX-XXXX

外装

プリセットデータ

No.	呼出し名	名称	原材料	内容量	賞味期限
0001	バタークッキー	焼菓子	小麦粉、砂糖、ショートニング	4枚	14
0002	アーモンドクッキー	焼菓子	小麦粉、砂糖、ローストアーモンド	4枚	14
0003	チョコクッキー	焼菓子	小麦粉、砂糖、ショートニング	4枚	14

一括生成

準備

e-Labe Designer をコンピュータにインストールする

インストール時は、Administrator 権限でログインしてください。

e-Labe Designer の入手については、弊社ホームページのダウンロードサイトからダウンロードいただくか、販売店、またはディーラーにお問い合わせください。

[弊社ホームページダウンロードサイト]

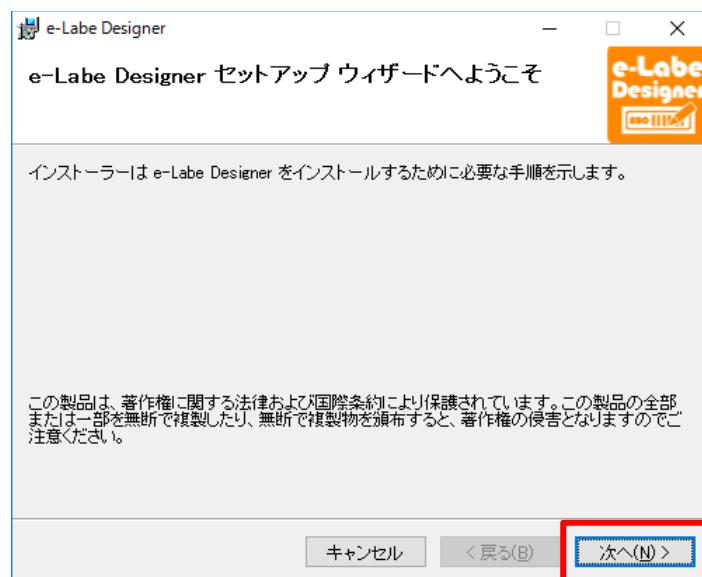
https://www.sato.co.jp/support/printer/fx3-plus/#anc_04

1. e-Labe Designer の setup.exe をダブルクリックして、インストーラを起動します。



Microsoft .NET Framework 4.5 がインストールされていない場合、自動で Microsoft のインストーラが起動します。画面指示に従ってインストールしてください。

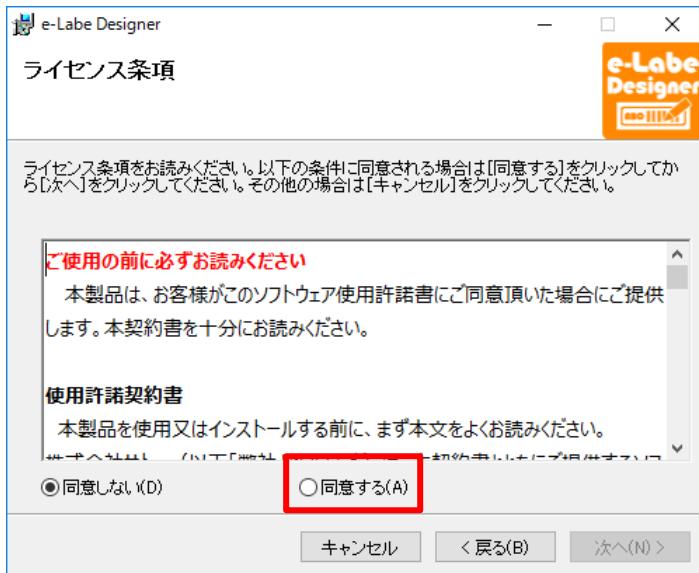
2. [次へ] をクリックします。



3. 「使用許諾契約書」の内容を確認して [同意する] を選び、[次へ] をクリックします。

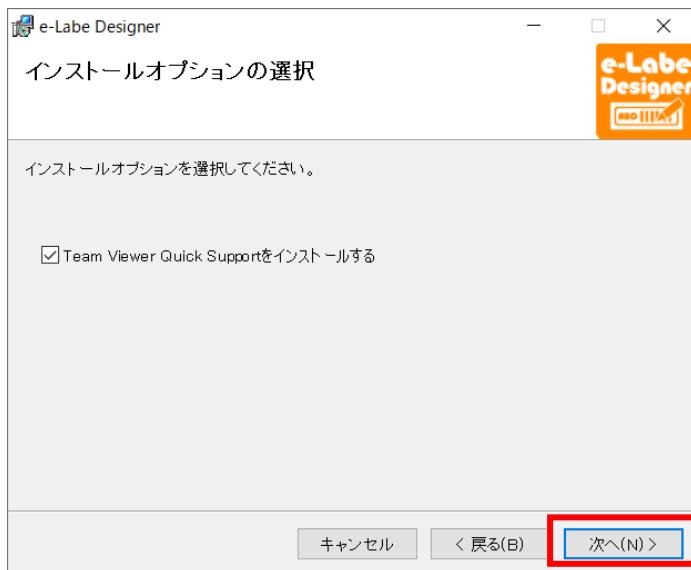
使用許諾契約書はソフトウェアの利用について重要な情報を記載しています。必ずご確認ください。

準備



4. インストールオプションの内容を確認して [次へ] をクリックします。

リモート操作によるサポートが不要の場合は「Team Viewer Quick Support をインストールする」のチェックを外してください。



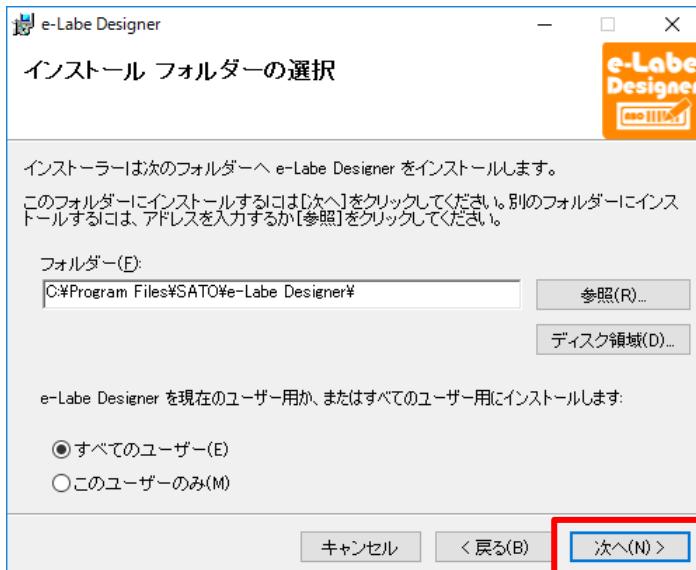
5. インストール先のフォルダを確認して [次へ] をクリックします。

インストールフォルダを変更する場合は「参照」をクリックして、インストール先のフォルダを設定します。

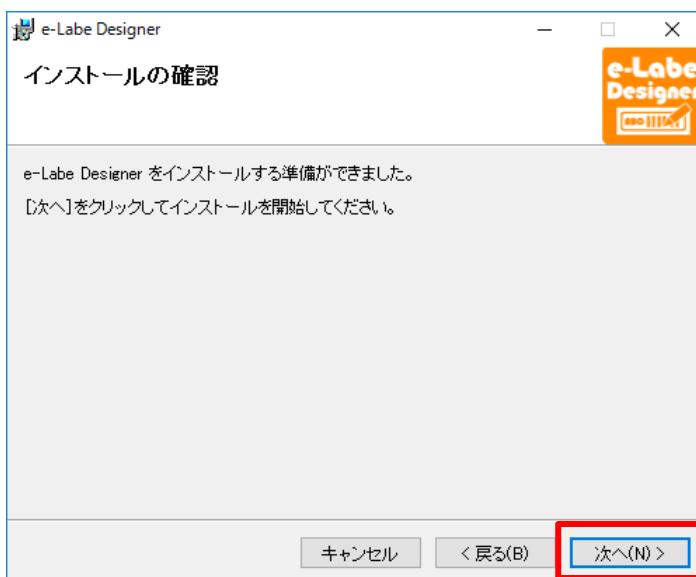
適用するユーザを限定する場合は、「このユーザーのみ」を選択します。

「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「許可」または「はい」を選択してください。

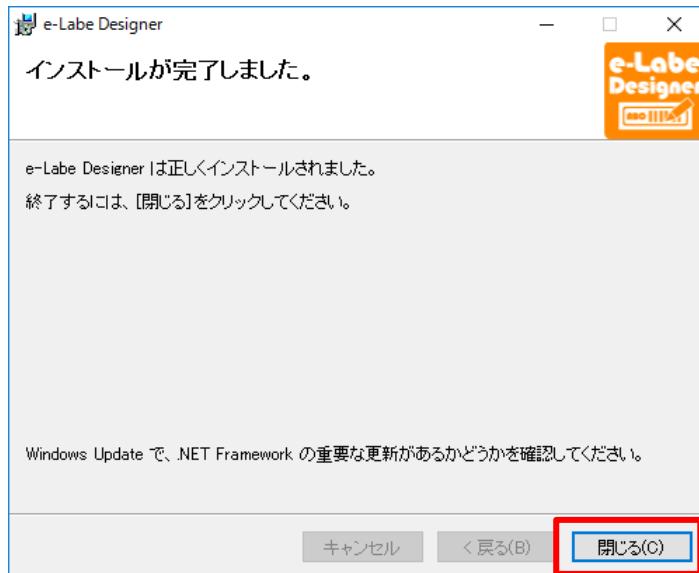
準備



6. ウィザードに従って操作を進めます。インストール完了の画面が表示されたら【閉じる】をクリックして、インストールを終了してください。



準備



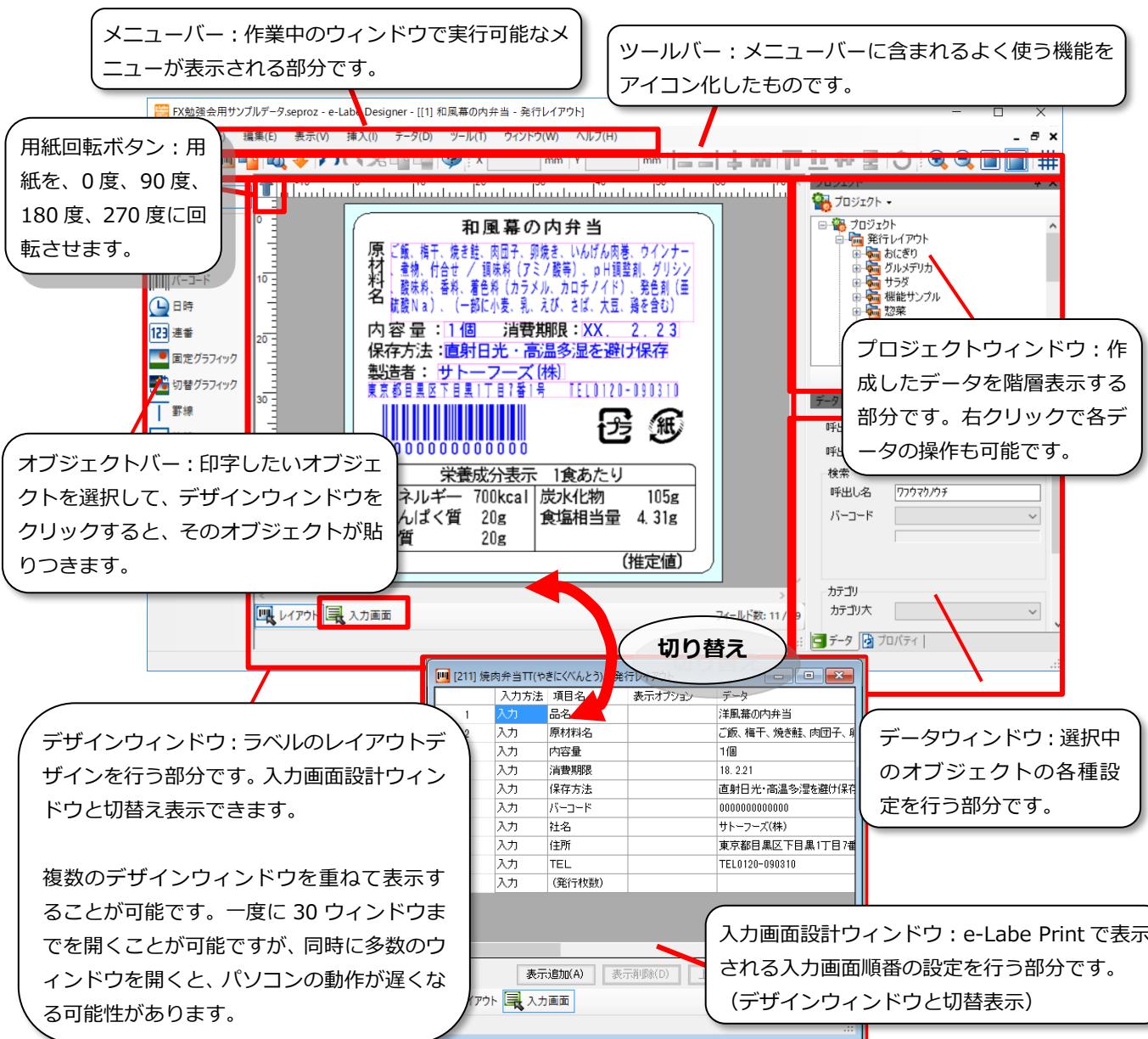
以上で e-Labe Designer のインストールは完了です。デスクトップにプログラムアイコンが表示されます。



e-Labe Designer 画面の説明

e-Labe Designer は、以下の画面構成になっています。

画面構成内容は、表示の ON/OFF、ウィンドウの移動で変更できます。



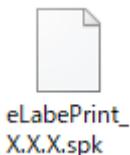
e-Labe Print を FLEQV FX3-LX にインストールする

e-Labe Print インストールファイル (eLabePrint_X.X.X.spk) の入手については、弊社ホームページのダウンロードサイトからダウンロードいただくか、販売店、またはディーラーにお問い合わせください。

[弊社ホームページダウンロードサイト]

https://www.sato.co.jp/support/printer/fx3-lx/#anc_04

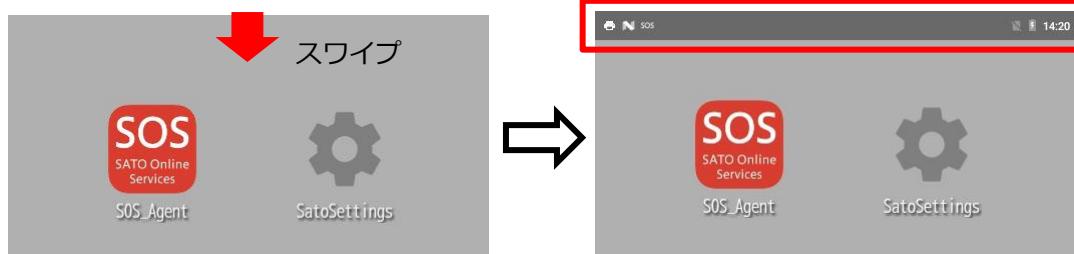
1. e-Labe Print の eLabePrint_X.X.X.spk をパソコンにダウンロードします。



2. コンピュータと FX3-LX を USB インタフェースで接続します。

3. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。

ステータスバーが表示されます。



4. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



5. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

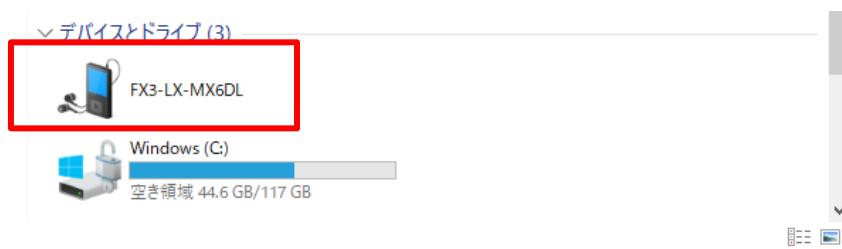
「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB

準備

「写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「ファイルを転送する」を選択してください。

6. コンピュータのエクスプローラから「PC」を開き、「デバイスとドライブ」>「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックします。

Windows 10 を例にしています。OS によってはメニュー名が異なる場合があります。



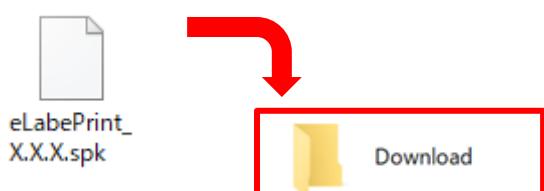
注意

- 初めて FX3-LX をコンピュータと接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。このため、アイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックしても中身が表示されない場合は、手順 2 からやり直してください。

7. 「内部共有ストレージ」>「Download」フォルダを選びます。



8. インストールファイルを「Download」フォルダにコピーします。



9. FX3-LX のホーム画面の「アップデータ」アイコンをタップします。

準備



10. 「eLabelPrint_X.X.X.spk」にチェックを付け、「インストール」をタップします。



11. インストール画面が表示されたら、「インストール」をタップします。



準備

12. 完了画面が出たら、「完了」をタップし、FX3-LX の「」ボタンを押してホーム画面に戻ります。



以上で、e-Labe Print のインストールは完了です。ホーム画面にプログラムアイコンが表示されます。



e-Labe Print をアンインストールする

e-Labe Print のアンインストール手順です。特定のバージョンをインストールするために、既存バージョンを削除する必要がある場合などに実行します。通常は使用しません。

注意

アンインストールをおこなうと、発行履歴データや設定情報、一時的に記憶している連番などの値はクリアされます。

1. FX3-LX の「」ボタンを押してホーム画面を開き、SatoHome アイコンをタップします。

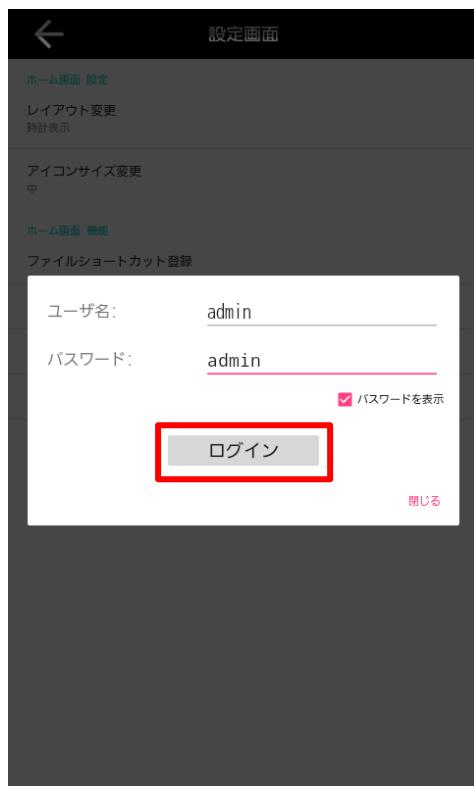


2. 設定画面の「ユーザ認証」をタップします。

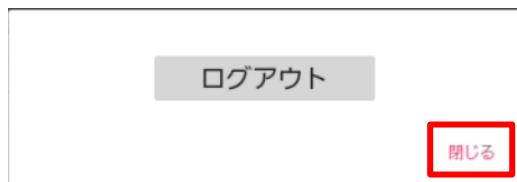


準備

3. ログイン画面でユーザ名とパスワードに「admin」を入力し、「ログイン」をタップします



4. 「閉じる」をタップします。



5. FX3-LX の「」ボタンを押しホーム画面に戻ります。

6. e-Labe Print のアイコンを数秒長押ししてから指を外し、表示されたメニューの「アンインストール」をタップします。



注意

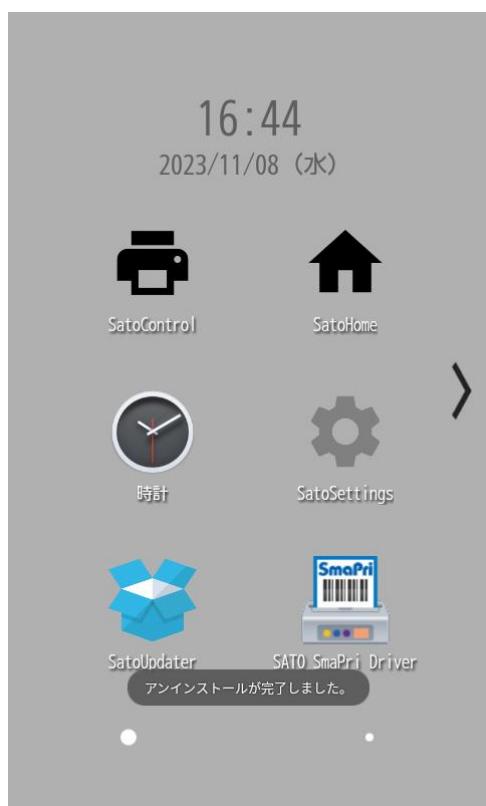
上記メニューが表示されない場合、ユーザ認証ができていません。手順2からやりなおしてください。

準備

- 確認ダイアログが表示されるので「OK」をタップしアンインストールを実行します。



- 画面下部に「アンインストールが完了しました。」と出てアイコンが消えれば完了です。



- プリンタを再起動してください。

ラベル発行手順

ラベル発行の流れ

e-Labe Designer でレイアウトを作成し、FX3-LX にフォーマットファイル（レイアウトデータ）を送信します。FX3-LX の e-Labe Print でフォーマットファイルを指定し、登録されたデータを呼び出してラベルを発行します。

本章では以下の手順について説明します。

- (1) レイアウトを作成する
 - ・STD 形式で発行レイアウトを作成する
 - ・PRO 形式のレイアウトを作成する
- (2) フォーマットファイルをプリンタに送信する
 - ・USB ケーブルで FX3-LX に直接送信する
 - ・サーバや USB メモリ経由でデータを送信する
- (3) ラベルを発行する

(1) レイアウトを作成する

レイアウト作成時は、PRO 形式か STD 形式のどちらかを選択します。

それぞれの主な機能の違いは本資料の「[STD 形式と PRO 形式について](#)」をご参照ください。

STD 形式で発行レイアウトを作成する

プロジェクトを作成する

「プロジェクト」は、e-Labe Designer で作成したデータの管理単位です。

プロジェクトを新規作成する概要を説明します。詳しくは、Help をご覧ください。

1. デスクトップの e-Labe Designer アイコンをダブルクリックします。

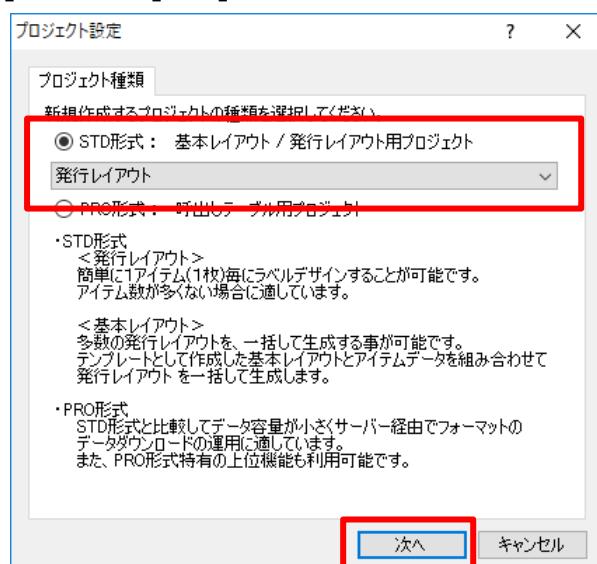
e-Labe Designer が起動します。

2. プロジェクト選択画面で【新規作成】または【参照】を選択します。

ここでは例として【新規作成】を選びます。既存のプロジェクトがある場合は【参照】をクリックして、プロジェクトファイル（拡張子「.seproz」）ファイルを選択してください。



3. プロジェクト種類の選択画面で【STD 形式：基本レイアウト/発行レイアウト用プロジェクト】、【発行レイアウト】を選択し、【次へ】をクリックします。

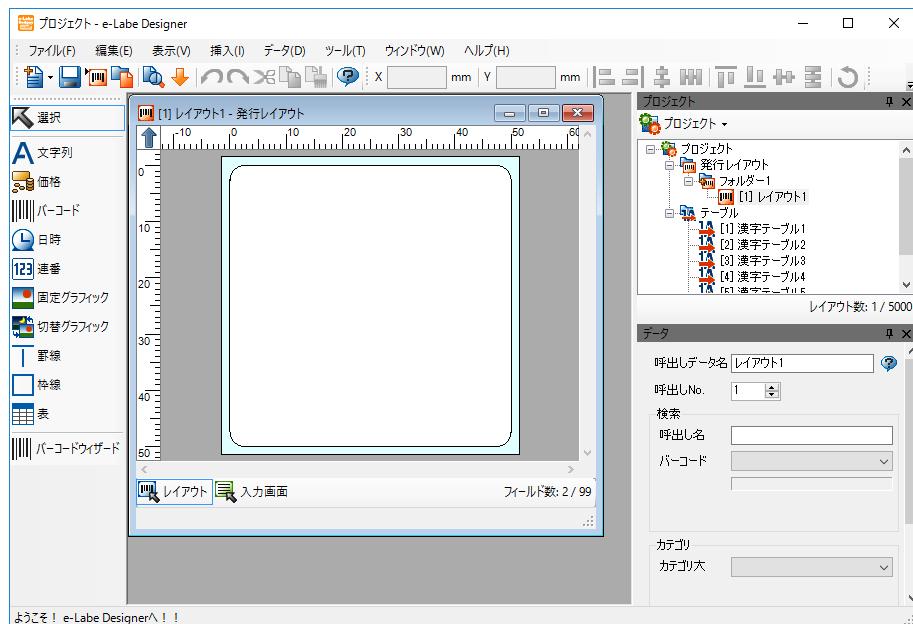


ラベル発行手順

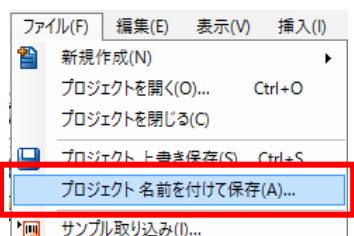
4. 用紙設定（用紙種類、センサタイプ、サイズ）をおこない、[OK] をクリックします。



ラベルのデザイン画面が開きます。



5. プロジェクトに名前を付けて保存します。



指定した場所に拡張子「.seproz」のファイルが保存されます。

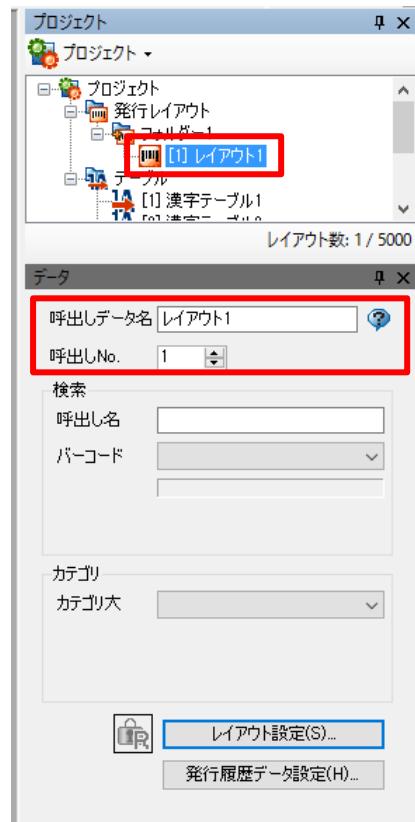


6. 呼出しデータ（レイアウト）に名前を付けます。

プロジェクトウィンドウの「レイアウト」を選びます。新規作成時は「レイアウト1」などが設定されています。

「呼出しデータ名」と「呼出し No.」を入力します。

呼出し No.は、e-Labe Print のナンバー発行画面でアイテムを呼び出すキーになります。

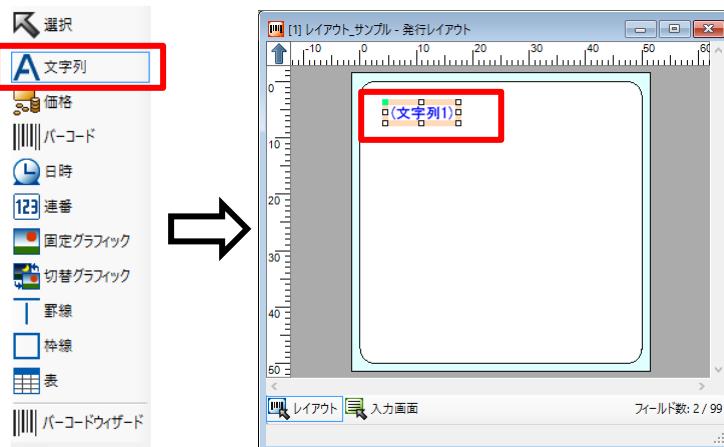


発行レイアウトを作成する

e-Labe Designer で作成するラベルデザインの概要を説明します。

● 文字を貼り付ける

オブジェクトバーの [文字列] を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



文字オブジェクトは、マウスでドラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。

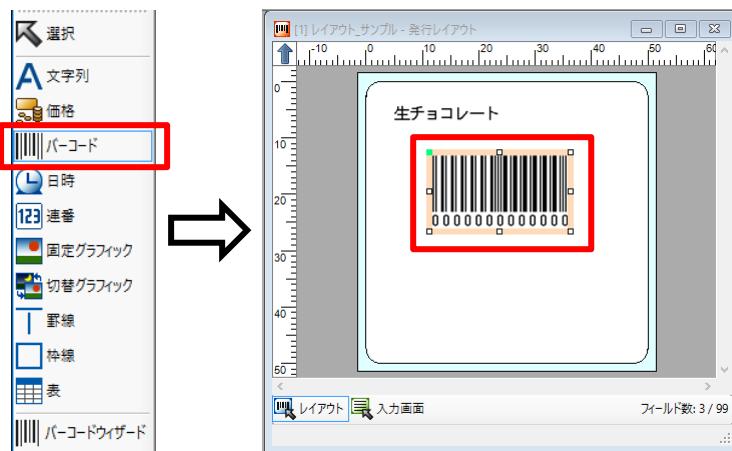


ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「商品名」を入力します。
- ・ 入力方法は「固定」を選択します。
- ・ データに「生チョコレート」を入力します。

● バーコードを貼り付ける

オブジェクトバーの [バーコード] を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



バーコードオブジェクトは、マウスでドラッグして位置、サイズ（倍率）を変更できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。



ここでは例として以下のように設定します。

- ・項目名に「バーコード」を入力します。
- ・入力方法は「固定」を選択します。
- ・データに「491234567890」を入力します。
- ・高さを「10mm」に設定します。

「C/D 自動付加」にチェックを入れると、入力した値の最終桁にチェックデジットが自動的に付加されます。

● 税込価格を貼り付けます。

オブジェクトバーの【価格】を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



価格オブジェクトは、マウスでドラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。



ここでは例として以下のように設定します。

- ・項目名に「価格」を入力します。
- ・入力方法は「発行時(データ)」を選択します。
- ・フォントは「プリンタ_価格文字(24x36)」を選択します。

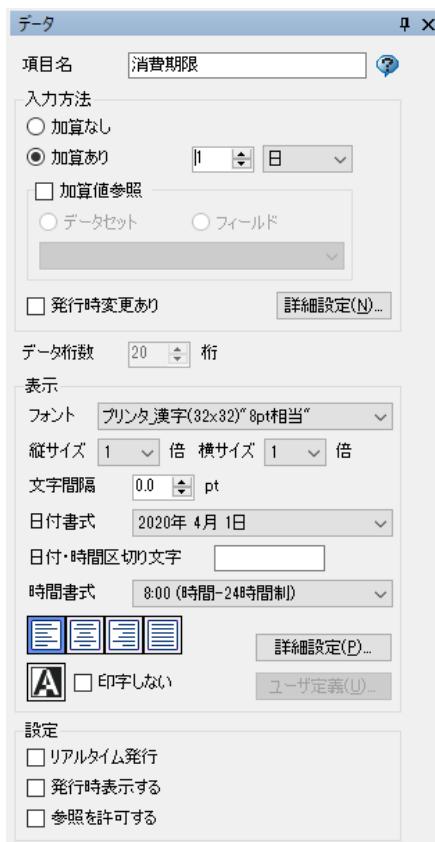
● 日時を貼り付けます。

オブジェクトバーの【日時】を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



日時オブジェクトは、マウスでドラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。



ここでは例として以下のように設定します。

- 項目名に「消費期限」を入力します。
- 入力方法は「加算あり」を選択し、「1日」を設定します。
- フォントは「プリンタ_漢字(32x32)"8pt相当"」を選択します。
- 日付書式は「2020年 4月 1日」を選択します。

● 固定グラフィックを貼り付けます。

オブジェクトバーの【固定グラフィック】を選択し、ラベルイメージをクリックしてオブジェクトを貼り付けます。



固定グラフィックオブジェクトは、マウスでドラッグして位置を移動できます。

オブジェクトの詳細設定をおこないます。



ここでは例として以下のように設定します。

- ・ 項目名に「固定グラフィック」を入力します。
- ・ グラフィックス指定方法は「埋め込みグラフィック」を選択し、「選択」から貼り付けるグラフィックを選択します。
- ・ 必要に応じて、サイズで「倍率指定」を設定します。

PRO 形式のレイアウトを作成する

プロジェクトおよびレイアウトを作成する

PRO 形式のプロジェクトを新規作成する概要を説明します。詳しくは、Help をご覧ください。

1. デスクトップの e-Labe Designer アイコンをダブルクリックします。

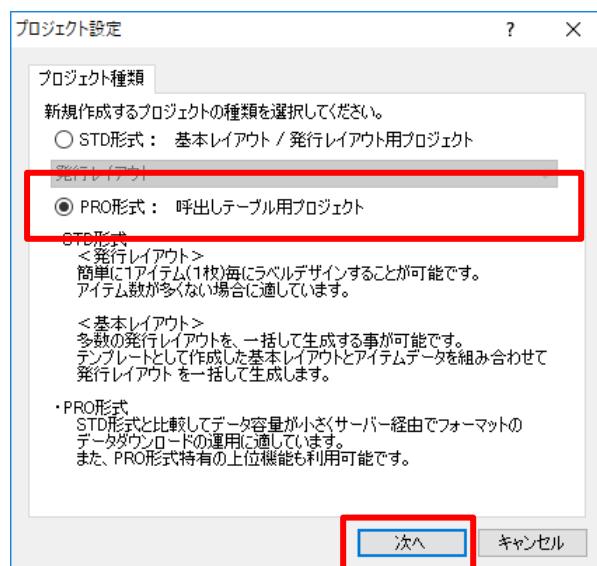
e-Labe Designer が起動します。

2. プロジェクト選択画面で【新規作成】または【参照】を選択します。

ここでは例として【新規作成】を選びます。既存のプロジェクトがある場合は【参照】をクリックして、プロジェクトファイル（拡張子「.peproz」）ファイルを選択してください。

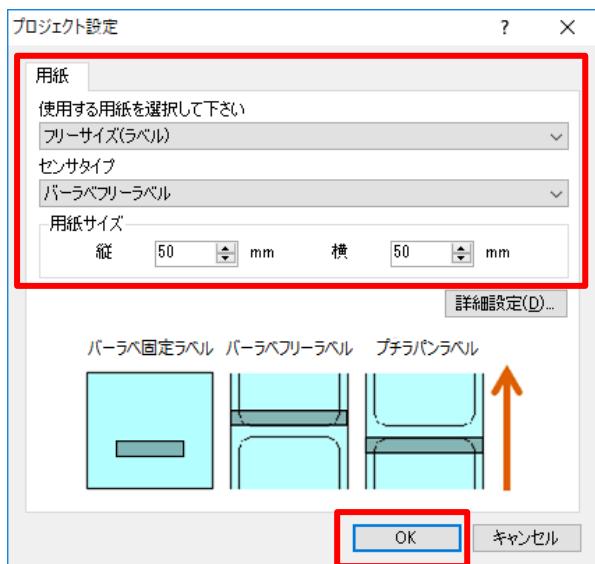


3. プロジェクト種類の選択画面で【PRO 形式： 呼出しテーブル用プロジェクト】を選択し、[次へ]をクリックします。

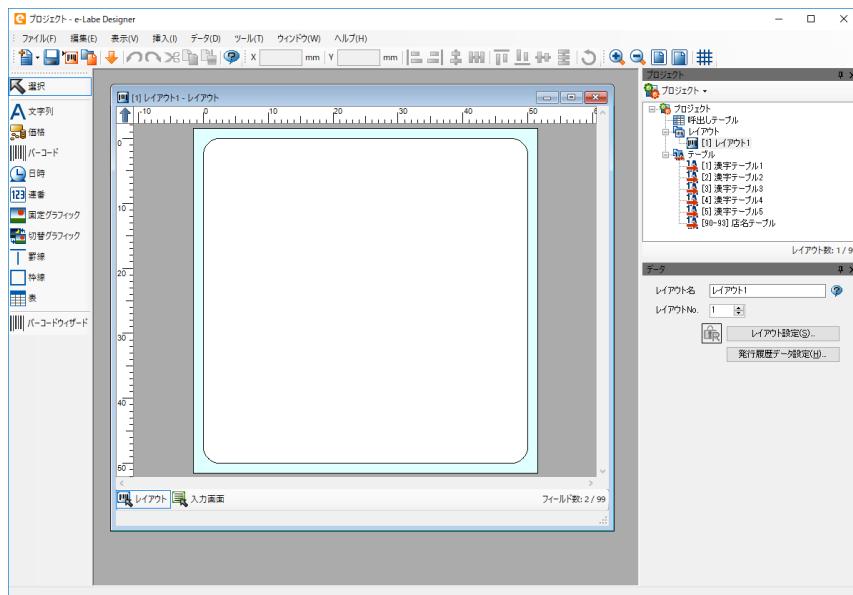


ラベル発行手順

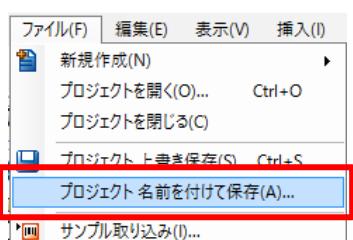
4. 用紙設定（用紙種類、センサタイプ、サイズ）をおこない、[OK] をクリックします。



ラベルのデザイン画面が開きます。



5. プロジェクトに名前を付けて保存します。



指定した場所に拡張子「.peproz」のファイルが保存されます。

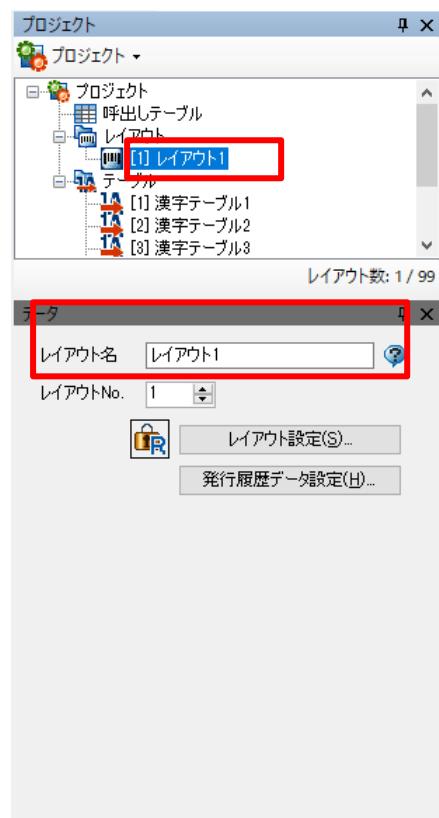


6. レイアウトに名前を付けます。

プロジェクトウィンドウの「レイアウト」を選びます。新規作成時は「レイアウト1」などが設定されています。

「レイアウト名」と「レイアウト No.」を入力します。

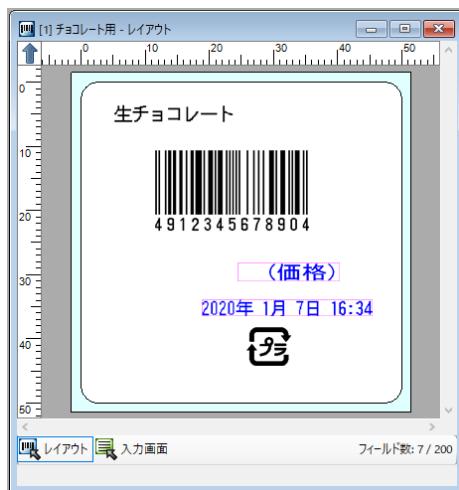
レイアウト No.は、呼出しテーブルでアイテム登録時、レイアウトを紐づけるキーになります。



7. レイアウトを作成します。

オブジェクトを配置してレイアウトを作成します。

レイアウトの細かな作成方法は本章の[STD 形式で発行レイアウトを作成する]>[発行レイアウトを作成する]の章を参照して作成してください。

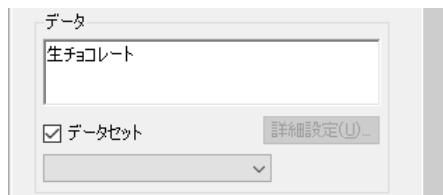


データセット項目の設定をおこなう

呼出しテーブルでデータ登録をするオブジェクトを[データセット]に設定する概要を説明します。

1. 作成したレイアウトを開き、文字列オブジェクト「商品名」をクリックします。

2. データウィンドウの[データセット]チェックボックスにチェックを入れます。



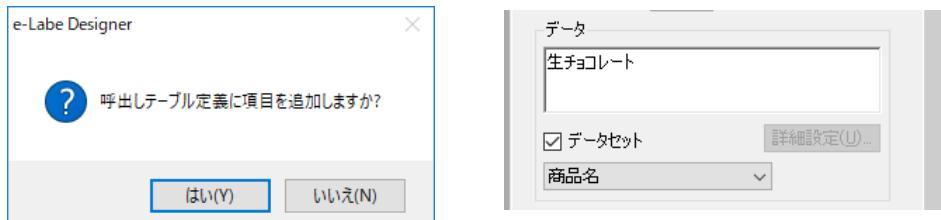
3. [呼び出しテーブルから設定する最大行数を [データ行数] にセットしてください。] ダイアログが表示されるので [OK] をクリックします。

4. [データセット] の下のコンボボックスで [(新規) ...] を選択します。



5. [呼出しテーブル定義に項目名を追加しますか？] ダイアログが表示されるので[はい]をクリックします。

ラベル発行手順



[商品名]がデータセット項目としてセットされます。

6. [データ行数]を 20 行に変更します。

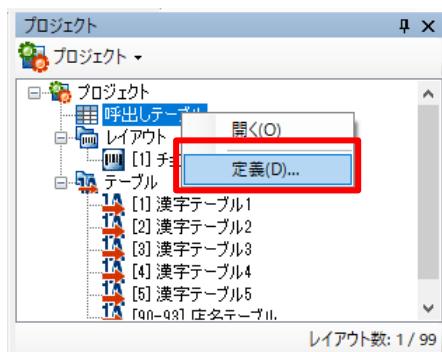


7. バーコードオブジェクト「バーコード」をクリックし、同様に[データセット]項目の設定をおこないます。

※バーコードオブジェクトは行数の変更は不要です

呼び出しテーブルを登録する

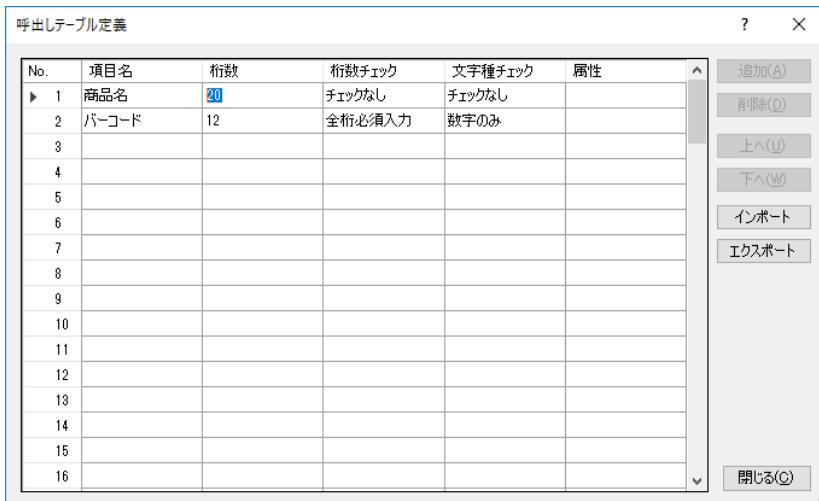
1. 呼出しテーブルを右クリックし、[定義]をクリックします。



呼び出しテーブルデータ定義画面が開きます。

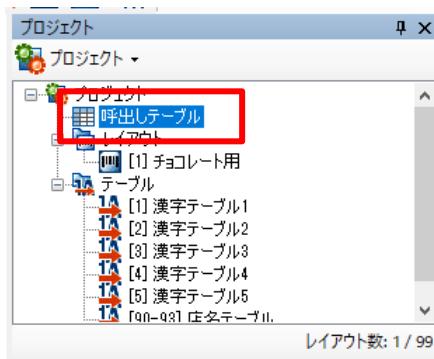
2. [商品名]の行数を 20 行に変更して、[閉じる]をクリックします。

ラベル発行手順



変更確認ダイアログが表示されますので[はい]をクリックします。

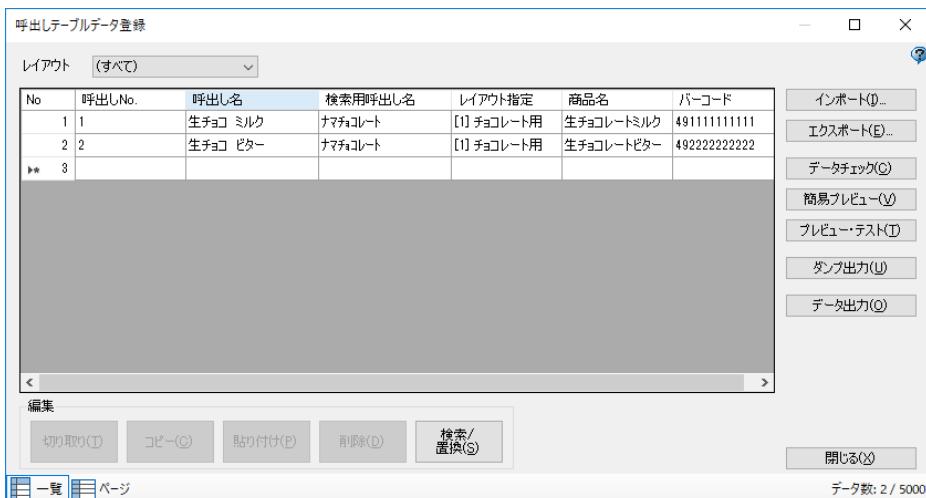
3. 呼出しテーブルをダブルクリックします。



呼出しテーブル登録画面が開きます。

4. [呼出し No.][呼出し名][レイアウト指定][商品名][バーコード]に値をセットし、[閉じる]をクリックします。

[レイアウト指定]には、レイアウト作成時に指定した[レイアウト No.]を入力します。



変更確認ダイアログが表示されますので[はい]をクリックします。呼出しテーブル登録画面が閉じます。

(2) フォーマットファイルをプリンタに送信する

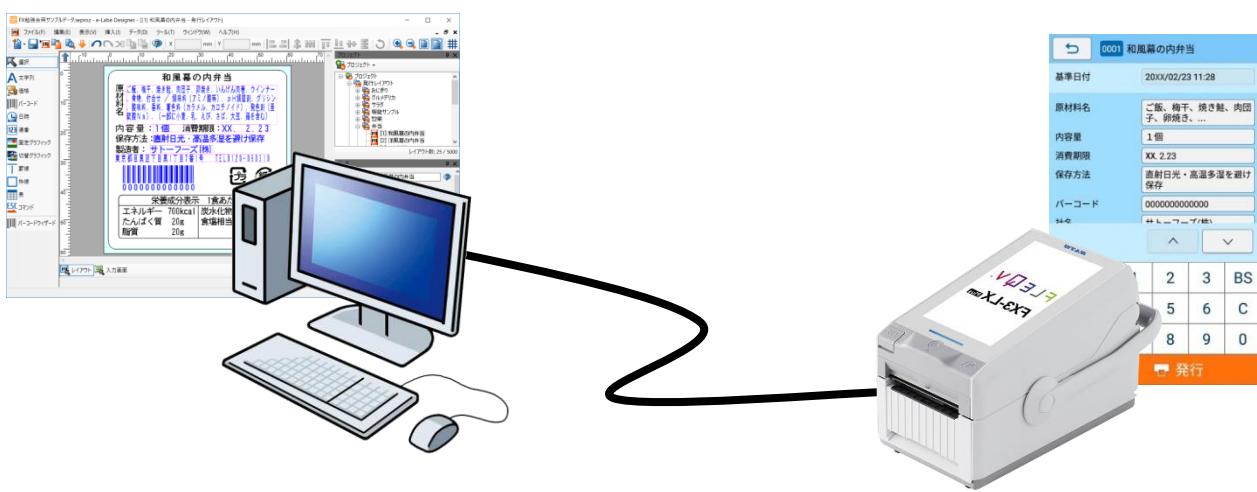
レイアウトを作成したら、データ出力機能を使ってプリンタにフォーマットファイルを送信します。

送信方法は、以下から選択可能です。

● USB ケーブルで直接 FX3-LX にデータを送信する [\[手順へ\]](#)

作成したラベルデザインを、FX3-LX の内部共有ストレージに出力します。

パソコンとプリンタの設置場所が近い場合や、プリンタの台数が多くない場合に適しています。



注意

FX3-LX に USB ケーブル経由でフォーマットファイルを直接出力する機能は e-Labe Designer

Ver.1.14.0.0 以上でご利用いただけます。

Ver.1.13.0.0 以下の操作タブレットへのコピー方法は以下を参照してください。

[\[補足\]フォーマットファイルを USB ケーブル経由で FX3-LX にコピーする](#)

● サーバや USB メモリ経由でデータを送信する [\[手順へ\]](#)

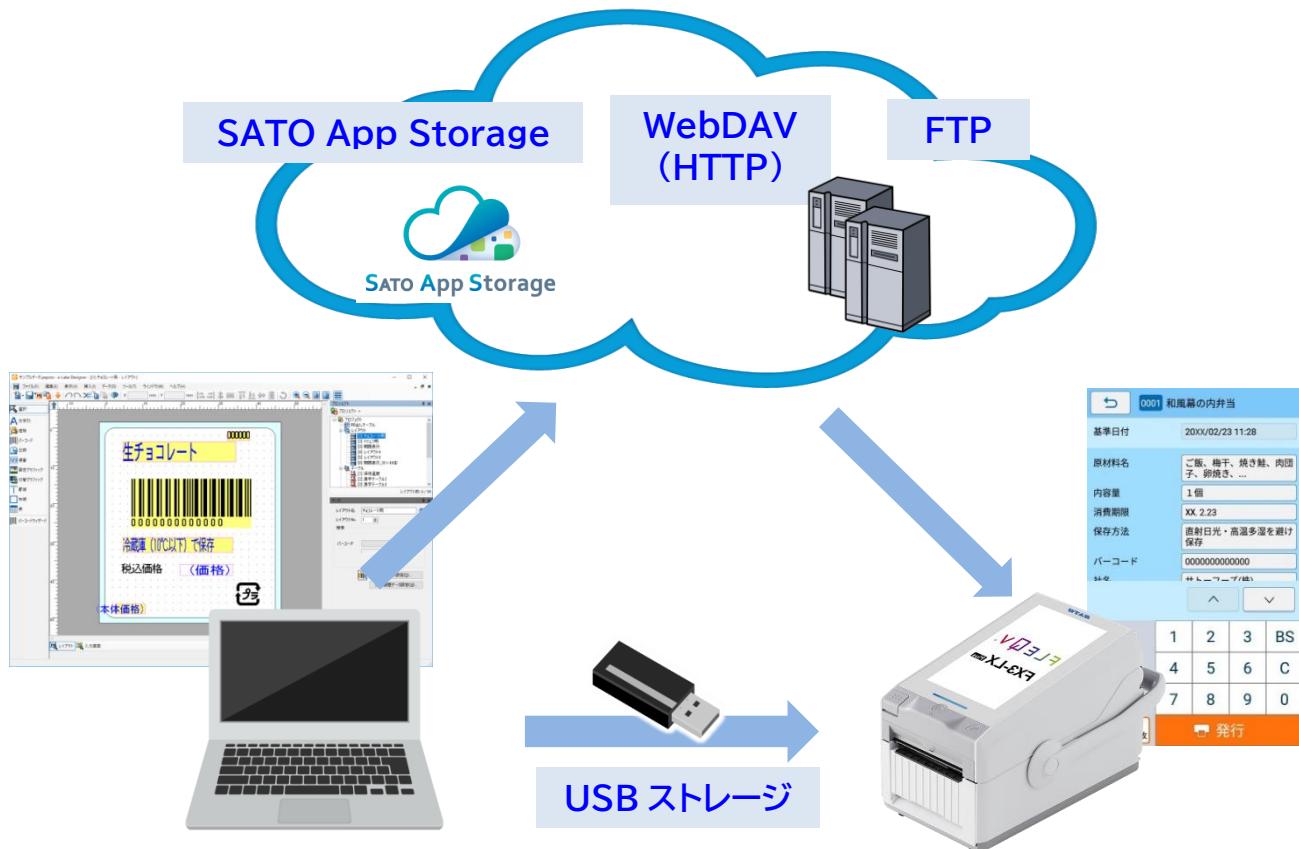
作成したラベルデザインをフォーマットファイルとしてサーバにアップロードし、FX3-LX でデータ更新処理をすることで連携します。サーバだけでなく、USB メモリに保存したフォーマットファイルを連携することも可能です。

データ更新機能を使うことで、フォーマットファイルだけでなく設定情報ファイルのダウンロードや、FX3-LX 内に蓄積された発行履歴ファイルやログファイルをサーバにアップロードすることも可能です。

多店舗展開をしている場合やパソコンとプリンタの設置場所が遠い場合に適しています。

【連携可能なストレージ】

- ・ SATO App Storage
- ・ WebDAV (HTTP) サーバ
- ・ FTP サーバ
- ・ USB ストレージ

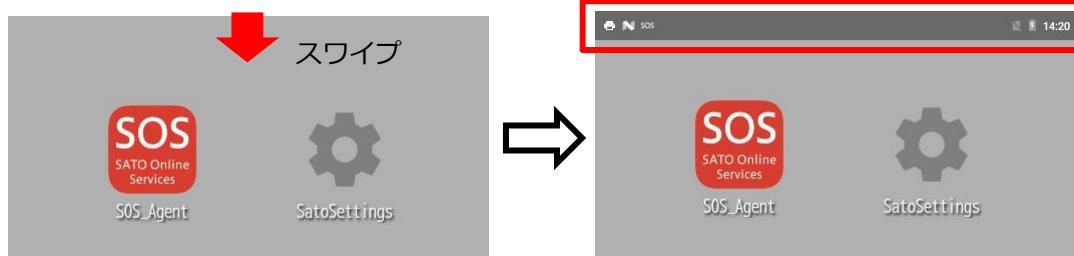


※PRO 形式だけでなく、STD 形式のファイルもデータ連携可能です

USB ケーブルで直接 FX3-LX にデータを送信する

1. コンピュータと FX3-LX を USB ケーブルで接続します。
2. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。

ステータスバーが表示されます。



3. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



4. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「ファイルを転送する」を選択してください。

5. e-Labe Designer でデータ出力を起こします。

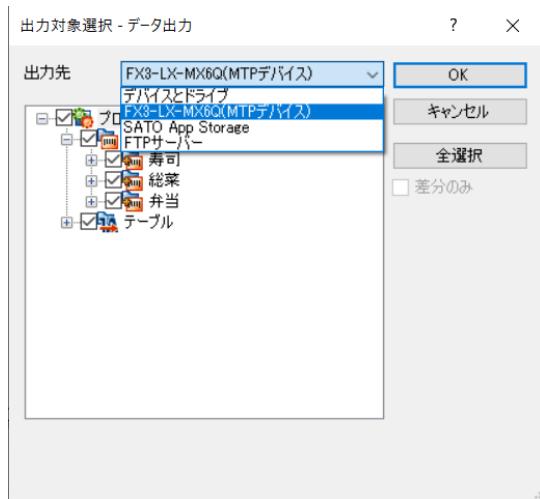
ツールバーの「データ出力」(またはメニューバーのファイル>データ出力) をクリックします。



「出力対象選択」画面が表示されます。

6. 出力先から[FX3-LX-●●●●●●(MTP デバイス)]を選択し、出力するデータにチェックを入れて、[OK] をクリックします。

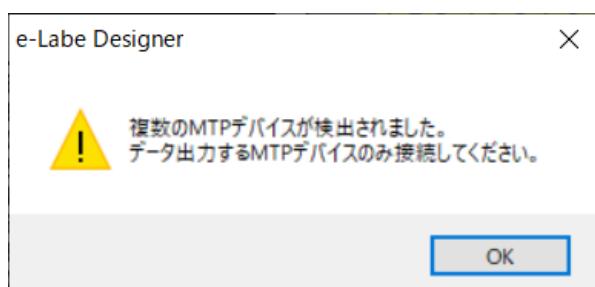
ラベル発行手順



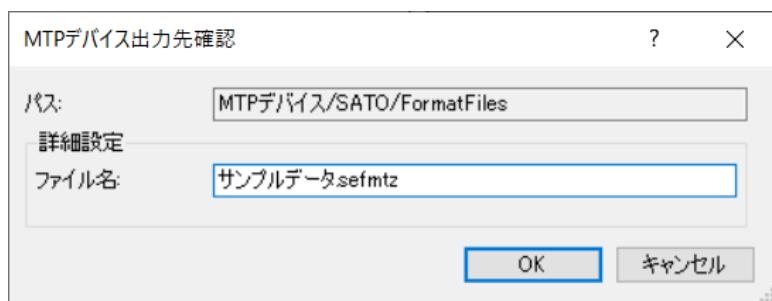
- 「差分のみ」をチェックすると、選択された項目のうち変更があった項目のみ出力データを作成するため、高速で出力ができます。

注意

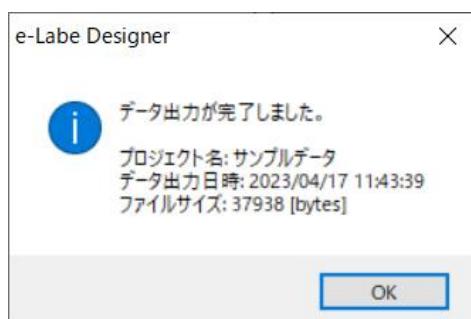
パソコンには FX3-LX のみ接続してください。スマートフォンなど他の Android デバイスも接続した状態でデータ出力を行うと、以下の警告が表示され、データ出力ができません。



7. 必要に応じてファイル名を変更し[OK]をクリックします。



8. データ出力が完了するとメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



出力時エラーとなる場合は以下を参照してください。

エラーメッセージ	対処法
選択した MTP デバイスへの出力に失敗しました。MTP デバイスがアクセス可能な状態かご確認ください。	MTP デバイスへの書き込みが制限されている可能性があります。以下が該当する場合は管理者にご相談ください。 <ul style="list-style-type: none">・エクスプローラからも書き込みに失敗しますか？・他のパソコンでも同様のエラーになりますか？・USB デバイスへのアクセス制限がありますか？
選択した MTP デバイスを認識できません。MTP デバイスが接続されているか確認してください。	MTP デバイスに接続できません。以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">・USB ケーブルは正しく接続されていますか？・USB のモードがファイル転送（手順 2～4）になっていますか？

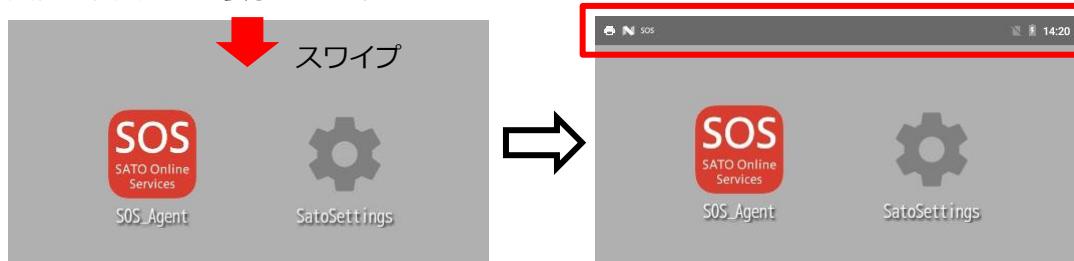
[補足] e-Labe Designer 1.13.0.0 以前でデータをコピーする手順

USB ケーブルを使ったフォーマットファイルのコピー方法を説明します。e-Labe Designer Ver.1.14.0.0 以上をご利用の場合は、データ出力時に直接 FX3-LX にフォーマットを書き込むことができるため、本マニュアルの以下を参照してください。

➤ フォーマットファイルを FX3-LX に出力する

1. コンピュータと FX3-LX を USB ケーブルで接続します。
2. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。

ステータスバーが表示されます。



3. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



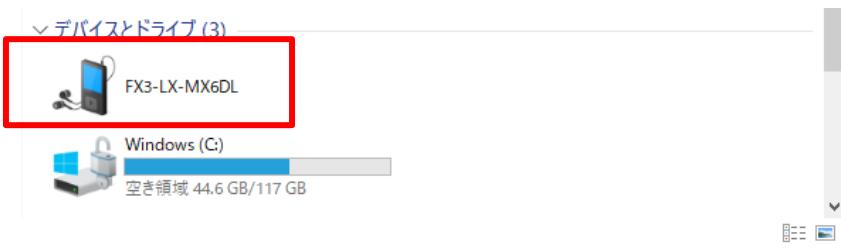
4. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「ファイルを転送する」を選択してください。

5. コンピュータのエクスプローラから「PC」を開き、「デバイスとドライブ」>「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックします。

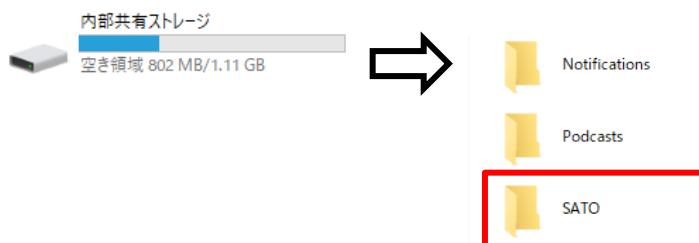
Windows 10 を例にしています。OS によってはメニュー名が異なる場合があります。



注意

- 初めて FX3-LX をコンピュータと接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。このため、アイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックしても中身が表示されない場合は、手順 2 からやり直してください。

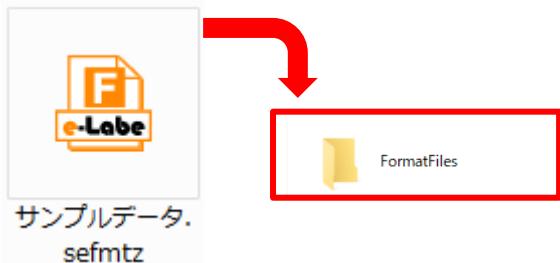
6. 「内部共有ストレージ」 > 「SATO」 > 「FormatFiles」 フォルダを選びます。



注意

「SATO」 > 「FormatFiles」 フォルダがない場合は、手動で作成してください。

7. フォーマットファイルを「FormatFiles」 フォルダにコピーします。



以上で、FX3-LX への登録（プリセット）は完了です。

注意

- 必ずフォーマットファイルをコピーしてください。プロジェクトファイルは e-Labe Print で読み込むことができません。
- フォーマットファイルは「F」マークのアイコンで拡張子「.sefmtz」、「.pefmtz」のファイルです。

サーバや USB メモリ経由でデータを送信する

- ・ [SATO App Storage とデータ連携する](#)
- ・ [WebDAV \(HTTP\) サーバとデータ連携する](#)
- ・ [FTP サーバとデータ連携する](#)
- ・ [USB メモリとデータ連携する](#)

SATO App Storage とデータ連携する

[e-Label Designer でフォーマットファイルをアップロードする]

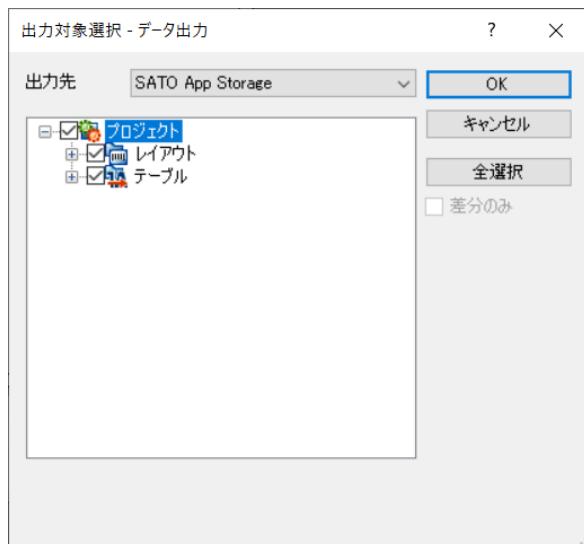
1. データ出力を起こします。

ツールバーの「データ出力」(またはメニューバーの「ファイル>データ出力」)をクリックします。



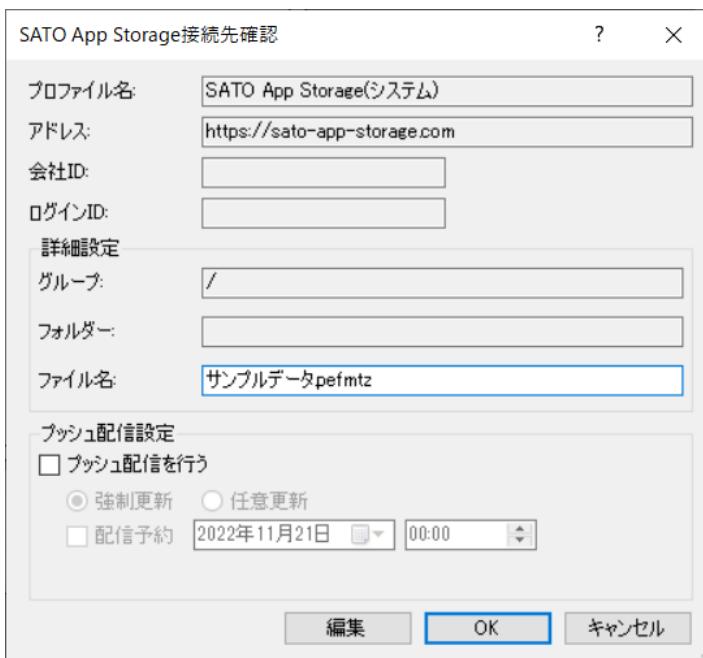
「出力対象選択」画面が表示されます。

2. 出力先を[SATO App Storage]に指定して[OK]をクリックします。



SATO App Storage 接続先確認画面が表示されます。

3. [編集]をクリックします。



SATO App Storage 接続設定画面が表示されます。

4. [SATO App Storage] タブ画面で [アドレス] [会社 ID] [ログイン ID] [パスワード] を入力し [OK] をクリックします。

アドレス、会社 ID などは販売店から払い出されたものを入力ください。

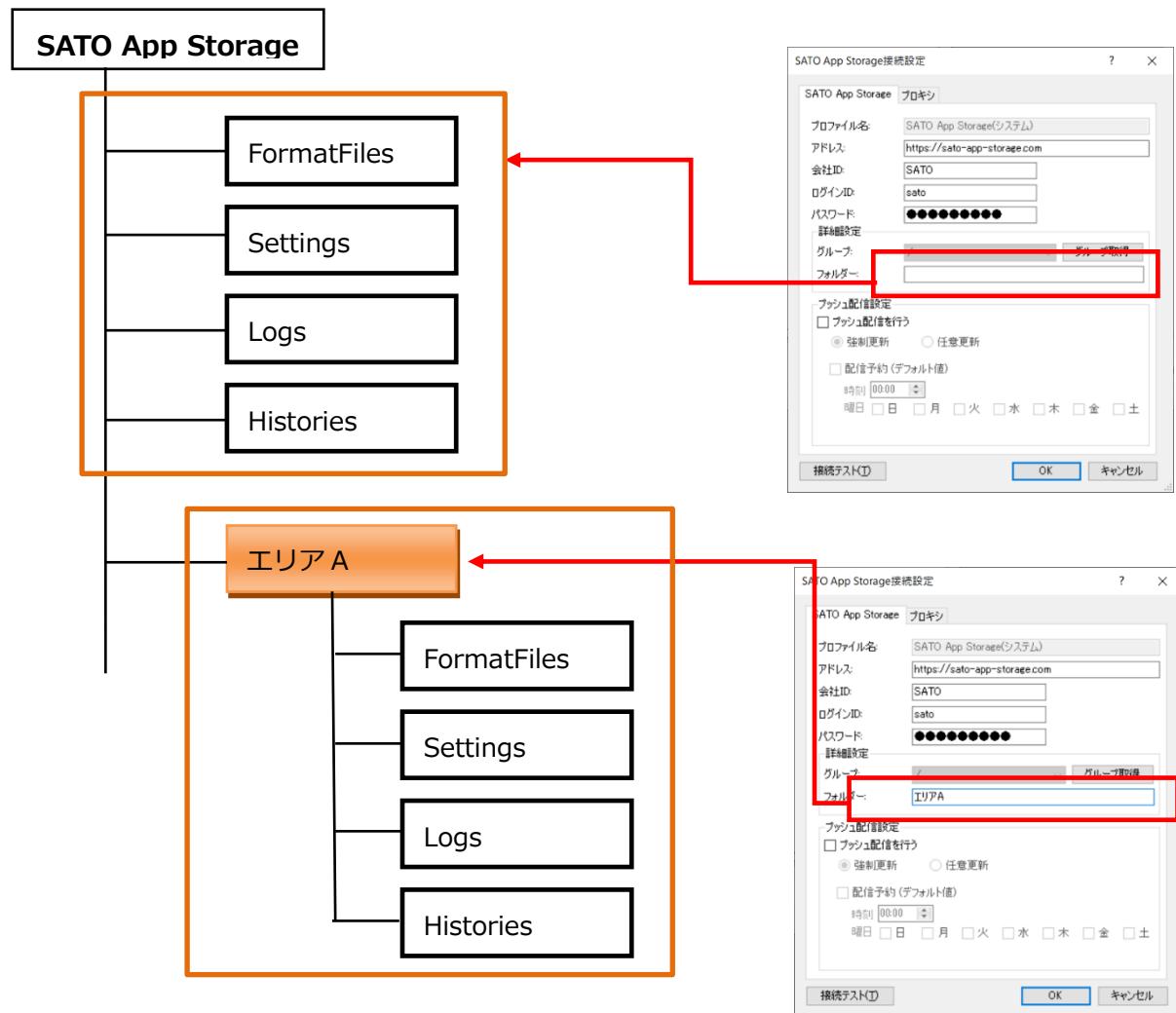
[接続テスト]をクリックすると、入力した情報で接続確認がおこなえます。



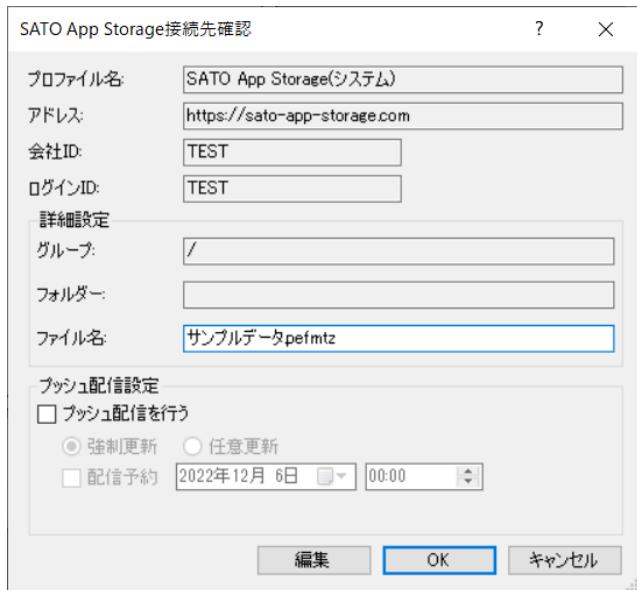
SATO App Storage 接続先確認画面に戻ります。

注意

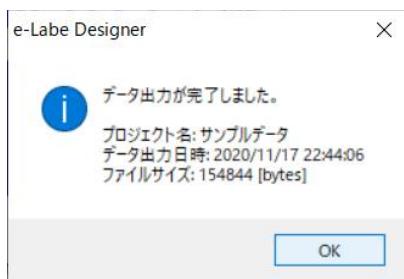
- ・ プッシュ配信機能をご利用いただく場合は販売店までご相談ください。
- ・ フォルダは任意項目です。SATO App Storage にアップロードするファイルを、グループ別に分けたい場合に利用します。e-Labe Print で受信時も、そのフォルダを指定することでフォルダ以下のファイルをダウンロード可能です。



5. [OK]をクリックし、SATO App Storage にフォーマットファイルをアップロードします。



アップロードが完了すると、データ出力の完了メッセージが表示されます。

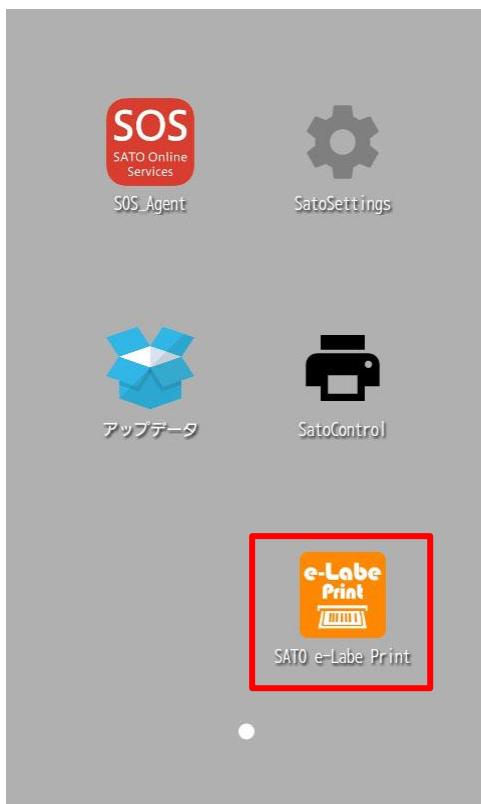


Tips

e-Labe Designer Ver.1.13.0.0 より「プロファイル機能」を利用できます。よく使う出力先の情報をあらかじめプロファイルに登録しておくと、データ出力時の出力先を簡単に選ぶことができます。詳細は e-Labe Designer のヘルプで「プロファイル設定タブ」の説明をご参照ください。

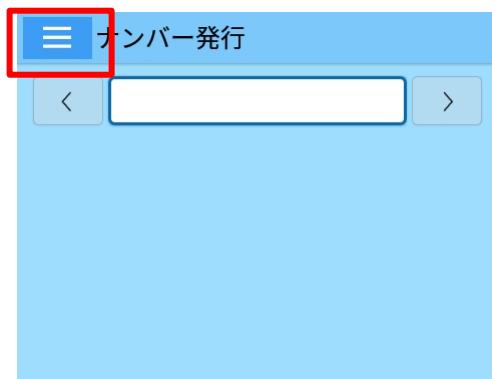
[e-Labe Print でデータ連携の設定をおこなう]

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2.  (メニュー) をタップします。



注意

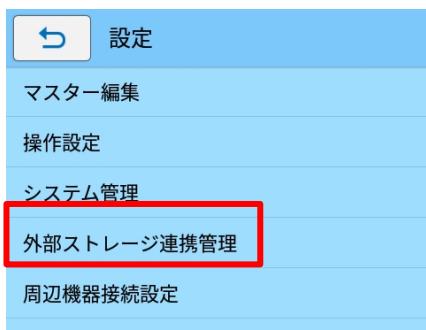
発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



5. [ストレージ選択] をタップして [SAS (SATO App Storage)] を選択します。



6. [接続設定] をタップします。

SAS 接続設定画面が開きます。「本体設定値を参照」がオンになっていることを確認します。オフになっている場合はオンにしてください。

SATO App Storage の接続情報は SatoSettings に登録します。

(設定方法は FLEQV FX3-LX 取扱説明書をご参照ください)

SatoSettings の登録が完了したら「データ連携をおこなう」のページに進んでください。

e-Labe Print のバージョンが古い(Ver.1.7.0 以前)、またはプリンタのファームウェアバージョンが古い等の理由により e-Labe Print 側に SATO App Storage 接続情報の登録が必要な場合は以下の設定手順を参照してください。



SatoSettings の設定画面

【SATO App Storage の接続情報を登録する(e-Labe Print)】

7. e-Labe Print のバージョンにより「本体設定値を参照」がオンになっている場合はオフにします。

[Ver.1.6 以前]



[Ver.1.7 以降]



8. [アドレス]をタップし、アドレスに間違いが無いか確認します。

注意

- SATO App Storage のアドレスは、あらかじめ入力されています。販売元から払い出されたアドレスと違いが無いか確認してください。

9. [会社 ID]をタップし、必要事項を入力します。[ログイン ID][パスワード]も同様に入力します。

販売元から払い出された情報を元に入力してください。

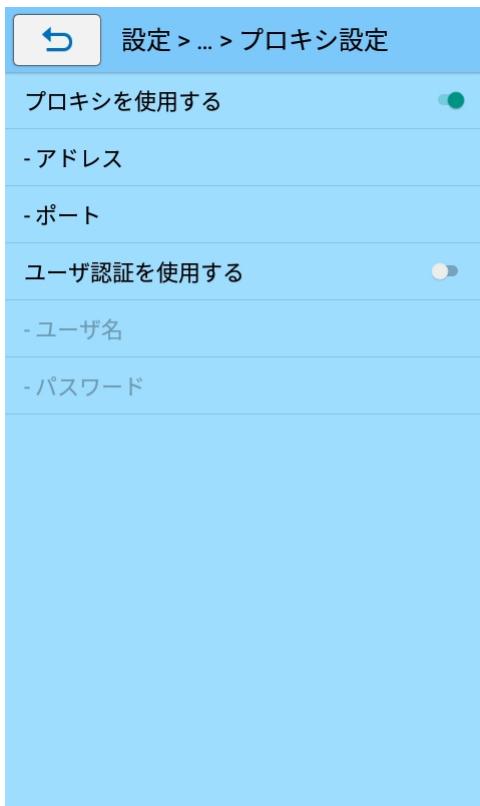
会社ID
TEST
キャンセル OK

10. [接続テスト]をタップします。

接続テストが失敗した場合は入力したアドレスや ID に間違いが無いか確認を行ってください。

注意

- ・ ネットワークの環境によってはプロキシの設定が必要となります。プロキシのアドレス、ポートなどの設定は、設定メニューの【システム管理】>【プロキシ設定】からおこなってください。



[データ連携をおこなう]

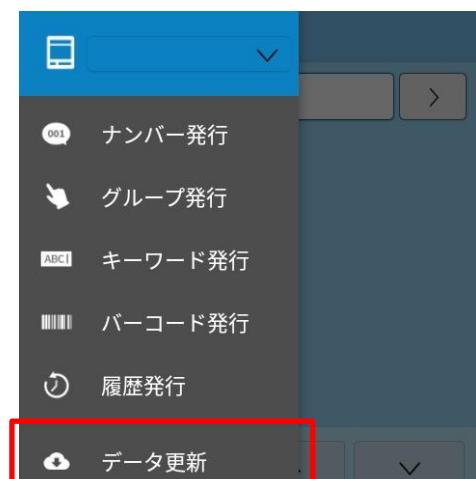
1.  (メニュー) をタップします。



注意

- 設定画面では  (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

2.  [データ更新]をタップします。



データ更新画面が開きます。

3. [OK]をタップして、データ連携処理を実行します。



4. データ更新のプログレスが表示され、更新が実行されます。

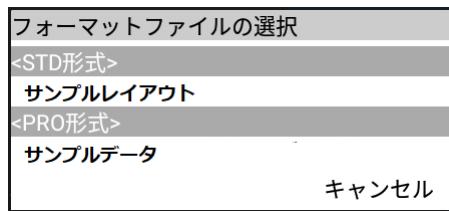


フォーマットファイルが e-Labe Print に取り込まれます。

フォーマットファイルが複数ある場合は、「フォーマットファイルの選択」ダイアログが表示されます。取り込むフォーマットファイルを選択してください。

注意

- STD 形式と PRO 形式のフォーマットファイルが混在している場合、「フォーマットファイルの選択」ダイアログではそれぞれの形式別に表示されます。



WebDAV (HTTP) サーバとデータ連携する

本マニュアルでは例として以下の環境の WebDAV サーバとのデータ連携について説明します。

接続先の配下にダウンロード元となる「FormatFiles」 と「Settings」 フォルダを作成しておきます。

例) 接続先 : [http://192.168.40.60/elabe/]

[e-Labe Designer でフォーマットファイルを出力し、サーバにファイルを配置する]

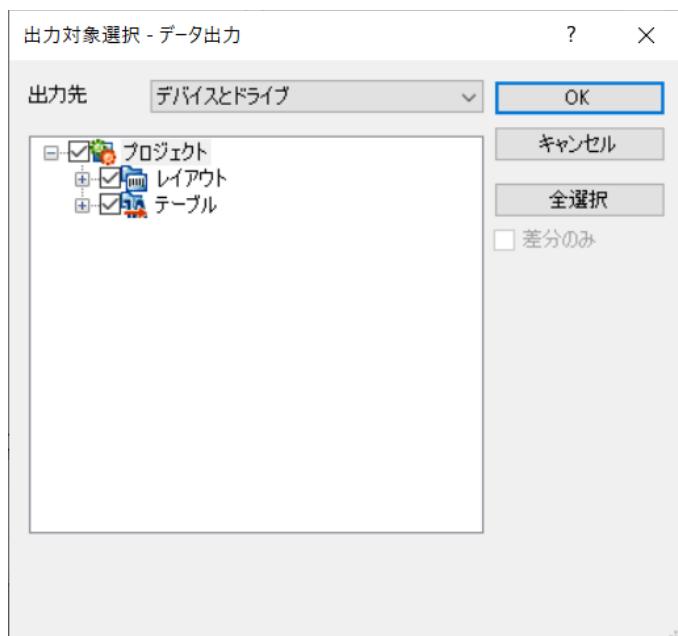
1. ツールバーの [データ出力] ボタンをクリックします。

ファイルメニューから [データ出力] を選択しても、同様の操作ができます。

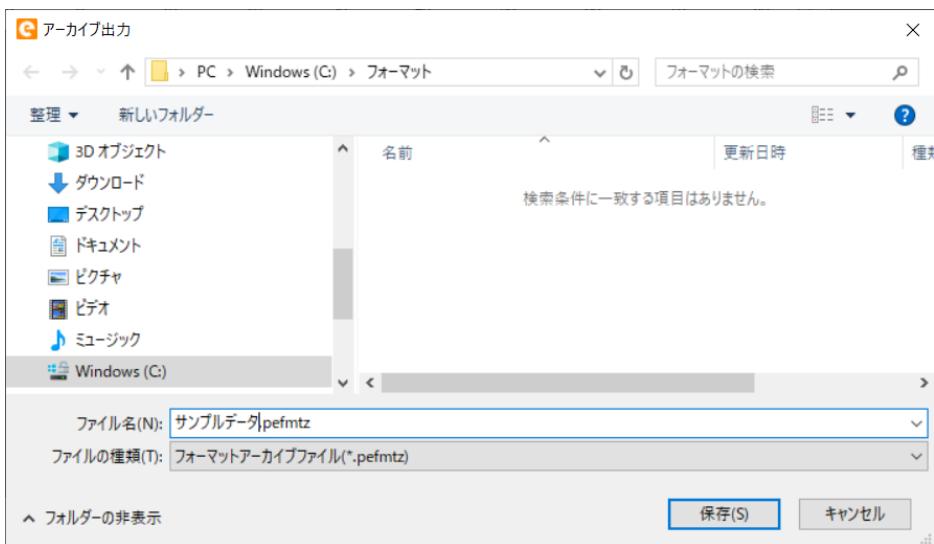


「出力対象選択」画面が表示されます。

2. 出力先を[デバイスとドライブ]に指定して[OK]をクリックします。



3. フォーマットの一時保存先を指定し、保存します。

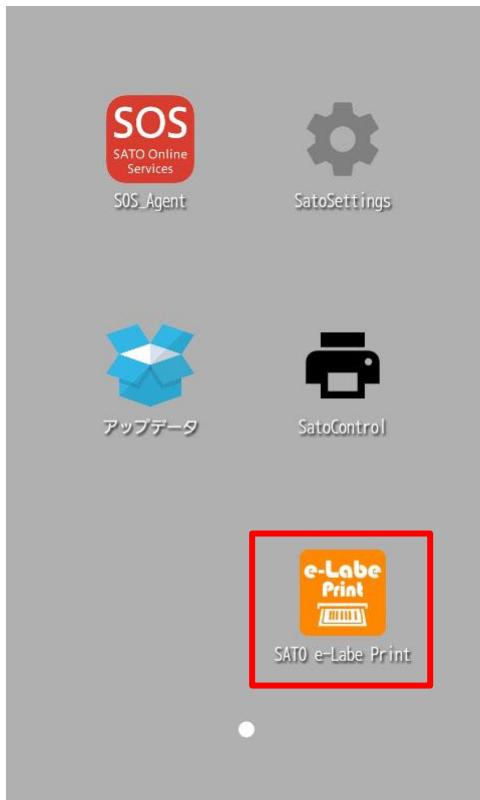


4. [3]で保存したフォーマットファイルを WebDAV サーバの FormatFiles フォルダに配置します。

例) [http://192.168.40.60/elabe/FormatFiles]に保存

[e-Labe Print でデータ連携の設定をおこなう]

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2.  (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



5. [ストレージ選択] をタップして [WebDAV (HTTP)] を選択します。

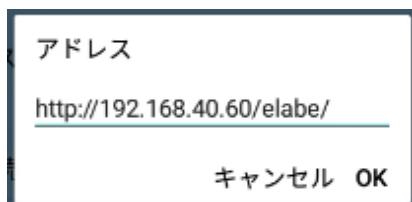


6. [接続設定] をタップします。

WebDAV 接続設定画面が開きます。

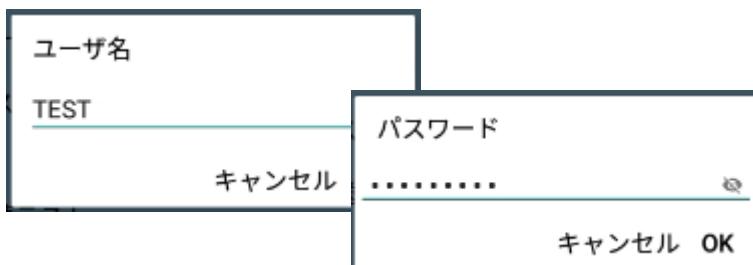


7. [アドレス]をタップし、アドレスを入力します。



8. [ユーザ名]をタップし、必要事項を入力します。[パスワード]も同様に入力します。

WebDAV サーバのログインユーザ名、パスワードを設定してください。

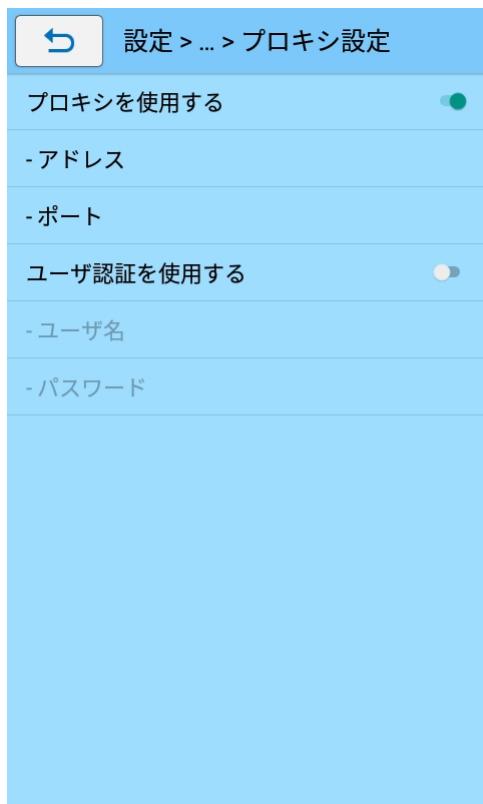


9. [接続テスト]をタップします。

接続テストが失敗した場合は入力したアドレスやユーザ名に間違いが無いか確認を行ってください。

注意

- ネットワークの環境によってはプロキシの設定が必要となります。プロキシのアドレス、ポートなどの設定は、設定メニューの [システム管理] > [プロキシ設定] からおこなってください。



[データ連携をおこなう]

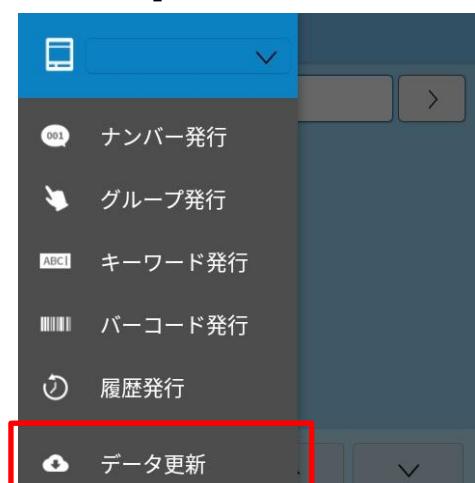
1.  (メニュー) をタップします。



注意

- 設定画面では  (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

2.  [データ更新]をタップします。

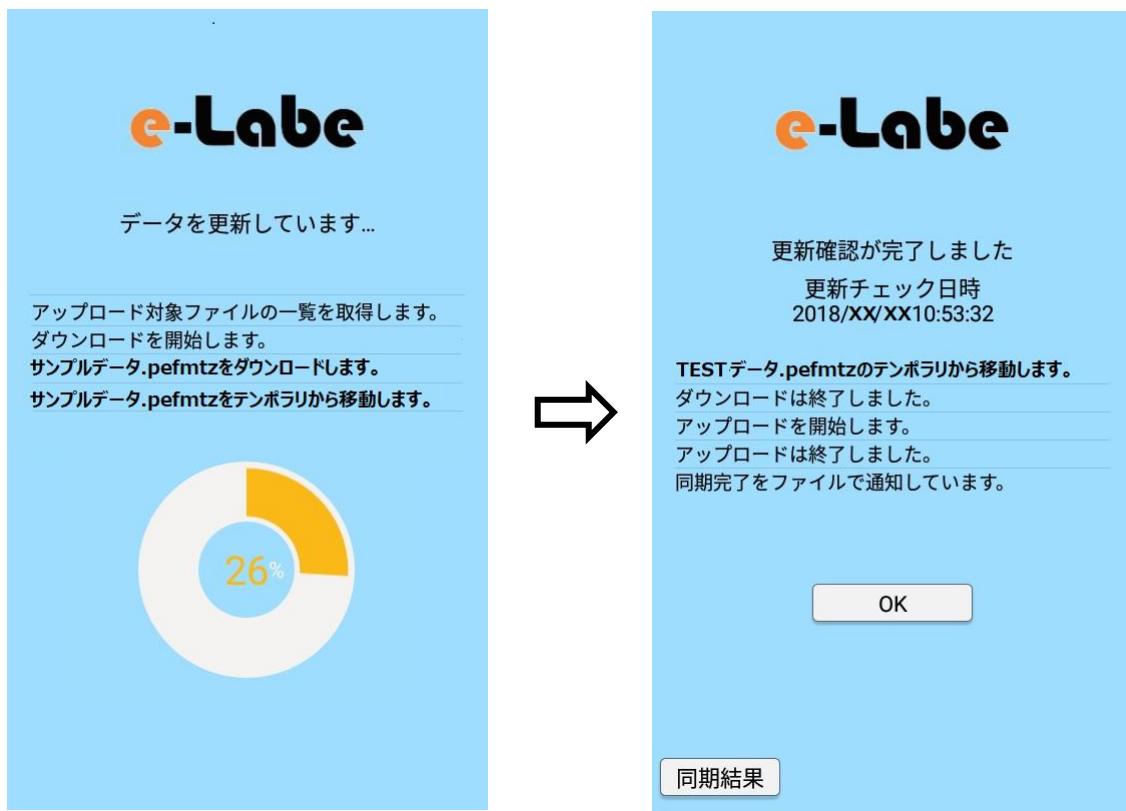


データ更新画面が開きます。

3. [OK]をタップして、データ連携処理を実行します。



4. データ更新のプログレスが表示され、更新が実行されます。

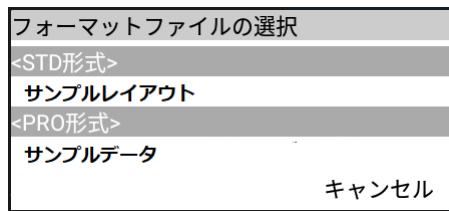


フォーマットファイルが e-Labe Print に取り込まれます。

フォーマットファイルが複数ある場合は、「フォーマットファイルの選択」ダイアログが表示されます。取り込むフォーマットファイルを選択してください。

注意

- STD 形式と PRO 形式のフォーマットファイルが混在している場合、「フォーマットファイルの選択」ダイアログではそれぞれの形式別に表示されます。



FTP サーバとデータ連携する

本マニュアルでは例として以下の環境の FTP サーバとのデータ連携について説明します。

接続先の配下にダウンロード元となる「FormatFiles」 と「Settings」 フォルダを作成しておきます。

例) 接続先 : [ftp://192.168.40.60/elabe/]

[e-Labe Designer でフォーマットファイルをアップロードする]

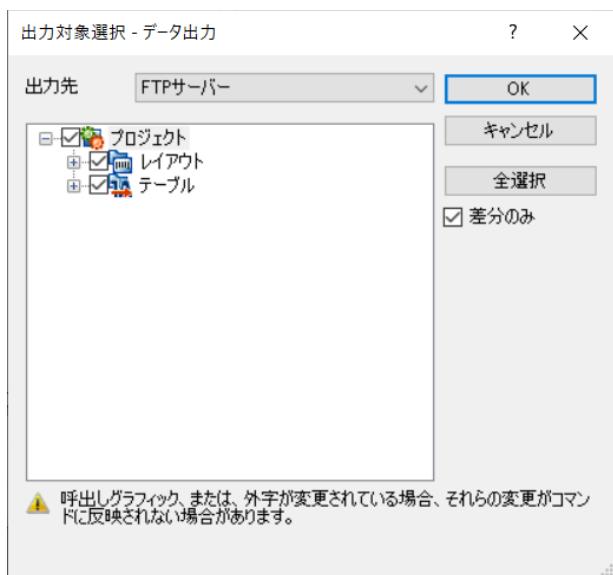
1. ツールバーの [データ出力] ボタンをクリックします。

ファイルメニューから [データ出力] を選択しても、同様の操作ができます。



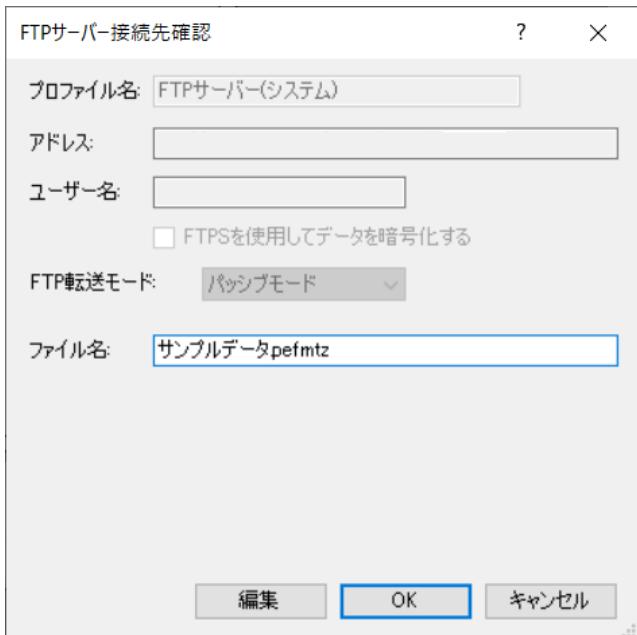
「出力対象選択」画面が表示されます。

2. 出力先を[FTP サーバー]に指定して[OK]をクリックします。



FTP サーバ接続先確認画面が表示されます。

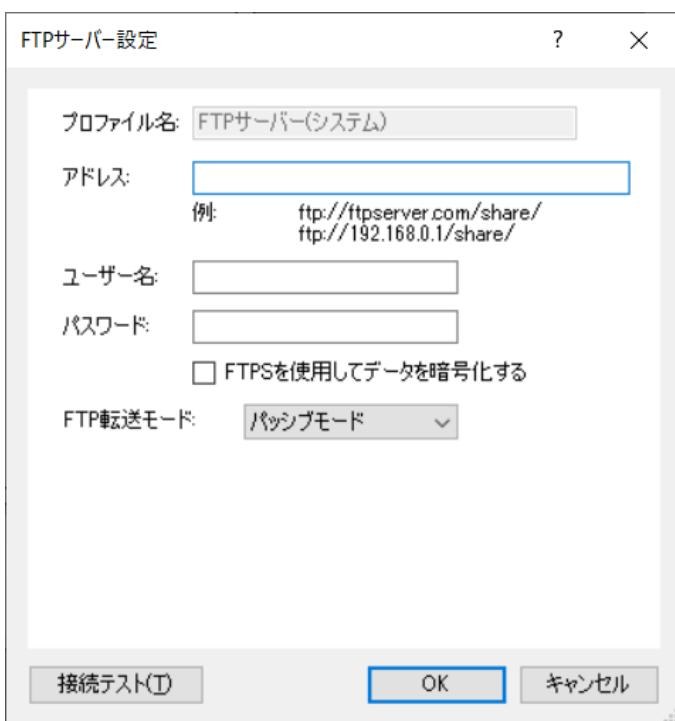
3. [編集]をクリックします。



FTP サーバー設定画面が表示されます。

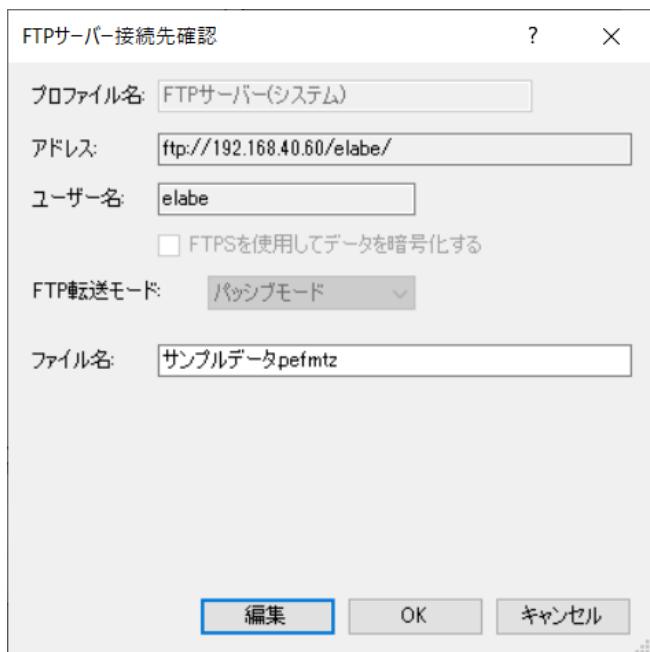
4. [アドレス] [ユーザー名] [パスワード] を入力し [OK] をクリックします。

[接続テスト]をクリックすると、入力した情報で接続確認がおこなえます。

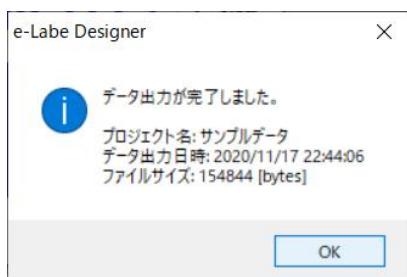


FTP サーバー接続先確認画面に戻ります。

5. [OK]をクリックし、FTP サーバにフォーマットファイルをアップロードします。



アップロードが完了すると、データ出力の完了メッセージが表示されます。



Tips

e-Labe Designer Ver.1.13.0.0 より「プロファイル機能」を利用できます。よく使う出力先の情報をあらかじめプロファイルに登録しておくと、データ出力時の出力先を簡単に選ぶことができます。詳細は e-Labe Designer のヘルプで「プロファイル設定タブ」の説明をご参照ください。

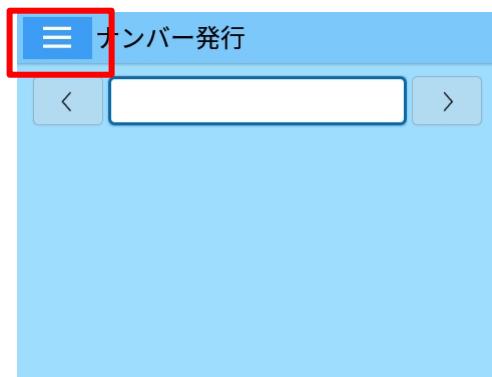
[e-Labe Print でデータ連携の設定をおこなう]

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2.  (メニュー) をタップします。



注意

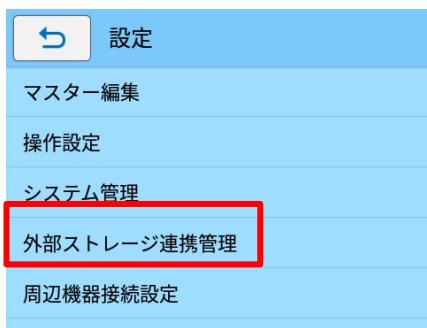
発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



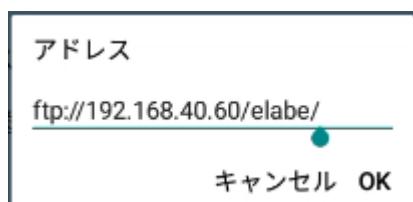
5. [ストレージ選択] をタップして [FTP] を選択します。



6. [接続設定] をタップします。

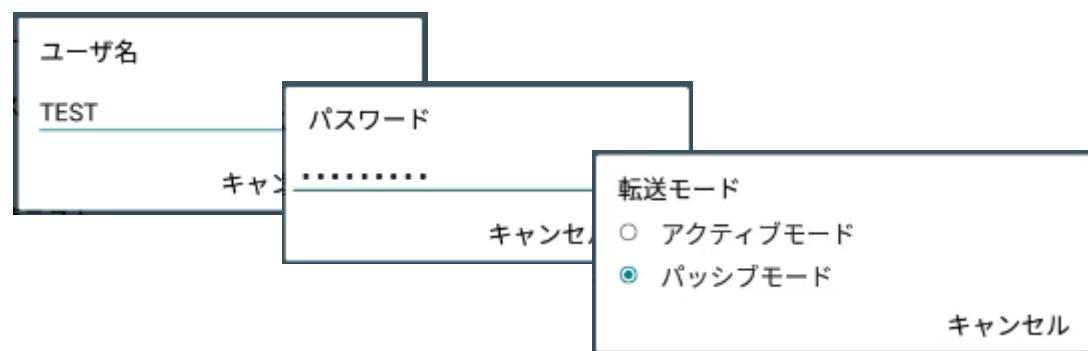
FTP 接続設定画面が開きます。

7. [アドレス]をタップし、アドレスを入力します。



8. [ユーザ名]をタップし、必要事項を入力します。[パスワード][転送モード]も同様に入力します。

FTP サーバのログインユーザ名、パスワードを設定してください。

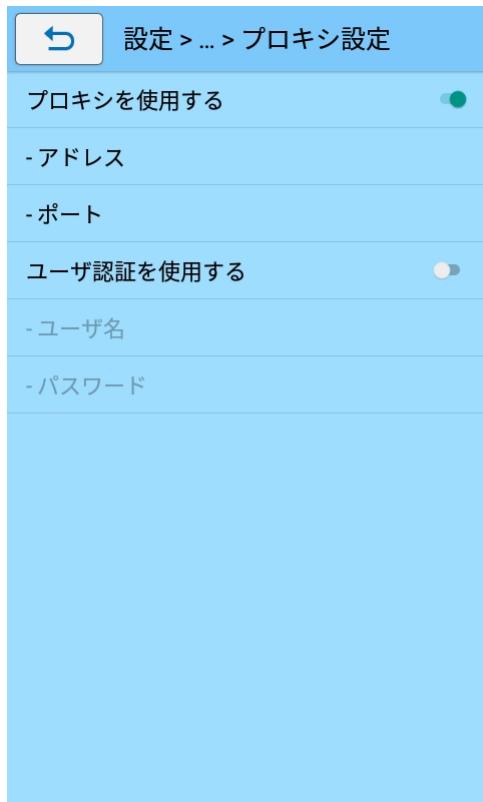


9. [接続テスト]をタップします。

接続テストが失敗した場合は入力したアドレスやユーザ名等に間違いが無いか確認を行ってください。

注意

- ネットワークの環境によってはプロキシの設定が必要となります。プロキシのアドレス、ポートなどの設定は、設定メニューの【システム管理】>【プロキシ設定】からおこなってください。



[データ連携をおこなう]

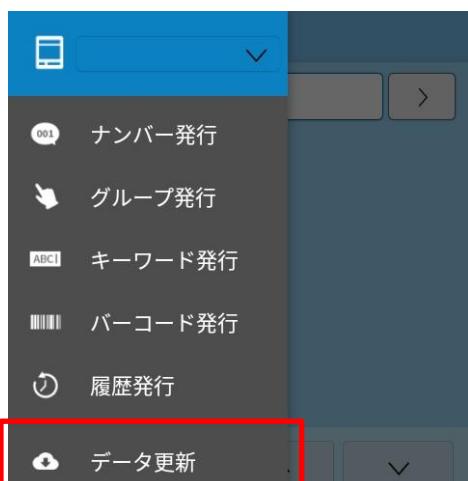
1.  (メニュー) をタップします。



注意

- 設定画面では  (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

2.  [データ更新]をタップします。

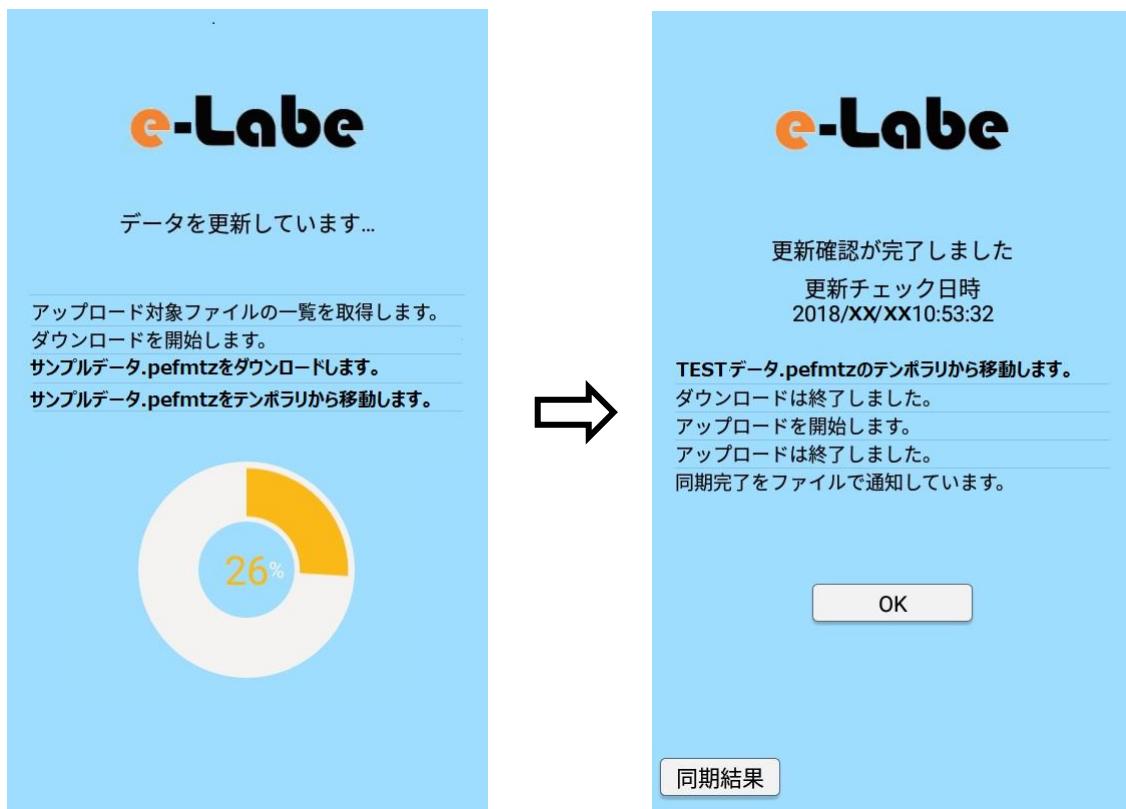


データ更新画面が開きます。

3. [OK]をタップして、データ連携処理を実行します。



4. データ更新のプログレスが表示され、更新が実行されます。

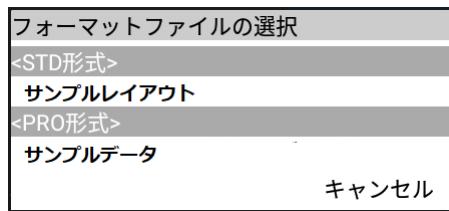


フォーマットファイルが e-Labe Print に取り込まれます。

フォーマットファイルが複数ある場合は、「フォーマットファイルの選択」ダイアログが表示されます。取り込むフォーマットファイルを選択してください。

注意

- STD 形式と PRO 形式のフォーマットファイルが混在している場合、「フォーマットファイルの選択」ダイアログではそれぞれの形式別に表示されます。



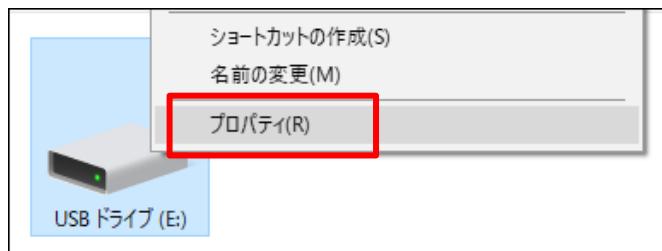
USB メモリとデータ連携する

作成したラベルデザインを出力し、USB メモリから FX3-LX にコピーする手順を説明します。

[USB メモリを準備する]

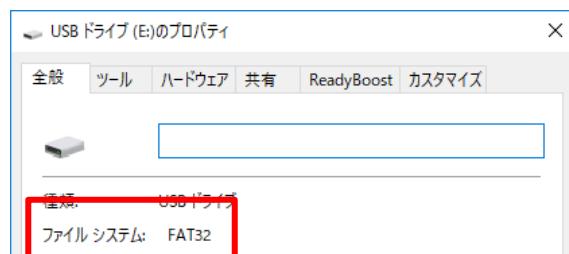
1. USB メモリをパソコンに挿します。

2. デスクトップ等にあるコンピュータを開き USB メモリを右クリックプロパティをクリックします。



3. プロパティ画面のファイルシステムが FAT32 かどうかを確認します。

FAT32 だった場合は次の手順は不要です。



4. 再度 USB メモリの上で右クリックし、フォーマットをクリックします。

フォーマット画面が開きます。

注意

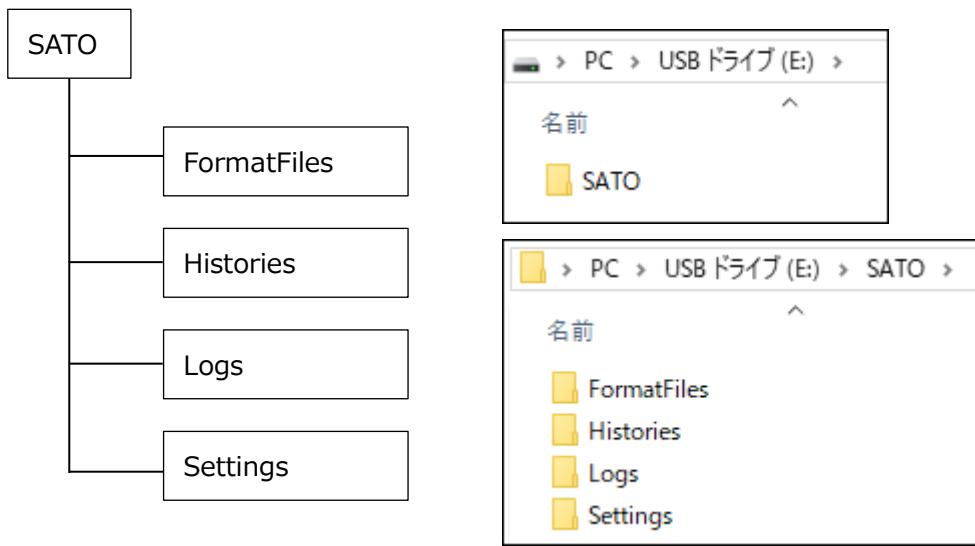
フォーマットを実行すると、USB メモリ内のすべてのデータが削除されます。

必要なデータは退避してください。

5. ファイルシステムを「FAT32」に指定し、開始をクリックします。



6. 以下のフォルダ構成で USB メモリ直下にフォルダを作成します。



注意

フォルダ名は大文字小文字を区別します。

[e-Labe Designer で USB メモリにフォーマットファイルを出力する]

1. e-Labe Designer でプロジェクトファイルを開きます。

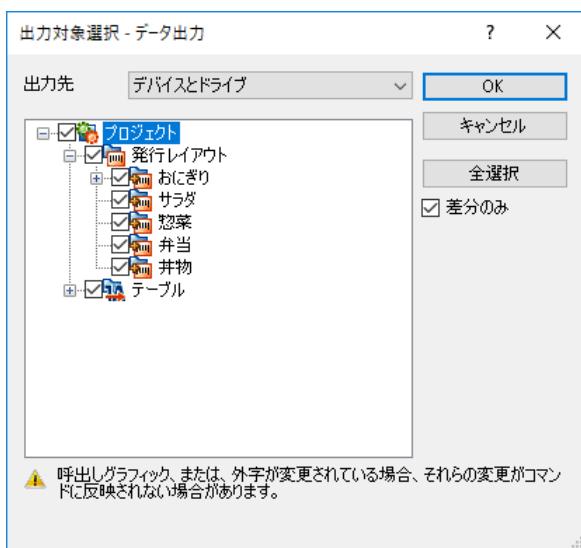
2. ツールバーの「データ出力」ボタンをクリックします。

メニューバーの「ファイル」>「データ出力」でも、同様の操作ができます。



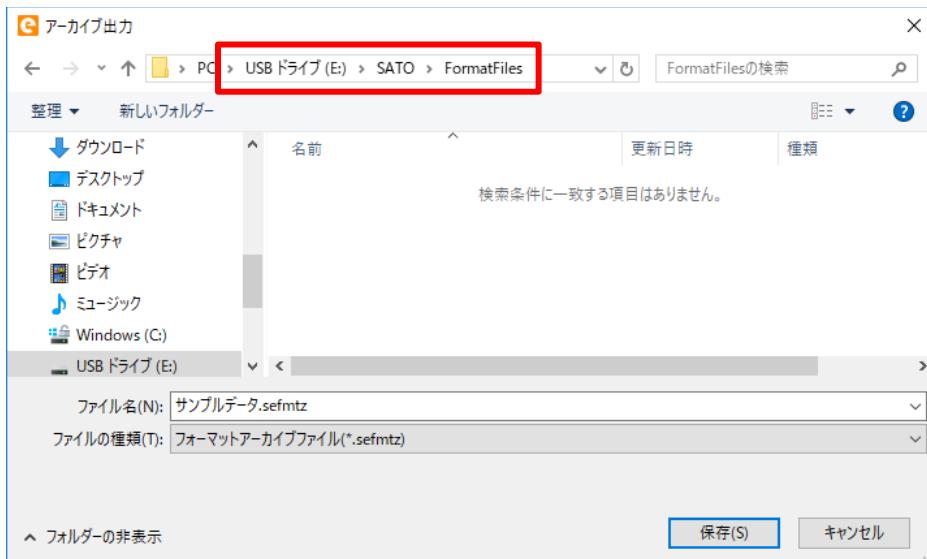
「出力対象選択」画面が表示されます。

3. 出力先[デバイスとドライブ]を選択し、出力するデータにチェックを入れて、[OK]をクリックします。

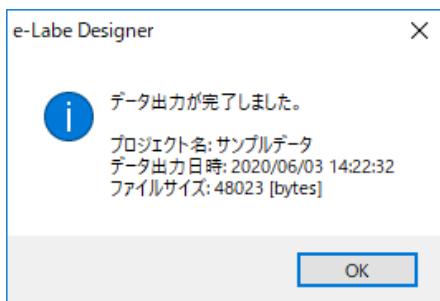


- 「全選択」をクリックすると、プロジェクト内の全データを出力します。
- 「差分のみ」をチェックすると、変更されたデータのみ出力するため、高速で出力ができます。

4. 出力先に USB メモリを選び、作成しておいた「SATO」>「FormatFiles」フォルダを指定し[保存]をクリックします。

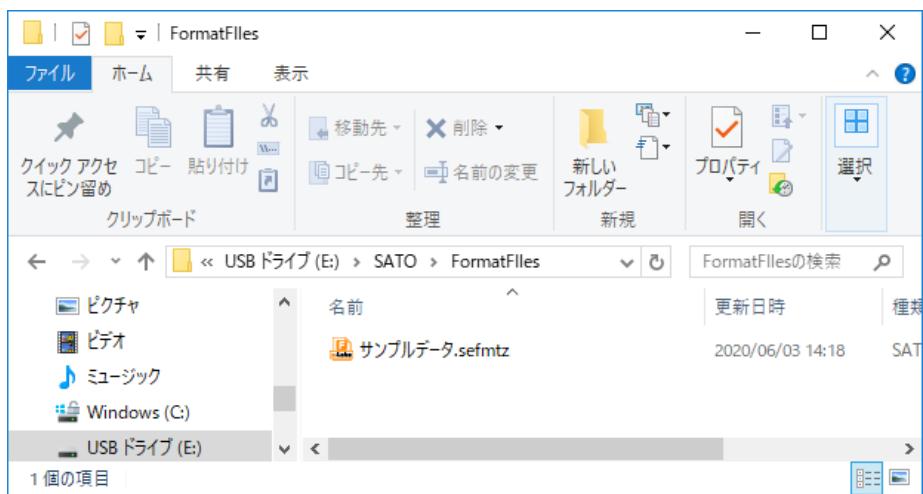


5. データ出力が完了するとメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



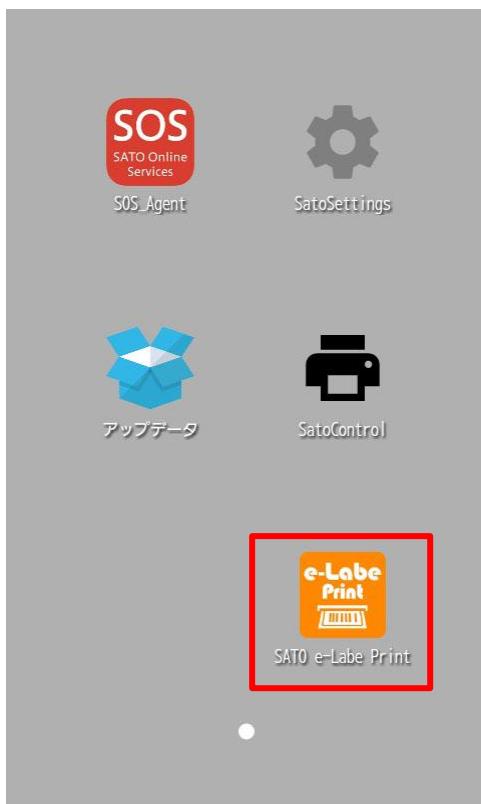
6. USB メモリの「SATO」>「FormatFiles」フォルダをダブルクリックします。

フォーマットが出力されていることを確認します。



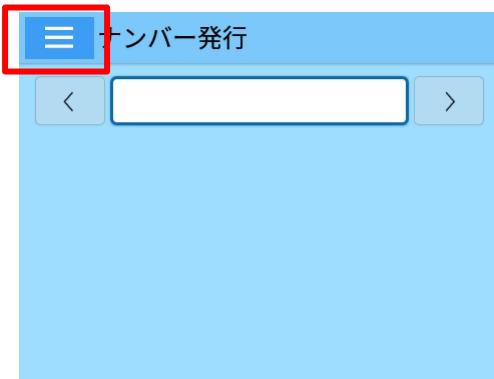
[e-Labe Print でデータ連携の設定をおこなう]

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2.  (メニュー) をタップします。



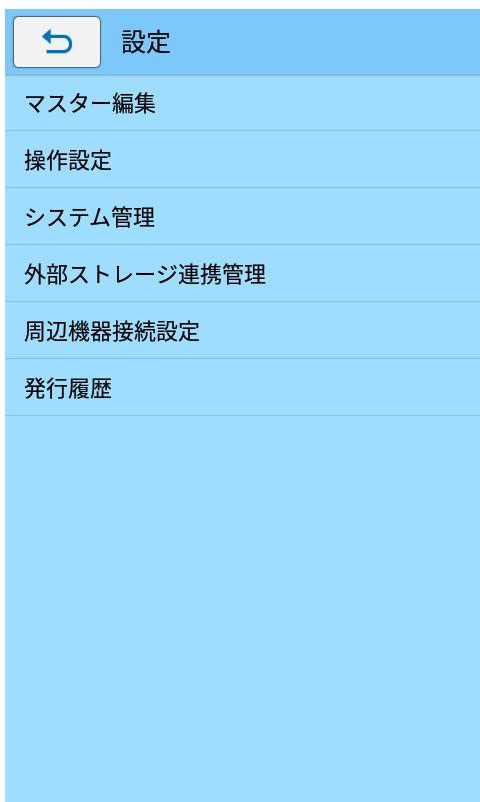
注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

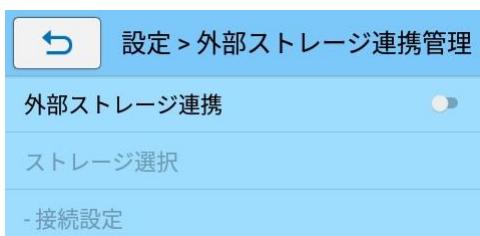
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 設定メニュー画面が表示されます。



5. [外部ストレージ連携管理]をタップします。

6. [外部ストレージ連携]を「オン」にします。



設定項目が有効になります。

7. [ストレージ選択]をタップし、[USBストレージ]を選択します。



8. USB メモリをコンピュータから外し、FX3-LX の USB ポートに接続します。



[データ連携をおこなう]

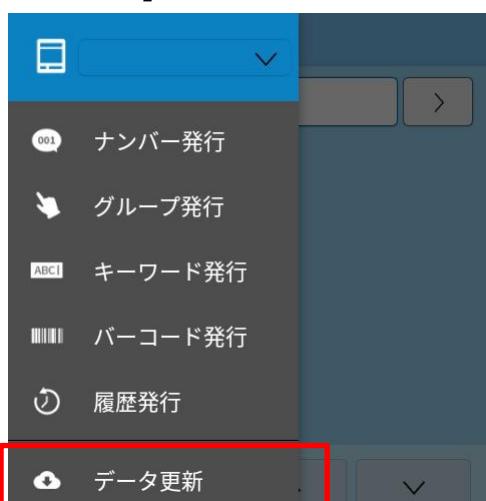
1. (メニュー) をタップします。



注意

- 設定画面では (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

2. [データ更新]をタップします。

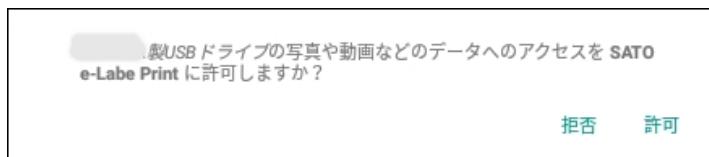


データ更新画面が開きます。

3. [OK]をタップして、データ連携処理を実行します。



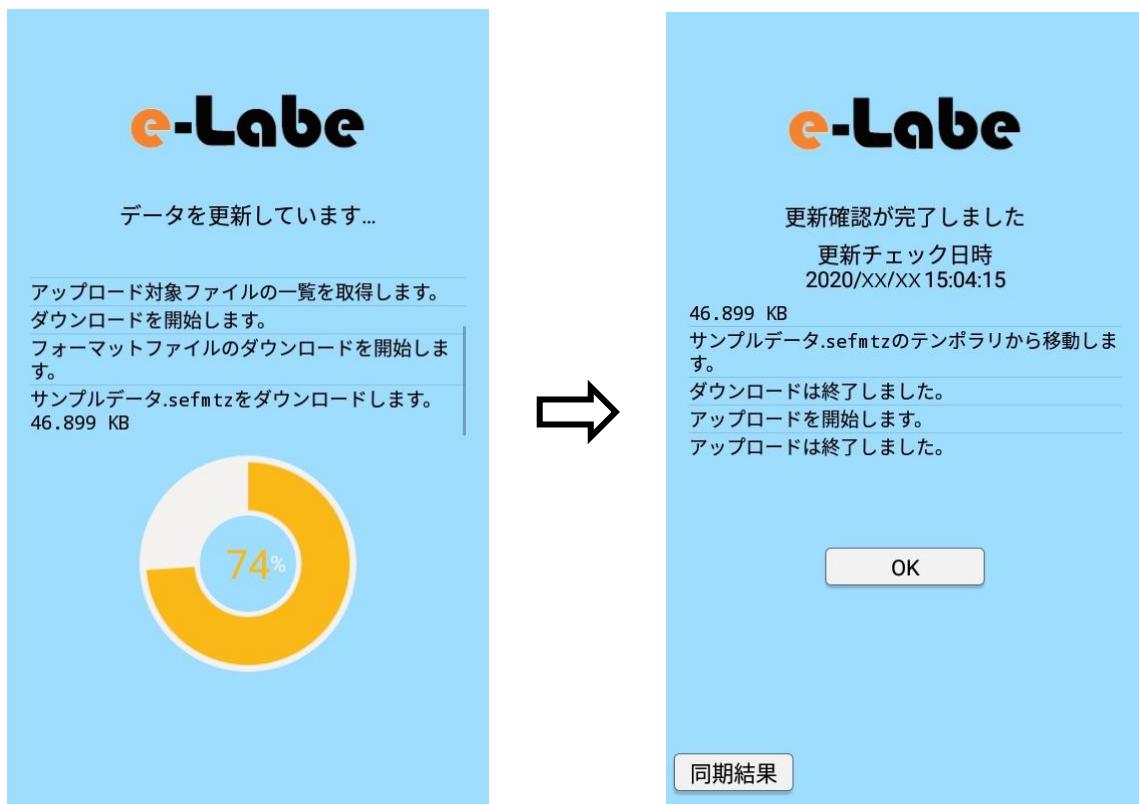
4. USB デバイスへのアクセス許可確認ダイアログが表示されます。[許可]をタップします。



注意

- ・[拒否]を選択した場合データ更新に失敗します。データ更新を再実行時、再度ダイアログが表示されますので[許可]をタップしてください。

5. データ更新のプログレスが表示され、更新が実行されます。

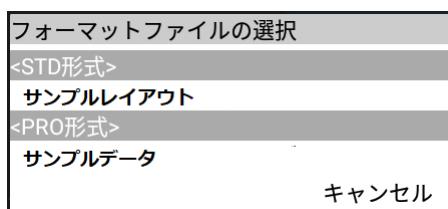


フォーマットファイルが e-Labe Print に取り込まれます。

フォーマットファイルが複数ある場合は、「フォーマットファイルの選択」ダイアログが表示されます。取り込むフォーマットファイルを選択してください。

注意

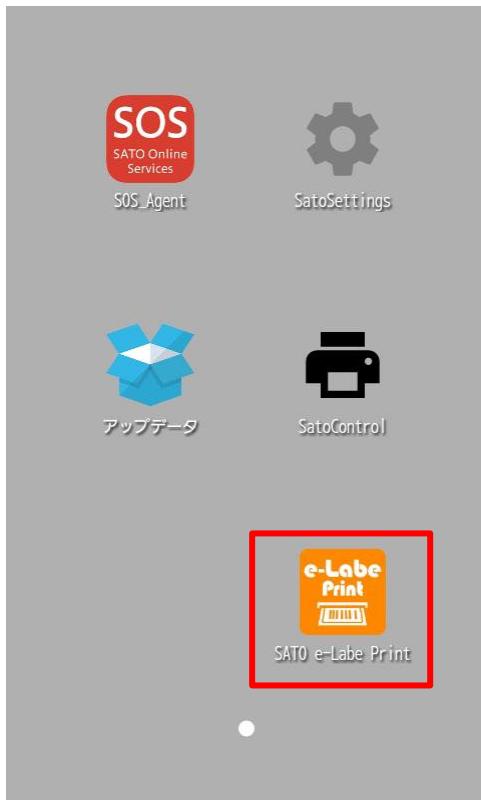
- STD形式とPRO形式のフォーマットファイルが混在している場合、「フォーマットファイルの選択」ダイアログではそれぞれの形式別に表示されます。



(3) ラベルを発行する

フォーマットファイルを読み込む

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

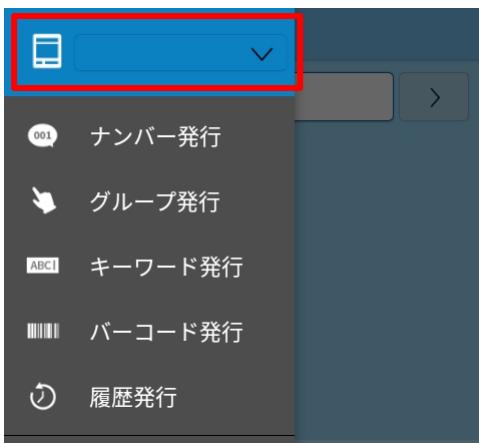
2.  (メニュー) をタップします。



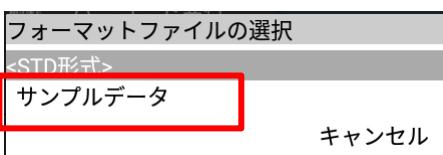
注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

3.  (フォーマットファイル選択) をタップします。



4. コピーしたフォーマットファイル名をタップします。



選択したフォーマットファイルが、e-Labe Print に読み込まれます。

-  (フォーマットファイル選択) フィールドに、読み込んだフォーマットファイル名が表示されていることを確認してください。

アイテムを選ぶ

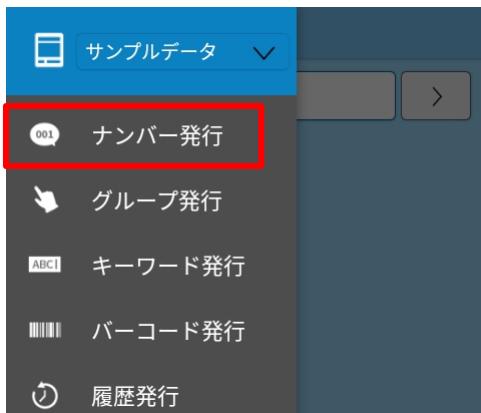
さまざまな検索方法で、発行したいアイテムをすばやく呼び出せます。

呼び出し方法はナンバー発行、グループ発行、キーワード発行、バーコード発行、履歴発行の5種類があります。

ナンバー発行

e-Labe Designer で設定した呼出し No.を入力して、アイテムを呼び出します。

1.  (メニュー) をタップします。
2. メニューから  ナンバー発行] を選びます。



ナンバー発行画面が表示されます。

3. ソフトウェアキーボードを使って、呼出し No.を入力します。

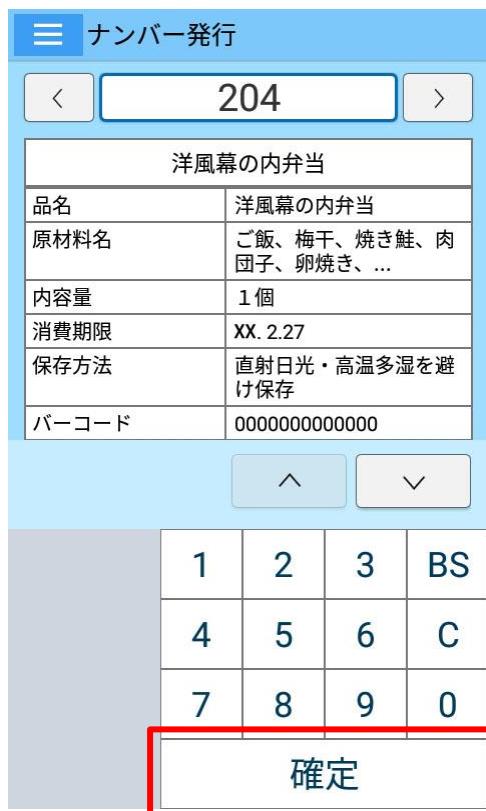


入力した呼出し No.のアイテムが表示されます。

[<] [>] をタップして、アイテムを番号順に表示することもできます。

4. 発行したいアイテムが表示されたら [確定] をタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

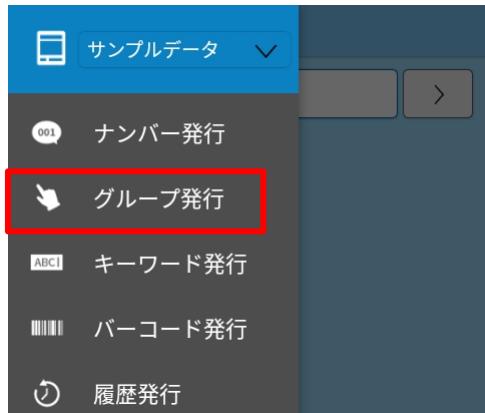


グループ発行

グループ単位でアイテムを絞り込み、呼び出します。グループは3階層まで設定できます。

あらかじめ e-Labe Designer でグループ設定をおこなう必要があります。

1.  (メニュー) をタップします。
2. メニューから  グループ発行] を選びます。



グループ発行画面が表示されます。

設定メニューの [グループの絞り込み方法] の設定によって、表示される画面が異なります。

3. グループからアイテムを絞り込みます。

ドロップダウン選択の場合

ドロップダウンリストからグループを選びます。グループに含まれるアイテムが表示されます。

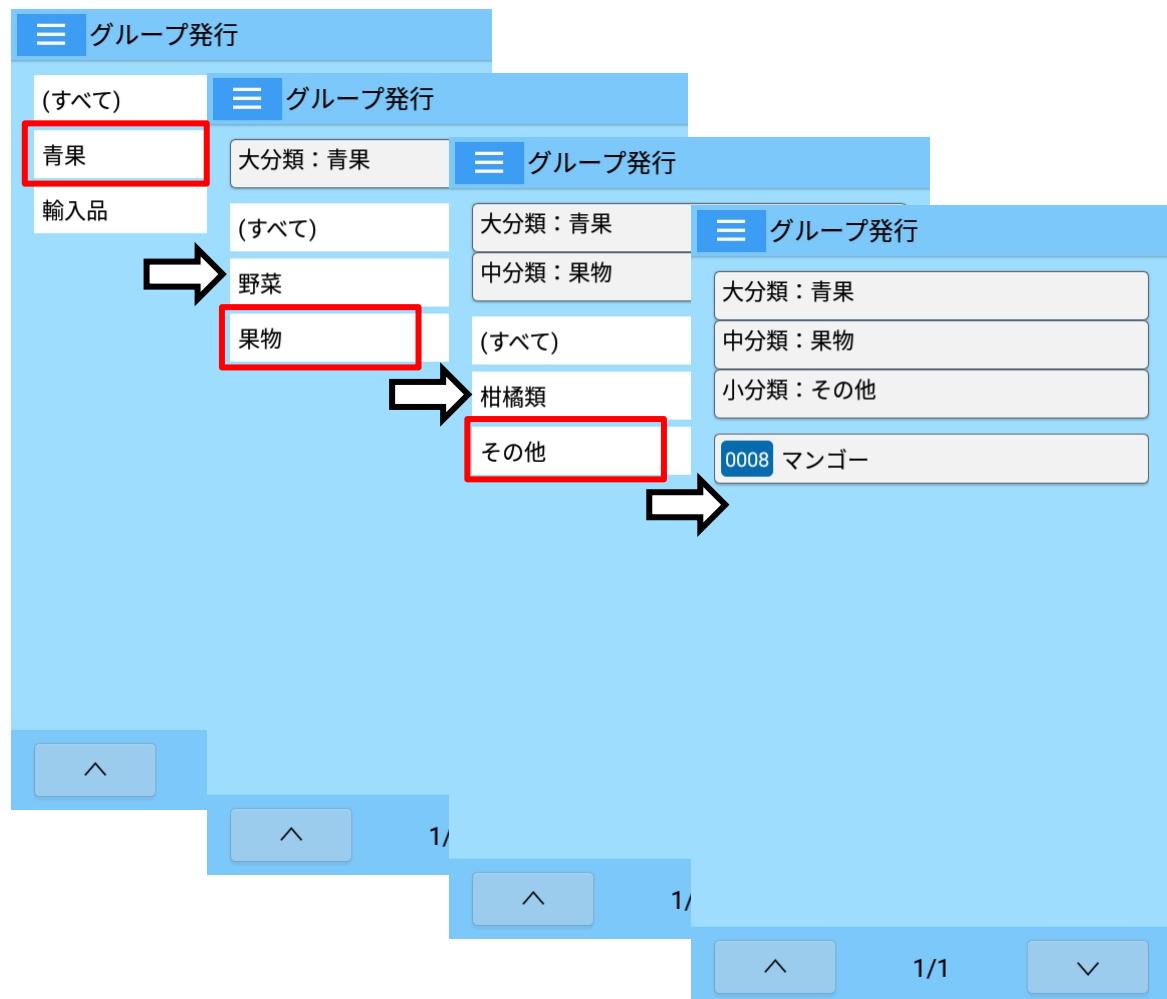
[(すべて)] をタップすると、下の階層のグループのドロップダウンリストが表示されます。この操作を繰り返してアイテムを絞り込みます。



ここでは例として【青果】を選びます。さらに【(すべて)】>【果物】をタップすると、【果物】グループに含まれるアイテムが表示されます。

順次選択の場合

大分類>中分類>小分類の順にグループ名をタップして絞り込みます。



ここでは例として大分類【青果】を選びます。さらに中分類【果物】>小分類【その他】をタップすると、【その他】グループに含まれるアイテムが表示されます。

大分類、中分類の画面で【(すべて)】をタップすると、大分類または中分類に含まれるアイテムすべてが表示されます。

4. 発行したいアイテムをタップします。

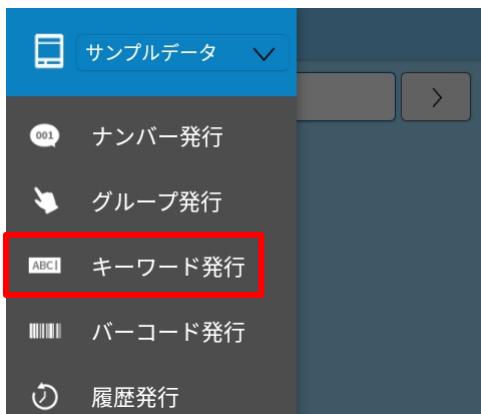
選択したアイテムの発行画面が表示されます。

キーワード発行

商品名などのキーワードで検索して、アイテムを呼び出します。

部分一致で検索するため、入力した文字が呼出しデータ名のどこかに含まれていれば検索対象となります。複数のアイテムがヒットした場合は、候補が一覧表示されます。

1.  (メニュー) をタップします。
2. メニューから [ABC] キーワード発行] を選びます。



キーワード発行画面が表示されます。



3. ソフトウェアキーボードを使って検索ワードを入力します。

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは、FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。

検索結果は入力内容に応じて絞り込まれます。



4. 発行したいアイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

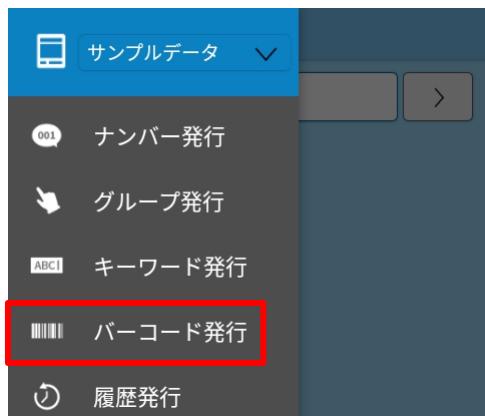
バーコード発行

呼出し No.に対応したバーコードをバーコードスキャナで読み取って呼び出します。

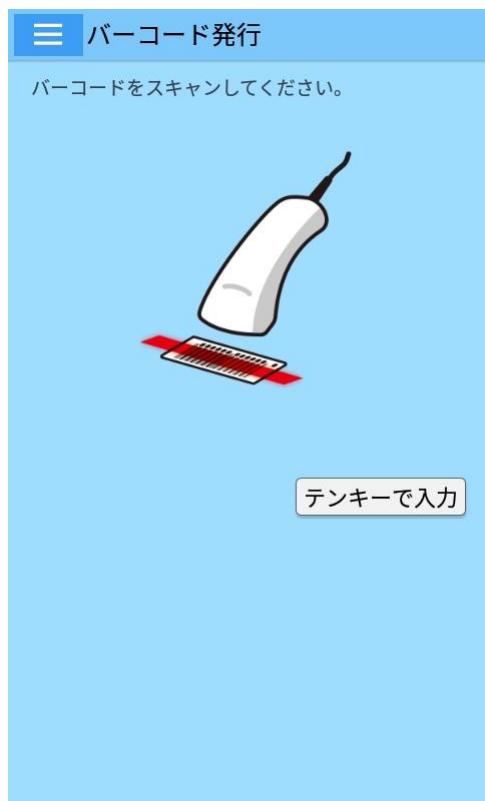
現在対応しているバーコードスキャナは、DENSO「SH1」です。

あらかじめ e-Labe Designer で呼出し No.とバーコードの紐づけをおこなっておく必要があります。

1.  (メニュー) をタップします。
2. メニューから  バーコード発行] を選びます。



バーコード発行画面が表示されます。



3. バーコードを読み取ります。

読み取ったアイテムの発行画面が表示されます。

バーコードスキャナが使用できない場合

- 手順2で【テンキーで入力】をタップして、入力画面を表示させます。
- バーコードの番号を入力します。

検索結果は入力内容に応じて絞り込まれます。



- アイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

注意

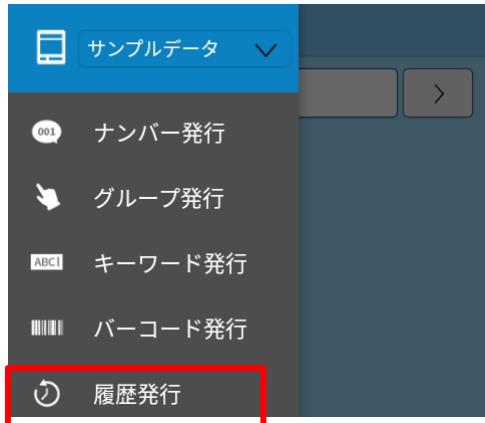
バーコードの検索は「前方一致」で実行します。

検索データに「123」と入力した場合はデータの先頭が「123」から始まるバーコード（「1234」や「123456」など）も検索結果に表示されます。

履歴発行

直近で発行したアイテムの一覧から呼び出します。よく使うアイテムを探すのに便利です。

1.  (メニュー) をタップします。
2. メニューから [履歴発行] を選びます。



履歴発行画面が表示されます。

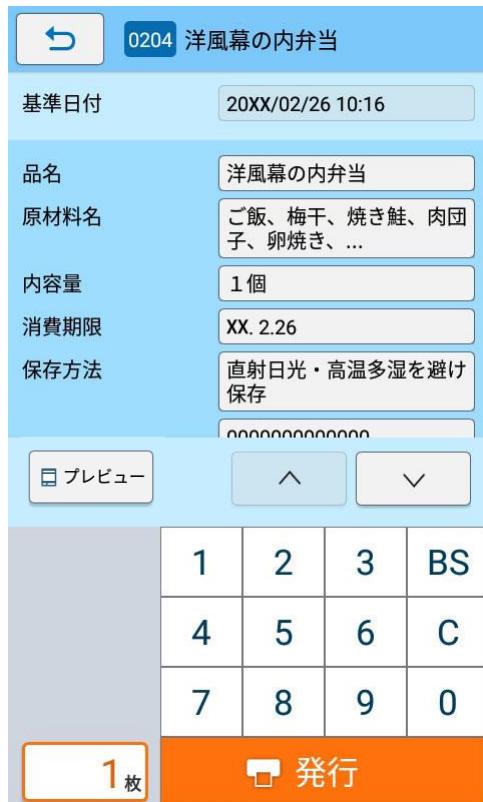


3. 発行したいアイテムをタップします。

選択したアイテムの発行画面が表示されます。

アイテムを編集する

発行画面で、印字情報を必要に応じて修正できます。



0204 洋風幕の内弁当

基準日付 20XX/02/26 10:16

品名 洋風幕の内弁当

原材料名 ご飯、梅干、焼き鮭、肉団子、卵焼き、...

内容量 1個

消費期限 XX. 2.26

保存方法 直射日光・高温多湿を避け保存

000000000000

戻る プレビュー ▲ ▼

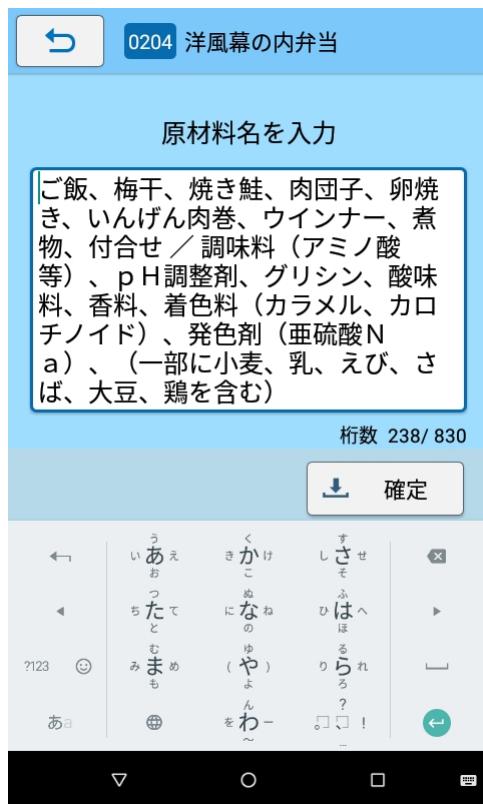
	1	2	3	BS
	4	5	6	C
	7	8	9	0
1 枚	発行			

1. 発行画面で、編集したい項目のフィールドをタップします。

入力画面が表示されます。

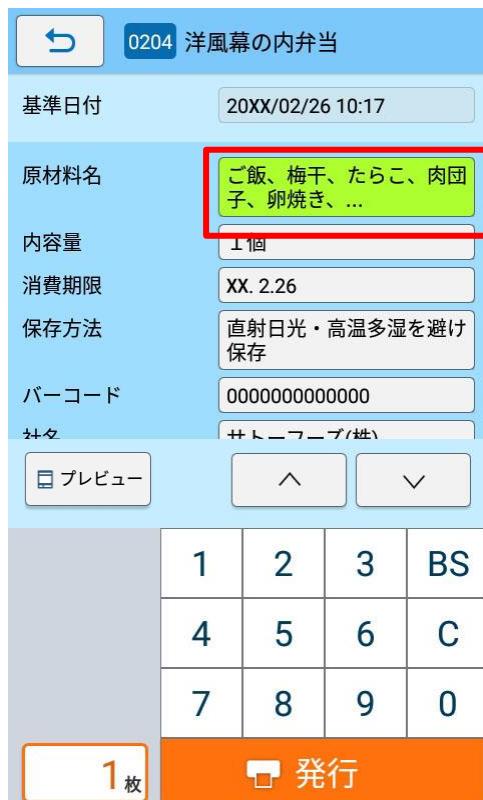
2. ソフトウェアキーボードを使って入力します。

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは、FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。
ここでは例として原材料名を変更します。



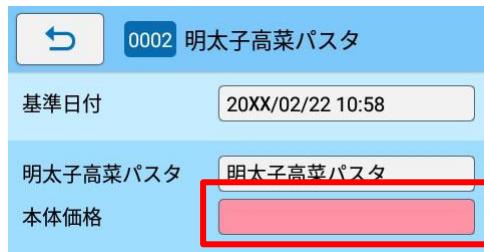
3. 編集が完了したら [確定] をタップします。

発行画面に戻ります。e-Labe Print 上で変更した項目は緑色で表示されます。



注意

- ・ 設定メニューで [アイテム選択時に即時発行] をオンにしている場合は、アイテムの編集はできません。
- ・ 編集が必要な項目は、発行画面ではピンク色で表示されます。これらの項目を編集するまで、発行をおこなうことはできません。



プレビューを確認する

発行画面で [プレビュー] をタップします。



「プレビューを生成しています…」のメッセージが表示され、プレビューが原寸大で表示されます。

プレビューを大きな画面で表示したい場合

- 発行枚数フィールドをタップするごとに、テンキーの表示、非表示が切り替わります。

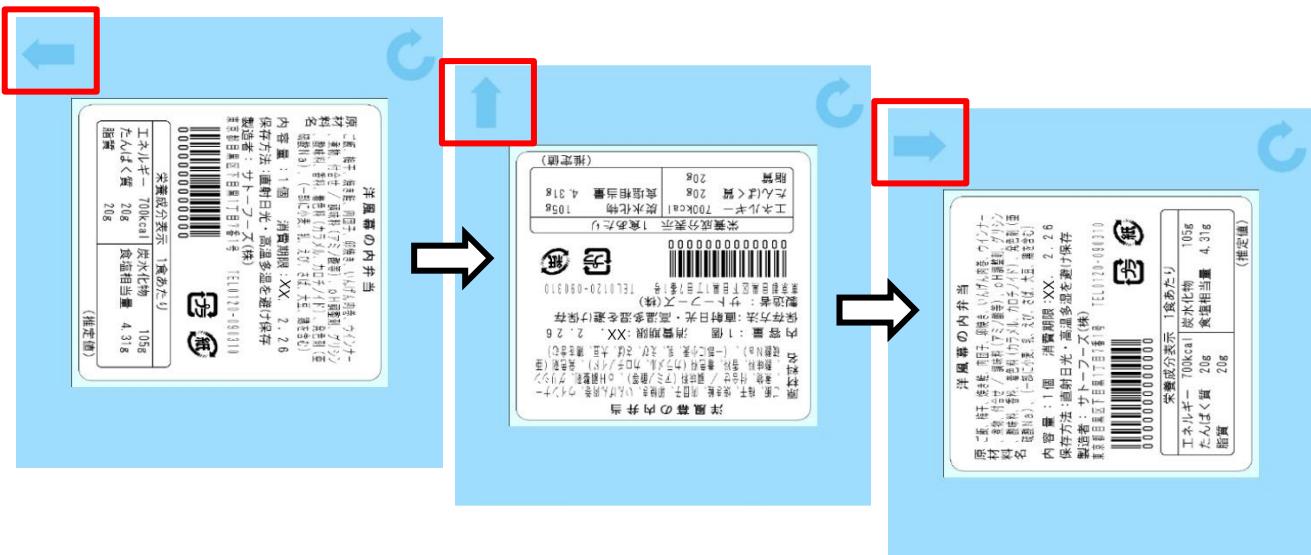


プレビューの向きを変更したい場合

- プレビュー画面左上の (表示回転) を1回タップし、90度回転させます。

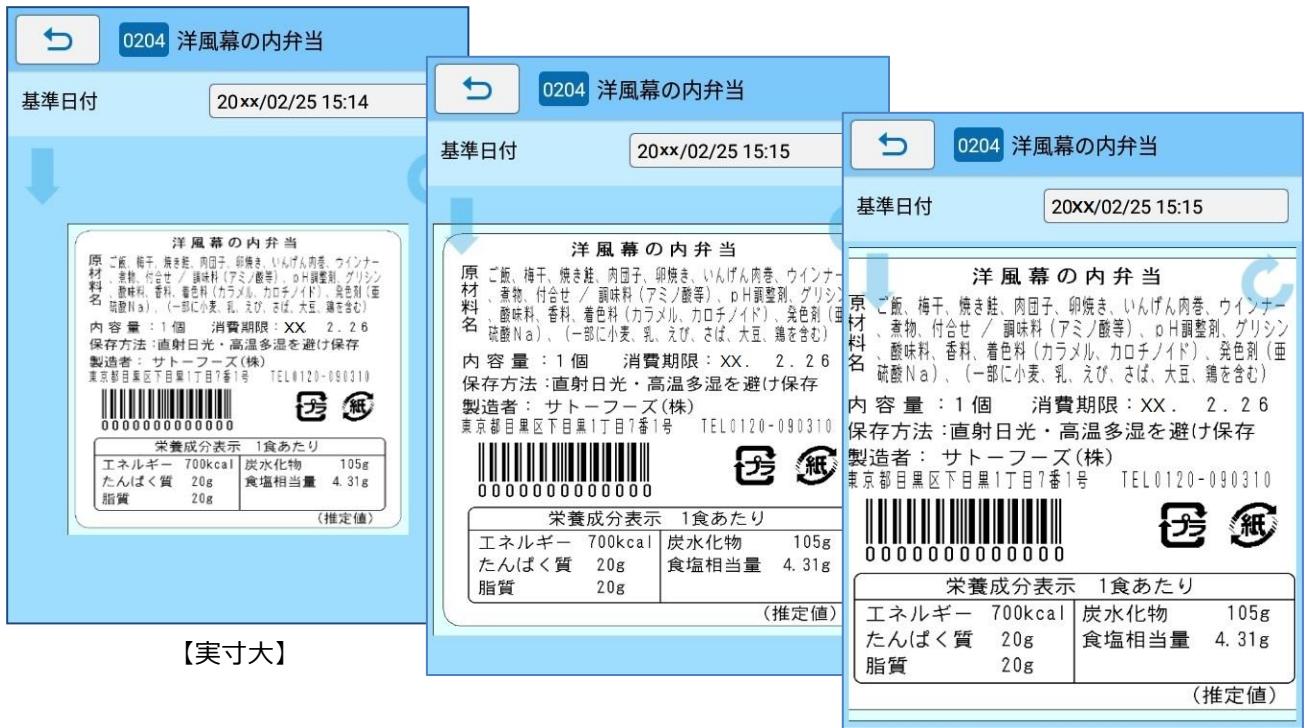
タップする度に半時計回りに90度ずつ回転します。

ラベル発行手順



プレビューの大きさを変更したい場合

1. プレビュー表示を1回タップごとに表示の大きさが切り替わります。



注意

プレビューボタンが表示されない場合は、以下をご確認ください。

- ・設定メニューの [プレビュー機能を使用] の設定がオフになっている
→オンに変更してください
- ・e-Labe Print のバージョンが、Ver.1.1.0 以下である
→Ver.1.2.0 以上をご利用ください

ラベルを発行する

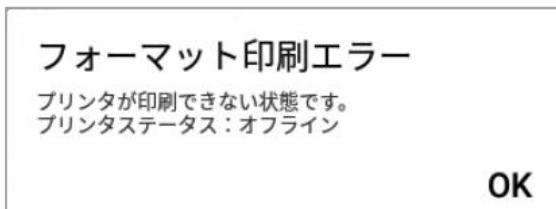
発行画面で発行枚数を入力して [発行] をタップします。



「フォーマットを発行しています…」のメッセージが表示され、ラベルが発行されます。

注意

FX3-LX がオフラインの場合は、「フォーマット印刷エラー」が発生します。



SatoControl で [オンライン] をタップして、オンライン状態に切替えます。



SatoControl 画面が表示されていない場合は、ホーム画面の [SatoControl] をタップします。
詳しくは、FX3-LX の取扱説明書をご覧ください。

データ連携処理機能

サーバや USB デバイスにあるフォーマットファイルや設定ファイルを各プリンタにダウンロードしたり、各プリンタで取得した発行履歴やログファイルをアップロードできる機能です。

基本機能である各種サーバからフォーマットファイルをダウンロードする方法は本マニュアルの「ラベル発行手順」> [「\(2\) フォーマットファイルをプリンタに送信する」](#) を参照してください。

主要なオプション機能

設定>外部ストレージ連携管理でデータ更新に関する様々な設定が可能です。本章ではよく使われる主なオプション機能について説明します。(その他の設定は本マニュアルの「e-Labe Print の設定メニュー」> [「外部ストレージ連携管理」](#) を参照してください。)

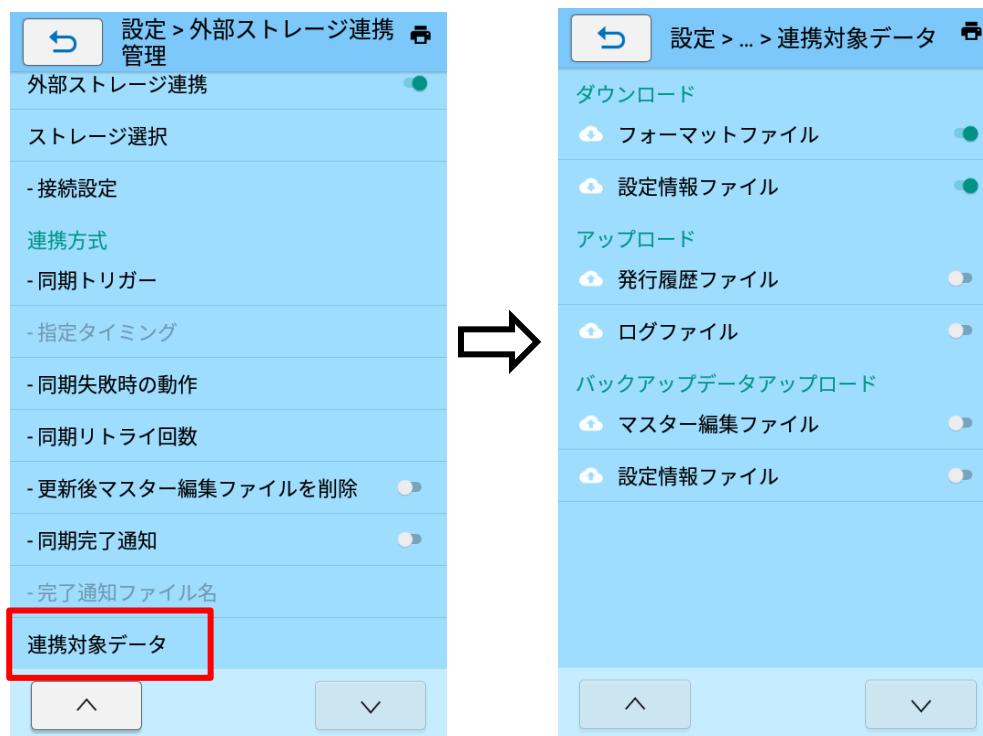
● データ更新する対象データの設定

「連携対象データ」でデータ連携をする対象データを選択できます。

初期値はダウンロードの「フォーマットファイル」「設定情報ファイル」が有効です。

ダウンロード有効となっているファイルは、接続先のサーバや USB デバイスに該当のフォルダが存在していないとデータ更新時エラーになります。

- ・フォーマットファイル⇒FormatFiles フォルダ
- ・設定情報ファイル⇒Settings フォルダ



● データ更新を自動実行するタイミングの設定

「同期トリガー」でデータ更新処理を自動で実行するタイミングを「電源起動時」、「指定タイミング（指定時刻／指定間隔のいずれか）」で設定可能です。



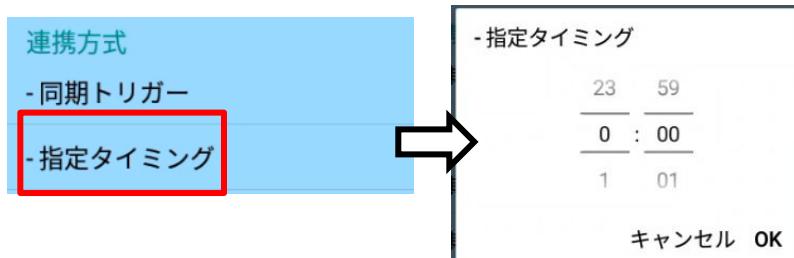
・電源起動時

毎回：電源起動時必ずデータ更新をおこないます。

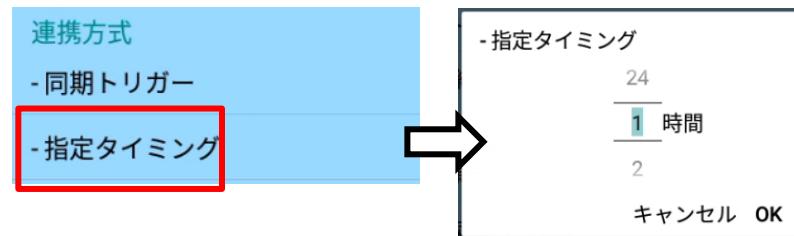
1日1回：電源起動時のデータ更新を1日1回までとし、実行後は日付が変わるまで電源起動時のデータ更新は実行されません。

・指定タイミング

指定時刻：指定した時刻にデータ更新をおこないます。「指定タイミング」で時刻を設定します。



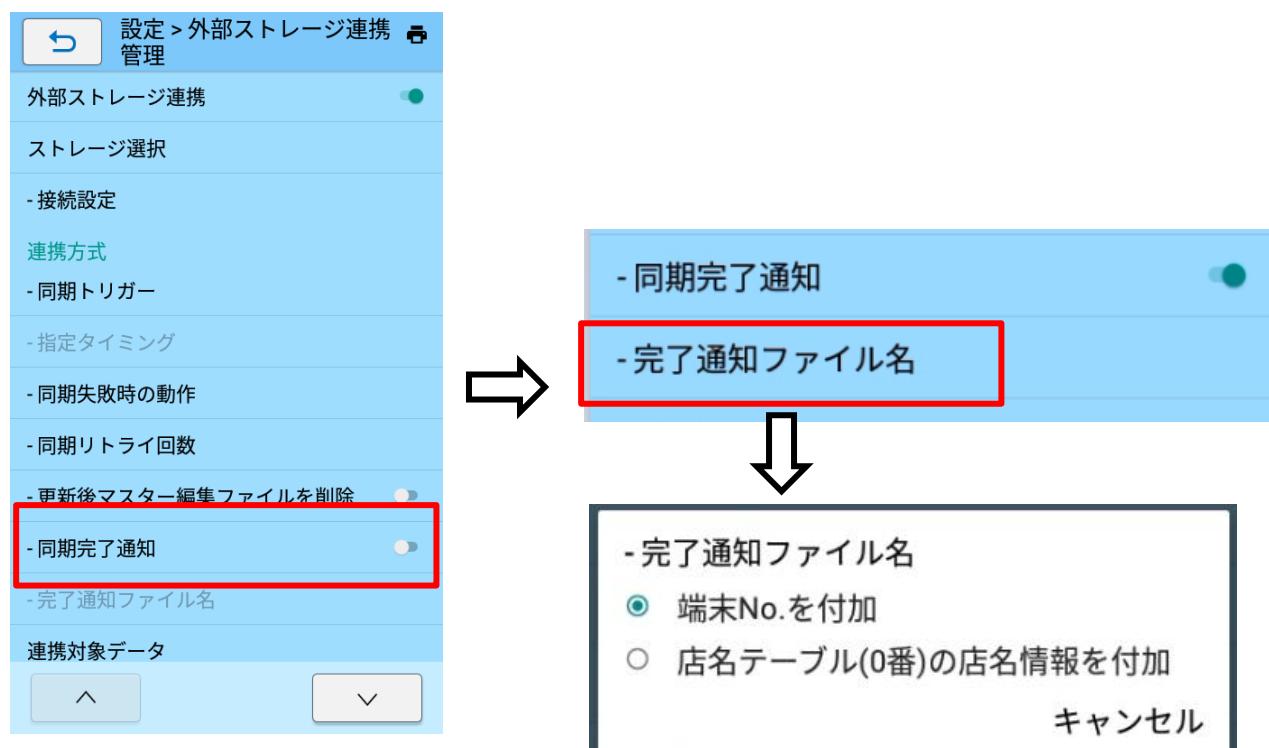
指定間隔：指定した間隔でデータ更新をおこないます。「指定タイミング」で1～24時間指定します。



● データ更新が完了時、サーバに完了通知ファイルをアップロードする設定

「同期完了通知」を有効にすると、データ更新が完了時にデータ完了通知ファイルをアップロードすることができるです。

ファイル名に端末 No. または店名テーブル（0 番）の店名が付加されるため、端末ごとのデータ更新状況や使用している e-Labe Print のバージョン情報を確認できます。



【同期完了通知ファイル】

ファイル名 : xxxx_AccessResult.xml

※xxxx はオプションの設定により端末 No.4 行または店名がセットされます。

```
*0123_AccessResult.xml - 無帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<TransferFileList>
  <FileVersion>1</FileVersion>
  <eLabePrintVersion>1.18.0.0</eLabePrintVersion>
  <TransferFile>
    <FileName>FormatFiles/デモサンプル.pefmtz</FileName>
    <LastModifiedDate>2025/02/04 17:33:13</LastModifiedDate>
    <FileSize>57281</FileSize>
    <FileTransferType>ダウンロード</FileTransferType>
    <FileTransferResult>OK</FileTransferResult>
  </TransferFile>
</TransferFileList>

11 行、20 列 100% Unix (LF) UTF-8
```

フォーマット別マスター編集機能

e-Labe Print で「呼出しテーブル」、「漢字テーブル」、「店名テーブル」のマスター編集をおこなえます。編集したマスターデータは、FX3-LX の「内部共有ストレージ」>「SATO」>「LocalTables」>「(フォーマット名)」フォルダ内にオーバーライド（上書き用）ファイルとして保存されます。

注意

本マニュアルでは Ver.1.14.0 で追加／変更したフォーマット別マスター編集機能に基づいて説明をおこないます。e-Labe Designer Ver.1.14.0.0 以上、e-Labe Print Ver.1.14.0 以上にバージョンアップの上ご利用ください。

e-Labe Designer でマスター編集用フォーマットファイルを準備する

テーブルにマスター編集可否設定をおこなう

e-Labe Designer Ver.1.11.0.0 以上ではテーブル単位でマスター編集を許可するかどうか設定が可能です。マスター編集を許可されたテーブルのみ、e-Labe Print のマスター編集画面で編集可能となります。また、マスター編集の可否によって、e-Labe Print で発行時に参照するデータが異なります。

- ・マスター編集可 : 「内部共有ストレージ」>「SATO」>「LocalTables」フォルダを優先して参照
- ・マスター編集不可 : 「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダを参照

注意

- ・ Print でマスター編集可能なフォーマットは PRO 形式です。
- ・ マスター編集不可は、LocalTables にオーバーライドファイルが存在していても参照しません。
- ・ マスター編集可は、LocalTables にオーバーライドファイルが存在しない場合、FormatFiles を参照します。

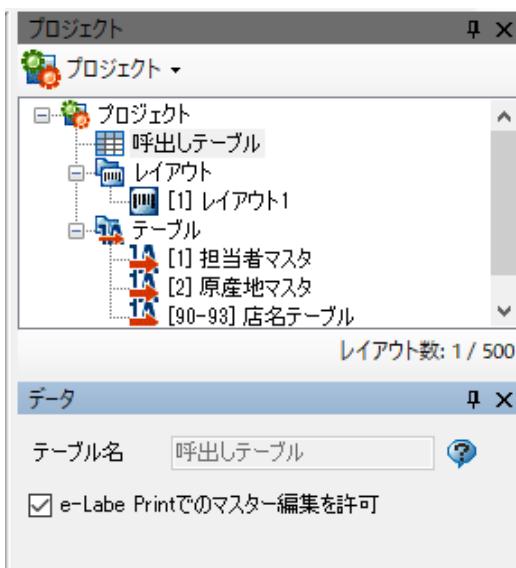
1. PRO 形式のプロジェクトを開きます。

2. プロジェクトツリーの呼出しテーブルをクリックします

3. データウィンドウに表示された「e-Labe Print でのマスター編集を許可」を設定します

初期値はオンです。e-Labe Print でマスター編集をしないテーブルはオフにします。

フォーマット別マスター編集機能



注意

「e-Labe Print でのマスター編集を許可」が表示されない場合は「プロジェクト設定」>「データ出力オプション」タブ>「e-Labe Print バージョン」を Ver.1.11.0 以上に変更してください

4. 漢字テーブル、店名テーブルも同様に設定します

マスター編集するフォーマットファイルを出力する

Designer からフォーマットファイルを出力します。出力したフォーマットは e-Labe Print のデータ更新で FX3-LX の「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダにセットします。

本マニュアルでは USB メモリを使ってフォーマットをセットします。

詳細の手順は本マニュアルの以下の手順を参照してください。

➤ [USB メモリとデータ連携する](#)

フォーマット別マスター編集を利用するための設定をおこなう

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2.  (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

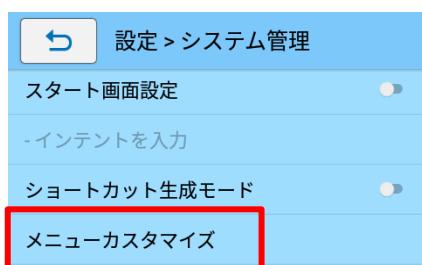
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

4. [システム管理] をタップします。



5. [メニュークスタマイズ] をタップします。



6. [マスター編集] を「オン」にします。



「オン」にするとドロワーメニューに [マスター編集] が表示されます。[マスター編集] をタップすると、設定メニューの [マスター編集] 画面に遷移します。

フォーマット別マスター編集をおこなう

フォーマットファイルを読み込む

1.  (メニュー) をタップします。
2.  [マスター編集] をタップします。
3. マスター編集画面が開きます。

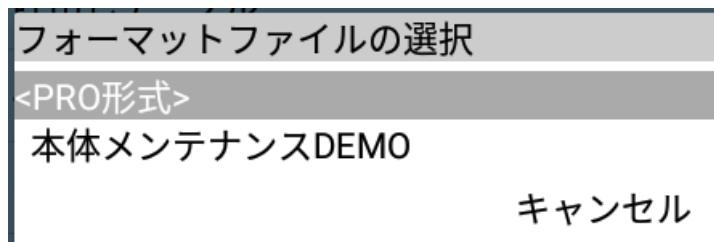


4. フォーマット選択リストボックスをタップします。

注意

- 初期はドロワーメニューで選択しているフォーマットが表示されます。
- 本設定を変更しても、ドロワーメニューのフォーマットは変更されません。

5. マスター編集したいフォーマットを選択します。



呼出しテーブルのマスター編集をおこなう

新規登録をおこなう

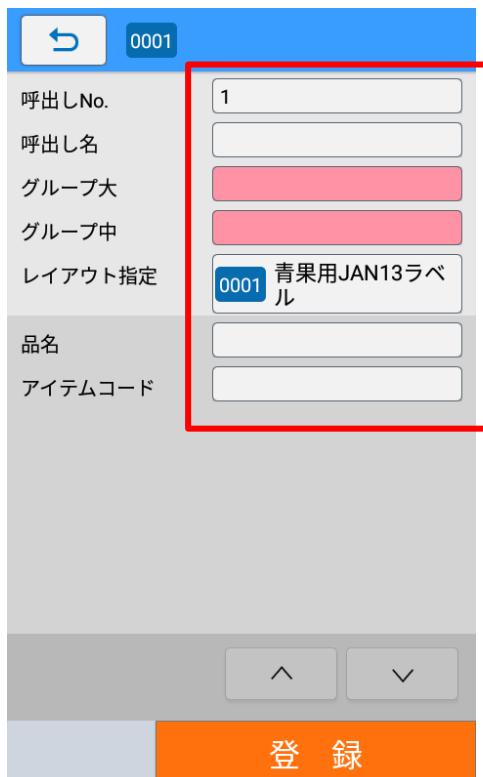
1. [呼出しテーブル] をタップします。

2. [新規登録] をタップします。



呼出しテーブル登録画面に遷移します。

3. 登録したい項目のフィールドをタップします



呼出し No. は空いている番号の最小値が初期表示されています。

エラー項目は背景がピンク、選択したレイアウトで未使用の項目は表示されません。※

※Ver.1.13.1 以下のバージョンでは未使用の項目はグレーで表示されます。

4. マスター情報を入力します。

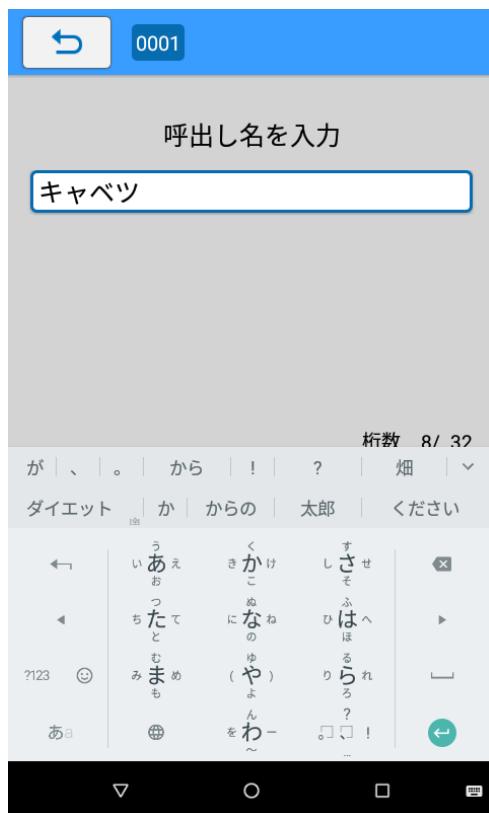
各種画面は【確定】と【次へ】ボタンがあります。【確定】をタップすると入力したデータを確定して項目一覧画面に遷移します。【次へ】をタップすると、確定して次項目へ遷移します。

・ ソフトウェアキーボードを使用した入力

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について、詳しくは FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。

ここでは例として呼出し名を入力します。

ソフトウェアキーボードの【Enterキー】をタップすると、確定して次画面に遷移します。



注意

確定して呼出しテーブル登録画面に遷移したい場合は、画面下部に表示されているナビゲーションバーの【▽】をタップしソフトウェアキーボードを非表示にし【確定】をタップしてください。



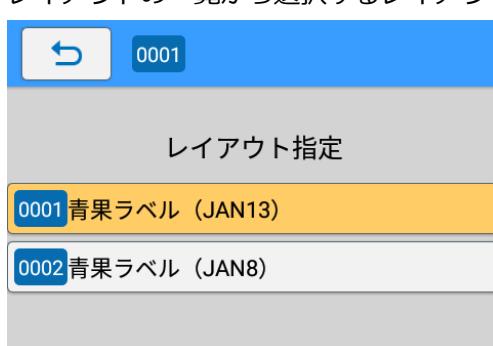
- グループ（分類）の入力

[リストボックス] をタップし既存グループから選択するか、テキストボックスに直接グループ名を入力します。



注意

- 新たなグループ名を指定したい場合はテキストボックスに直接新しいグループ名を入力することで登録が可能です。
- レイアウト指定の入力（Designer の設定で複数レイアウト指定がオフの場合に表示）
レイアウトの一覧から選択するレイアウト名をタップします。



- 複数レイアウト指定の入力 (Designer の設定で複数レイアウト指定がオンの場合に表示)

発行時に切り替えるレイアウトを設定します。初期値は [全レイアウトを選択] になっています。選択可能なレイアウトを個別に選択する場合 [個別に選択] を選択し、一覧からリストをタップして選択します。

[デフォルトレイアウト] で、発行時に初期選択するレイアウトを指定可能です。



5. [登録] ボタンをタップします。

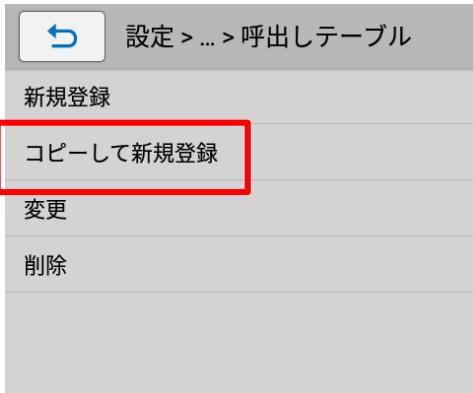


「データを登録しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

コピーして新規登録をおこなう

1. [呼出しテーブル] をタップします。
2. [コピーして新規登録] をタップします。



アイテム絞り込み方法選択画面に遷移します。

3. 検索方法をタップして選択します。



・ ナンバー検索

呼出し No.を入力して、アイテムを呼び出します。

- ① ソフトウェアキーボードを使って、呼出し No.を入力します。



入力した呼出し No.のアイテムが表示されます。

[<] [>] をタップして、アイテムを番号順に表示することもできます。

- ② コピー元とするアイテムが表示されたら [確定] をタップします。



選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ グループ検索

グループ単位でアイテムを絞り込み、呼び出します。グループは3階層まで設定できます。

あらかじめマスターデータにグループ設定をおこなう必要があります。

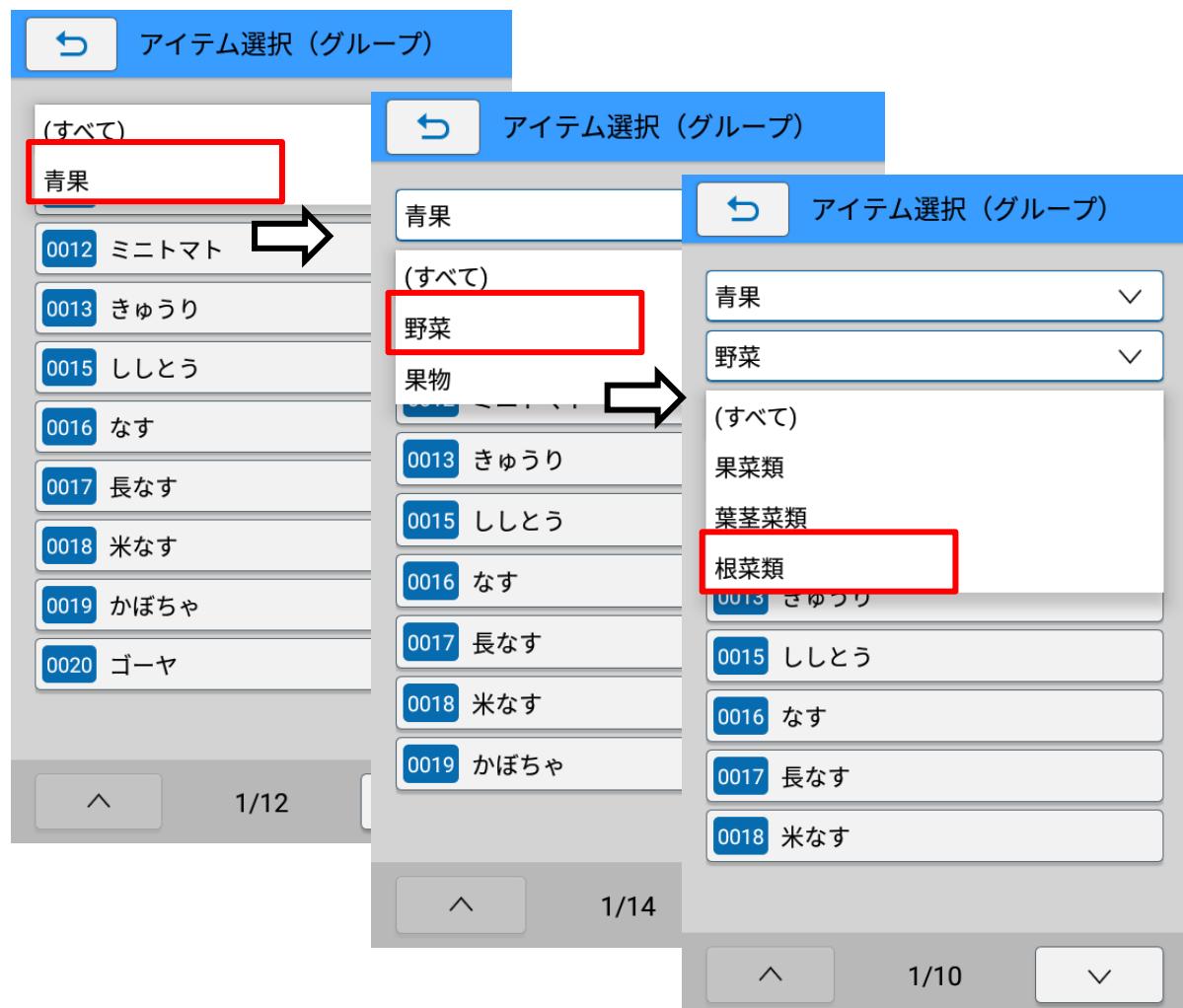
設定メニューの【グループの絞り込み方法】の設定によって、表示される画面が異なります。

① グループからアイテムを絞り込みます。

ドロップダウン選択の場合

ドロップダウンリストからグループを選びます。グループに含まれるアイテムが表示されます。

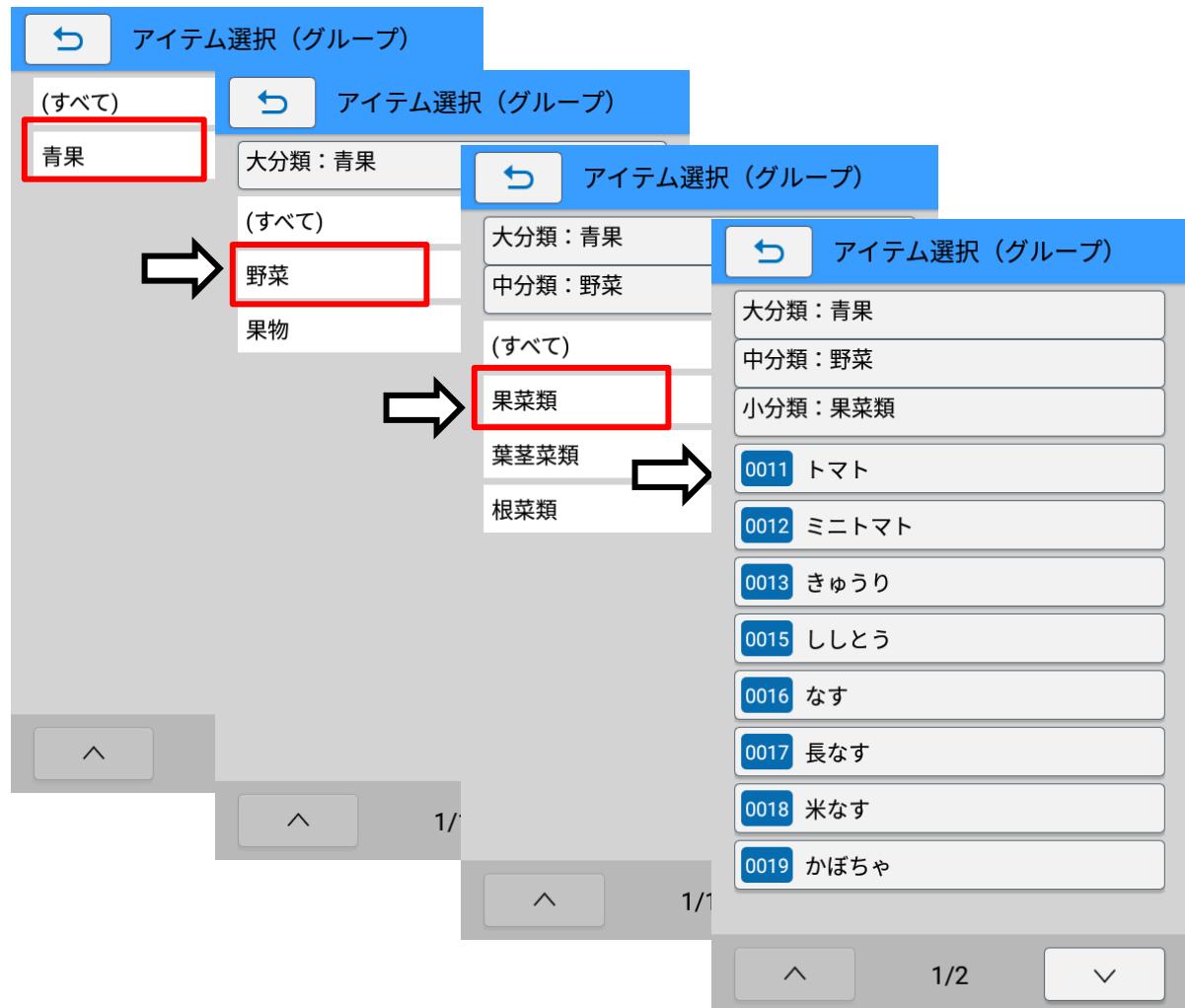
【(すべて)】をタップすると、下の階層のグループのドロップダウンリストが表示されます。この操作を繰り返してアイテムを絞り込みます。



ここでは例として【青果】を選択します。さらに【(すべて)】>【野菜】をタップすると、【野菜】グループに含まれるアイテムが表示されます。

順次選択の場合

大分類>中分類>小分類の順にグループ名をタップして絞り込みます。



ここでは例として大分類【青果】を選びます。さらに中分類【野菜】>小分類【果菜類】をタップすると、【果菜類】グループに含まれるアイテムが表示されます。

大分類、中分類の画面で【(すべて)】をタップすると、大分類または中分類に含まれるアイテムすべてが表示されます。

② アイテムをタップします。

選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ キーワード検索

商品名などのキーワードで検索して、アイテムを呼び出します。

部分一致で検索するため、入力した文字が呼出しデータ名のどこかに含まれていれば検索対象となります。複数のアイテムがヒットした場合は、候補が一覧表示されます。

- ① ソフトウェアキーボードを使って、キーワードを入力します。



- ② アイテムをタップします。

選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ バーコード検索

呼出し No.に対応したバーコードをバーコードスキャナで読み取って呼び出します。

現在対応しているバーコードスキャナは、DENSO 「SH1」です。

あらかじめ e-Labe Designer で呼出し No. とバーコードの紐づけをおこなっておく必要があります。

① バーコードを読み取ります。

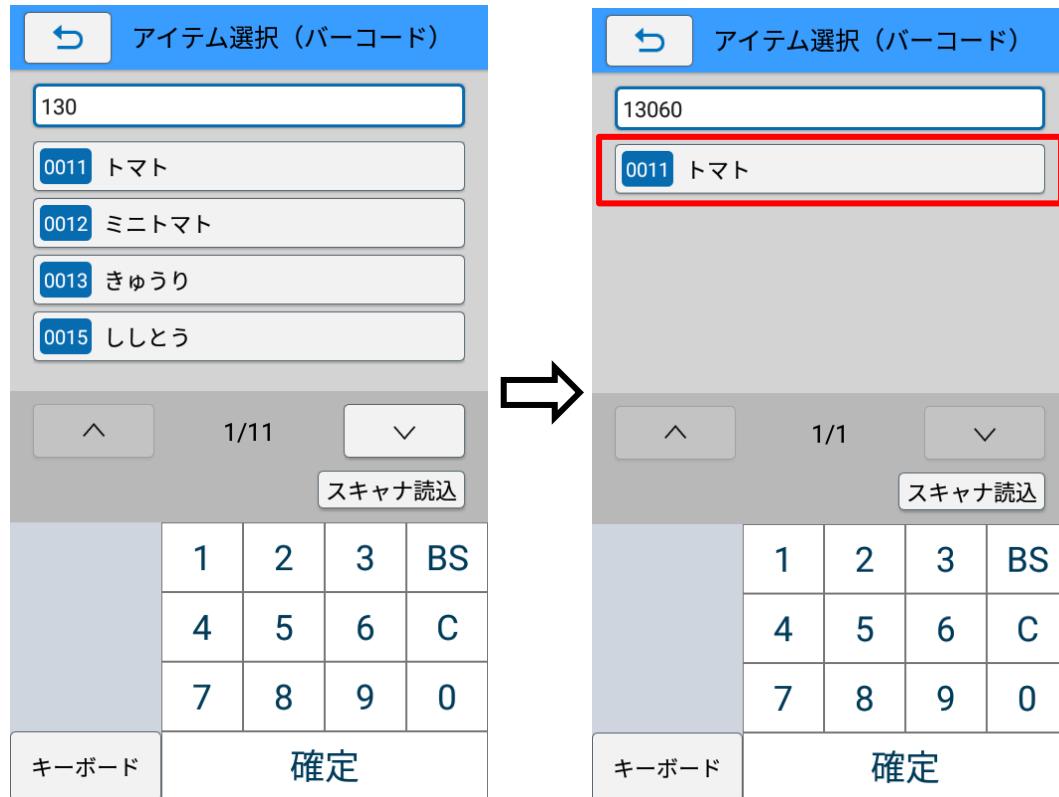


読み取ったアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

フォーマット別マスター編集機能

- バーコードスキャナが使用できない場合
- 手順①で【テンキーで入力】をタップして、入力画面を表示させます。
- バーコードの番号を入力します。

検索結果は入力内容に応じて絞り込まれます。



- アイテムをタップします。

選択したアイテム情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

4. 編集したい項目のフィールドをタップし値を変更します。

各項目の入力方法の詳細は本マニュアルの以下を参照してください。

- [呼出しテーブルのマスター編集をおこなう>新規登録をおこなう>4.マスター情報を入力します。](#)

フォーマット別マスター編集機能

0001 トマト

呼出しNo. 1

呼出し名 トマト

グループ大 青果

グループ中 野菜

グループ小 果菜類

レイアウト指定 0001 青果ラベル (JAN13)

品名 トマト

アイテムコード 13060

部門コード 100

登録

5. [登録] ボタンをタップします。

0001 ミディトマト

呼出しNo. 1

呼出し名 ミディトマト

グループ大 青果

グループ中 野菜

グループ小 果菜類

レイアウト指定 0001 青果ラベル (JAN13)

品名 ミディトマト

アイテムコード 13032

部門コード 100

登録

0001 ミディトマト

呼出しNo. 1

呼出し名 ミディトマト

グループ大 青果

グループ中 野菜

グループ小 果菜類

レイアウト指定 0001 青果ラベル (JAN13)

品名 データを登録しますか?

アイテムコード キャンセル OK

部門コード 100

登録

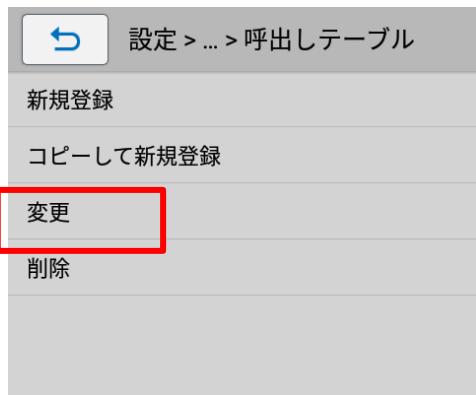
「データを登録しますか?」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

変更をおこなう

1. [呼出しテーブル] をタップします。

2. [変更] をタップします。



呼出しテーブル変更画面に遷移します。

3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- [ナンバー検索](#)
- [グループ検索](#)
- [キーワード検索](#)
- [バーコード検索](#)



各検索方法で選択したアイテムの変更画面が表示されます。

フォーマット別マスター編集機能

4. 変更したい項目のフィールドをタップし値を変更します。

呼出し No. は変更できません。

呼出しNo.	1
呼出し名	ミディトマト
グループ大	青果
グループ中	野菜
グループ小	果菜類
レイアウト指定	0001 青果ラベル (JAN13)
品名	ミディトマト
アイテムコード	13032
部門コード	100

変更

5. [変更] ボタンをタップします。

呼出しNo.	1
呼出し名	ミディトマト
グループ大	青果
グループ中	野菜
グループ小	果菜類
レイアウト指定	0001 青果ラベル (JAN13)
品名	ミディトマト
アイテムコード	13032
部門コード	203

変更

データを変更しますか?
この操作を元に戻すことはできません。
よろしいですか?

キャンセル OK

変更

「データを変更しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると変更が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの変更を実行すると元に戻すことはできません。

削除をおこなう

1. [呼出しテーブル] をタップします。

2. [削除] をタップします。



呼出しテーブル削除画面に遷移します。

3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- [ナンバー検索](#)
- [グループ検索](#)
- [キーワード検索](#)
- [バーコード検索](#)



各検索方法で選択したアイテムの削除画面が表示されます。

4. [削除] ボタンをタップします。

フォーマット別マスター編集機能



「データを削除しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると削除が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの削除を実行すると元に戻すことはできません。

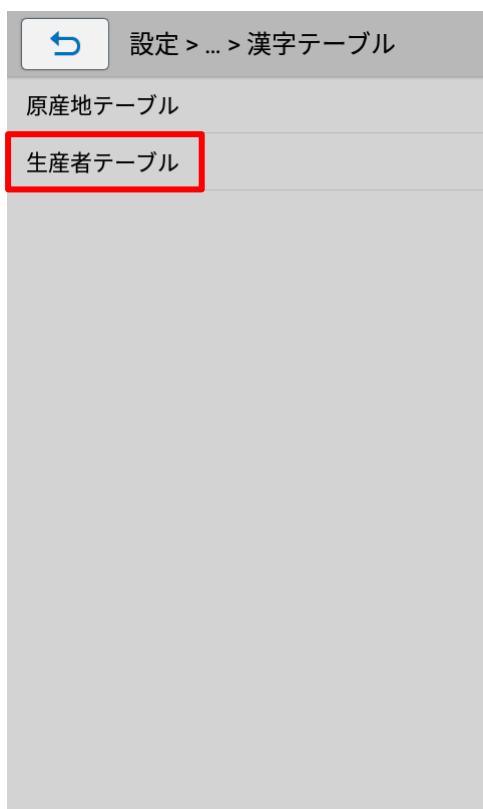
漢字テーブルのマスター編集をおこなう

新規登録をおこなう

1. [漢字テーブル] をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。



注意

e-Label Designer でテーブル一覧に表示される漢字テーブルの編集が可能です。新たに漢字テーブルを追加したい場合は、Designer で追加する必要があります。

3. [新規登録] をタップします。

フォーマット別マスター編集機能



漢字テーブル登録画面に遷移します。

4. 登録したい項目のフィールドをタップします



登録番号は空いている番号の最小値が初期表示されています。

5. マスター情報を入力します。

各種画面は【確定】と【次へ】ボタンがあります。【確定】をタップすると入力したデータを確定して漢字テーブル登録画面に遷移します。【次へ】をタップすると、確定して登録データへ遷移します。

・ 登録番号を入力

ソフトウェアキーボードで登録番号を入力します。

【<】【>】をタップして、空き番号を番号順に表示することもできます。

フォーマット別マスター編集機能



・ 登録データを入力

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアキーボードの【➡ Enter キー】をタップすると、確定して登録画面に遷移します。



6. [登録] ボタンをタップします。



「データを登録しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

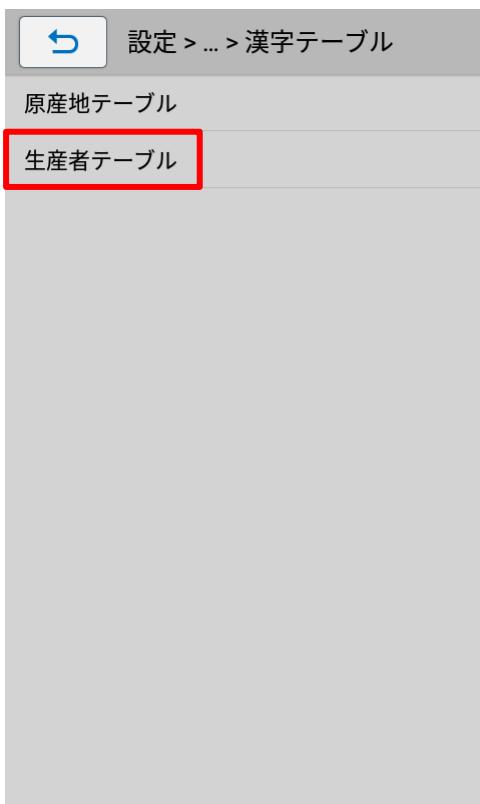
「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

コピーして新規登録をおこなう

1. [漢字テーブル] をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

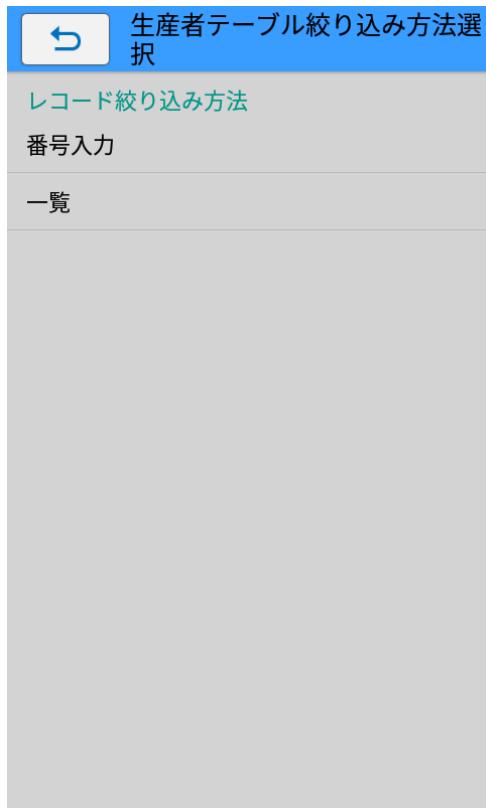
ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。



3. [コピーして新規登録] をタップします。



4. 検索方法をタップして選択します。



・ 番号入力検索

登録番号を入力して、テーブルを呼び出します。

① ソフトウェアキーボードを使って、登録番号を入力します。



入力した登録番号のテーブル情報が表示されます。

[<] [>] をタップして、テーブルを番号順に表示することもできます。

② コピー元とするテーブルが表示されたら [確定] をタップします。

フォーマット別マスター編集機能



選択したテーブル情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ 一覧検索

一覧からテーブルを選択します。

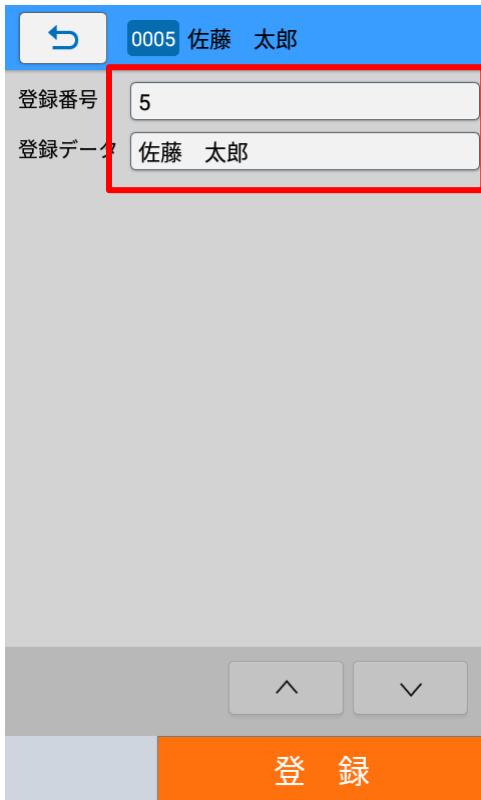
- ① コピー元とするテーブルをタップします。



5. 編集したい項目のフィールドをタップします。

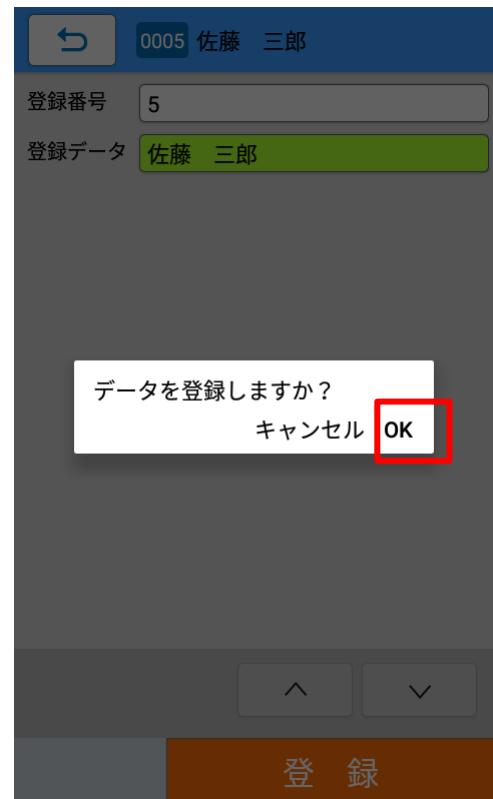
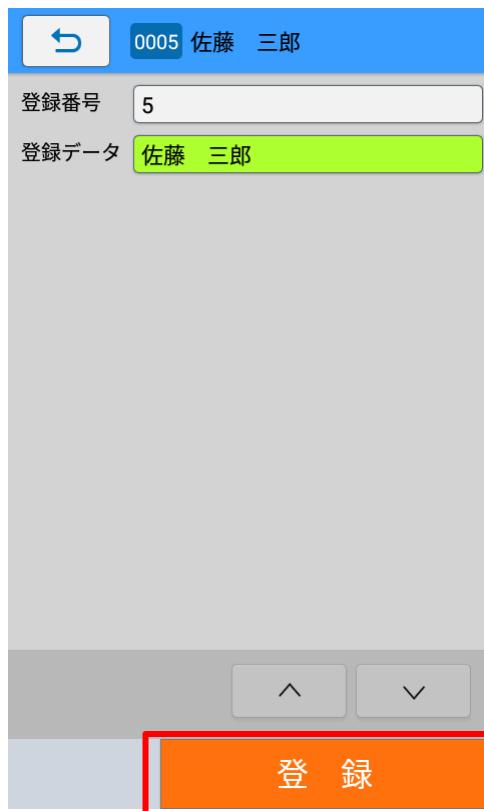
各項目の入力方法の詳細は本マニュアルの以下を参照してください。

- 漢字テーブルのマスター編集をおこなう>新規登録をおこなう>4.マスター情報を入力します。



登録番号は空いている最小値が初期表示されています。

6. [登録] ボタンをタップします。



「データを登録しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

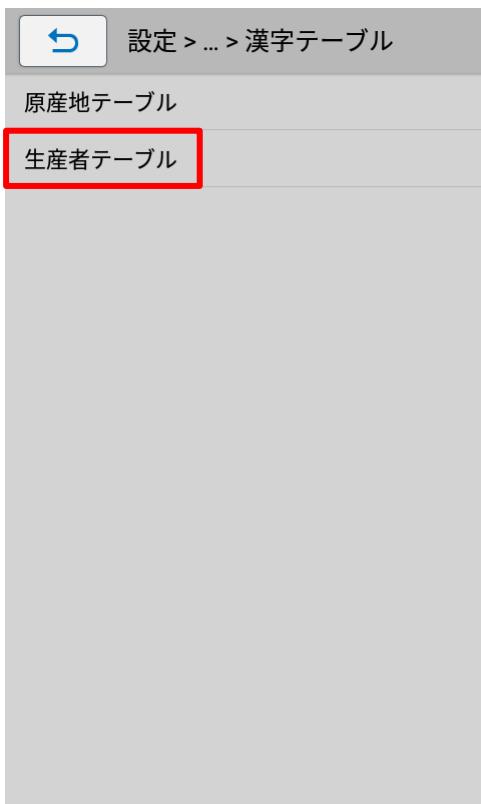
「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

変更をおこなう

1. 【漢字テーブル】をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。



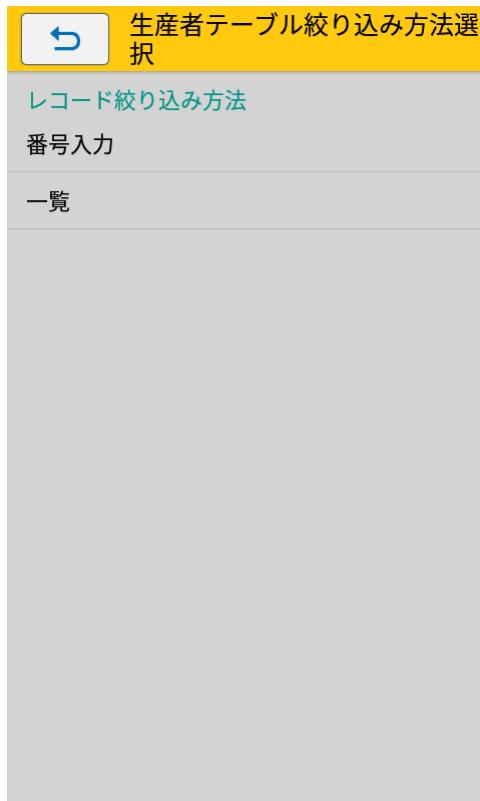
3. 【変更】をタップします。



4. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- [番号入力検索](#)
- [一覧検索](#)



各検索方法で選択したテーブルの変更画面が表示されます。

5. [登録データ] をタップし値を編集します。



6. [変更] ボタンをタップします。



「データを変更しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると変更が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

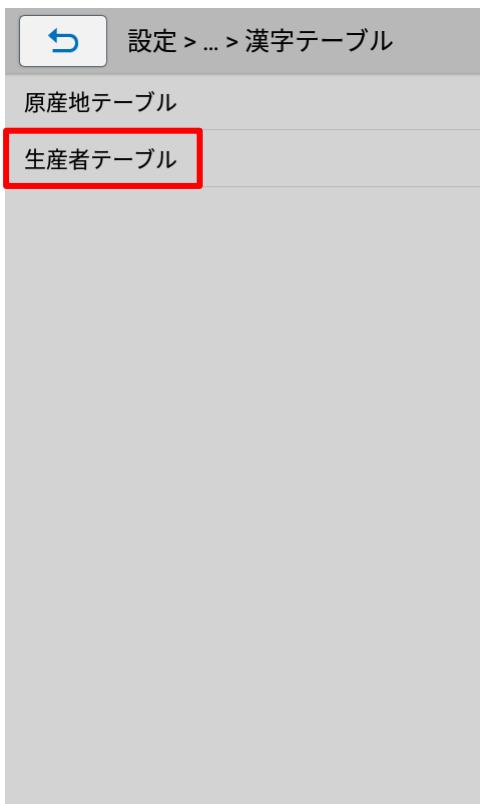
データの変更を実行すると元に戻すことはできません。

削除をおこなう

1. 【漢字テーブル】をタップします。

2. 編集する漢字テーブルをタップします。

ここでは例として「生産者テーブル」を選択します。



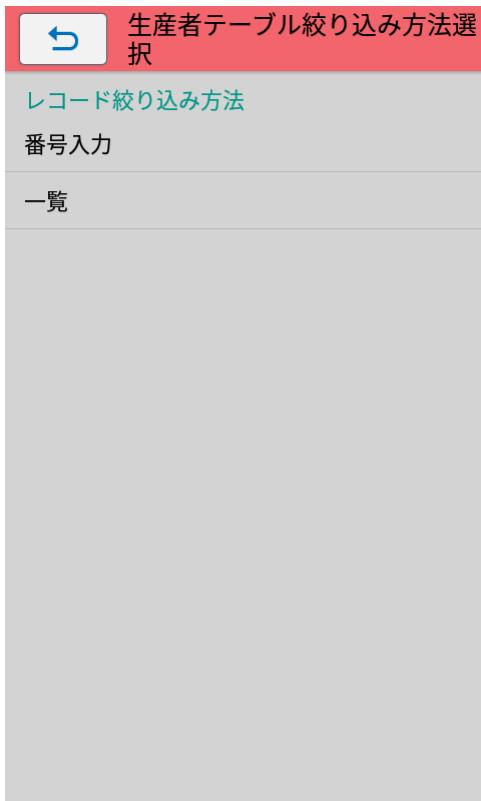
3. 【削除】をタップします。



4. 検索方法をタップして選択します。

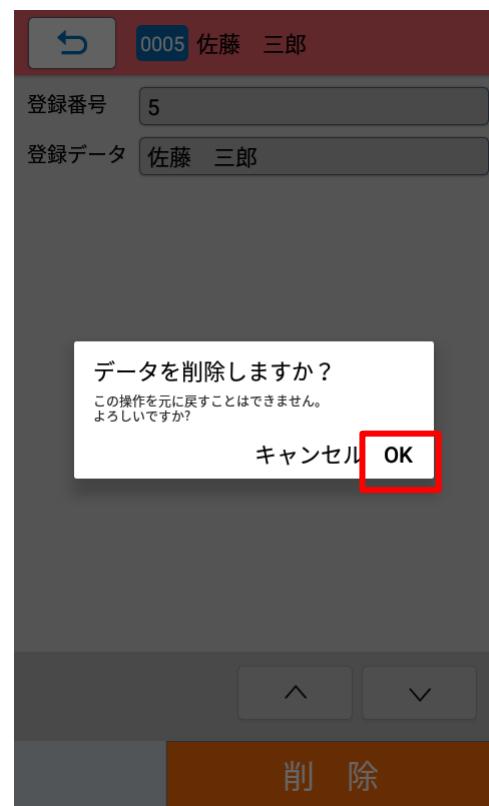
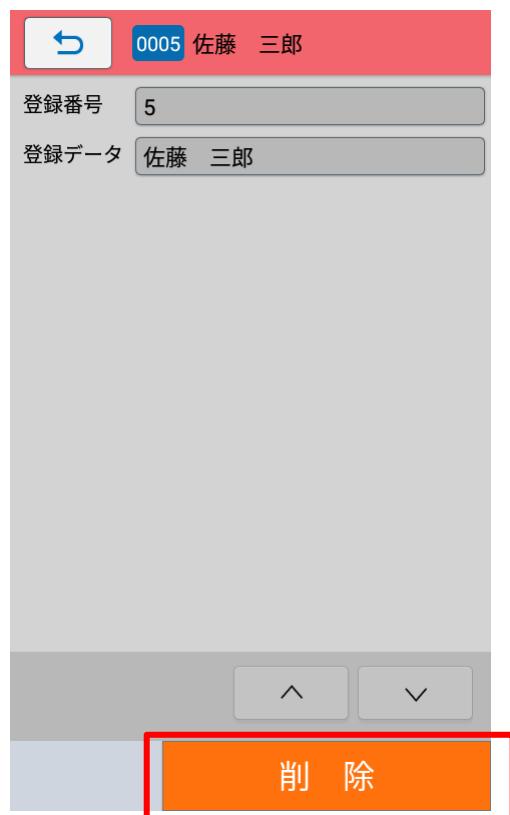
各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- [番号入力検索](#)
- [一覧検索](#)



各検索方法で選択したテーブルの削除画面が表示されます。

5. [削除] ボタンをタップします。



「データを削除しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると削除が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの削除を実行すると元に戻すことはできません。

店名テーブルのマスター編集をおこなう

新規登録をおこなう

1. [店名テーブル] をタップします。

注意

e-Labe Designer のテーブル一覧に店名テーブルが表示されていない場合、e-Labe Print で店名テーブルのマスター編集ができません。Designer で追加する必要があります。

2. [新規登録] をタップします。



店名テーブル登録画面に遷移します。

3. 登録したい項目のフィールドをタップします



登録番号は空いている番号の最小値が初期表示されています。

4. マスター情報を入力します。

各種画面は【確定】と【次へ】ボタンがあります。【確定】をタップすると入力したデータを確定して漢字テープル登録画面に遷移します。【次へ】をタップすると、確定して登録データへ遷移します。

- 登録番号を入力

ソフトウェアキーボードで登録番号を入力します。

【<】【>】をタップして、空き番号を番号順に表示することもできます。



- 店名、住所、電話番号、メモを入力

ソフトウェアキーボードを使用した入力方法について詳しくは、FX3-LX 取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアキーボードの【 Enter キー】をタップすると、確定して登録画面に遷移します。

フォーマット別マスター編集機能



注意

- 確定して呼出しテーブル登録画面に遷移したい場合は、画面下部に表示されているナビゲーションバーの [▽] をタップしソフトウェアキーボードを非表示にし [確定] をタップしてください。



フォーマット別マスター編集機能

5. [登録] ボタンをタップします。



「データを登録しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

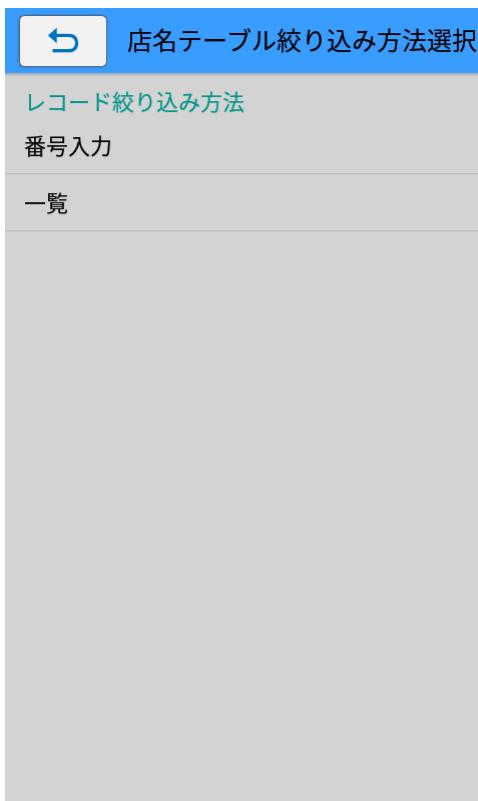
「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

コピーして新規登録をおこなう

1. [店名テーブル] をタップします。
2. [コピーして新規登録] をタップします。



3. 検索方法をタップして選択します。



・ 番号入力検索

登録番号を入力して、テーブルを呼び出します。

フォーマット別マスター編集機能

- ① ソフトウェアキーボードを使って、登録番号を入力します。



入力した登録番号のテーブル情報が表示されます。

[<] [>] をタップして、テーブルを番号順に表示することもできます。

- ② コピー元とするテーブルが表示されたら [確定] をタップします。



選択したテーブル情報をコピーして新規登録画面が表示されます。

・ 一覧検索

一覧からテーブルを選択します。

フォーマット別マスター編集機能

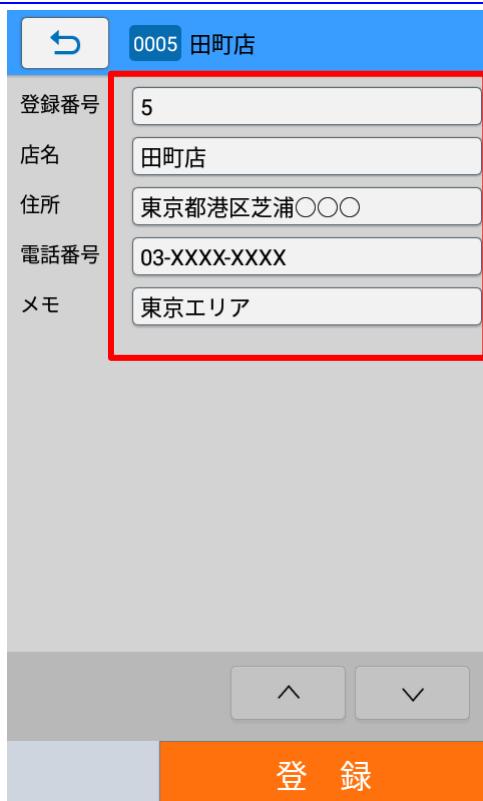
- ① コピー元とするテーブルをタップします。



4. 編集したい項目のフィールドをタップします。

各項目の入力方法の詳細は本マニュアルの以下を参照してください。

- [店名テーブルのマスター編集をおこなう](#) > [新規登録をおこなう](#) > [4.マスター情報を入力します。](#)



フォーマット別マスター編集機能

登録番号は空いている番号の最小値が初期表示されています。

5. [登録] ボタンをタップします。



登録番号	5
店名	目黒店
住所	東京都目黒区下目黒○○○
電話番号	03-XXXX-XXXX
メモ	東京エリア

データを登録しますか？

キャンセル OK

「データを登録しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると登録が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

変更をおこなう

1. [店名テーブル] をタップします。

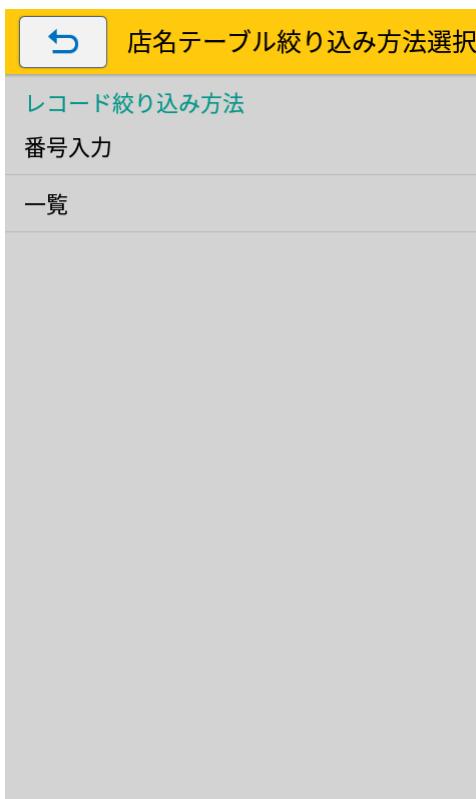
2. [変更] をタップします。



3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- [番号入力検索](#)
- [一覧検索](#)



各検索方法で選択したテーブルの変更画面が表示されます。

フォーマット別マスター編集機能

4. 変更したい項目のフィールドをタップし値を変更します。

登録番号は変更できません。



5. [変更] ボタンをタップします。



「データを変更しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると変更が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの変更を実行すると元に戻すことはできません。

削除をおこなう

1. [店名テーブル] をタップします。

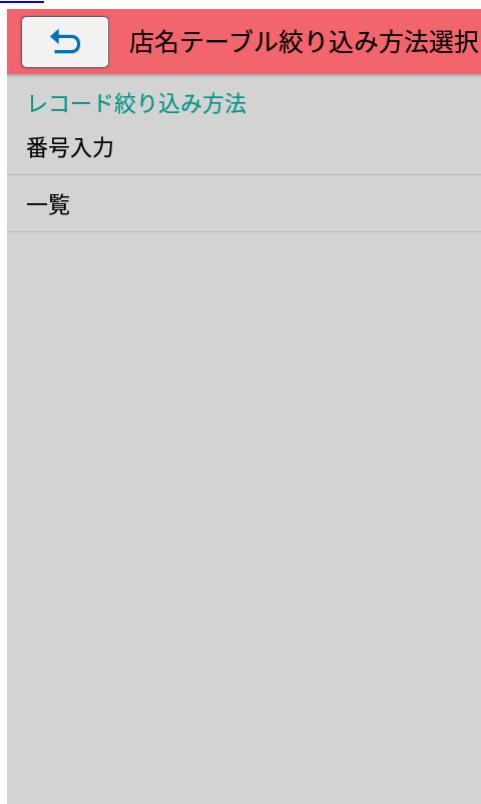
2. [削除] をタップします。



3. 検索方法をタップして選択します。

各検索方法は本マニュアルの以下を参照してください。

- [番号入力検索](#)
- [一覧検索](#)



各検索方法で選択したテーブルの削除画面が表示されます。

フォーマット別マスター編集機能

4. [削除] ボタンをタップします。



「データを削除しますか？」と確認ダイアログが表示されます。

「OK」を選択すると削除が実行され、マスター編集画面に画面が遷移します。

注意

データの削除を実行すると元に戻すことはできません。

データ更新時フォーマット別マスター編集ファイルをクリアする

データ更新時にフォーマット別マスター編集ファイルを自動的に削除します。初期設定では、データ更新時にフォーマット別マスター編集ファイルは削除せず、別途マスター編集メニューから削除します。

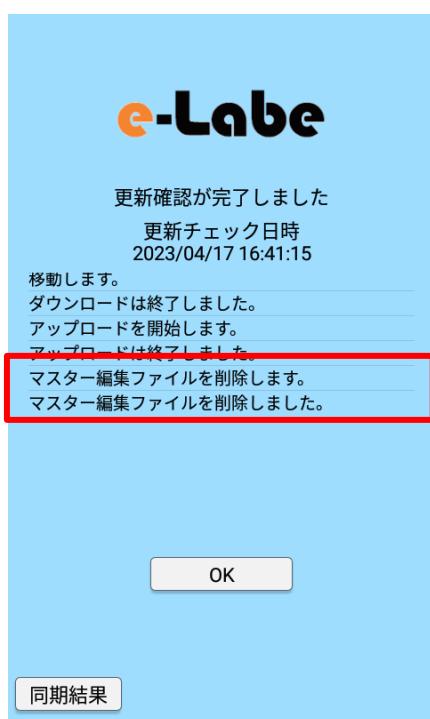
例えば、サーバで一元管理されたマスター配信が基本運用ですが、マスター配信が間に合わない場合など暫定的に店舗にてマスター登録を利用したい場合などにご利用いただけます。

データ連携方法の詳細は以下をご参考ください。

➤ [データ連携処理](#)

注意

- ・クリアされたマスター編集ファイルは復元できません
- ・データ更新時フォーマットに関する更新が無い（ダウンロードをスキップした）場合はマスター編集ファイルはクリアされません
- ・フォーマットが複数ある場合、いずれかのフォーマットに更新があった場合にすべてのマスター編集ファイルをクリアします（更新があったフォーマットのみクリアすることはできません）
- ・マスター編集ファイルのクリアはデータ更新画面のログで確認してください



データ更新時フォーマット別マスター編集ファイルをクリアする設定をおこなう

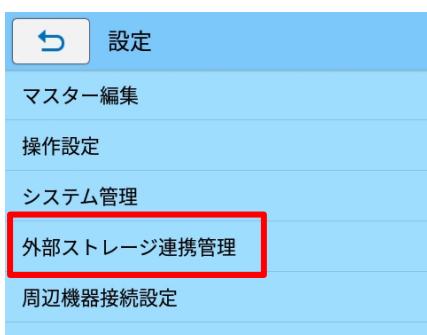
1.  (メニュー) をタップします。

2.  [設定] をタップします。

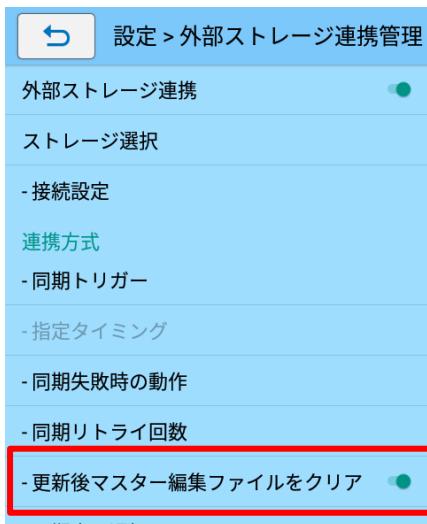
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

3. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



4. [更新後マスター編集ファイルをクリア]を「オン」にします



Print で編集したマスターデータを自動バックアップする

e-Lab Print でマスター編集したデータは FX3-LX の内部ストレージに保存されます。FX3-LX 本体の故障などにより編集データが失われることを避けるため、データ更新機能を使った自動バックアップの設定をお勧めします。

1.  (メニュー) をタップします。

2.  [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

3. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



4. [外部ストレージ連携] 設定が「オン」になっていることを確認します。

「オフ」の場合は「オン」にします。

注意

外部ストレージ連携設定がされていない場合は、バックアップをアップロードする先の接続設定や同期トリガーの設定をおこなってください。詳細は以下をご参照ください。

➤ [データ連携処理](#)

5. [連携対象データ] をタップします。



6. [バックアップデータアップロード] の [マスター編集ファイル] を「オン」にします。



データ更新が実行されると、マスター編集ファイルがデータ連携先にアップロードされます。

連携先のバックアップフォルダは「[バックアップ世代数の設定](#)」に基づいた世代分保管されます。

注意

データ更新によるバックアップ時、データ連携先の最新バックアップ情報と現在のファイルや設定を比較し、更新がない場合はバックアップをスキップします。

・**バックアップ先のフォルダ構成について**

バックアップデータはデータ連携先の BackupFiles フォルダ内に端末単位に保存されます。

詳細は以下の通りです。

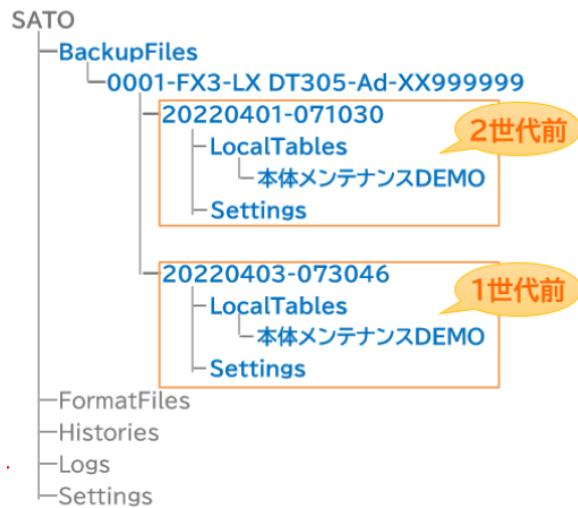
例) 【機種名】FX3-LX DT305-Ad

【シリアル No.】XX999999

【端末 No.】0001

[2022/4/1 7:10:30]と[2022/4/3 7:30:46]にバックアップをした場合

フォーマット別マスター編集機能



Designer 編集前に Print のマスターデータを取り込んで同期をとる

e-Labe Print でマスター編集したデータを Designer で取り込むことで同期を取ります。

Designer で呼出しテーブルの項目を追加／削除したり、データセット項目の並びを変更すると、Print に保存されているマスターデータと不整合が起きるため、マスターデータが読み込めなくなります。上記の変更時は Designer でマスターデータのバックアップをインポートして同期を取つてから操作してください。

マスターデータを取り込む準備をする

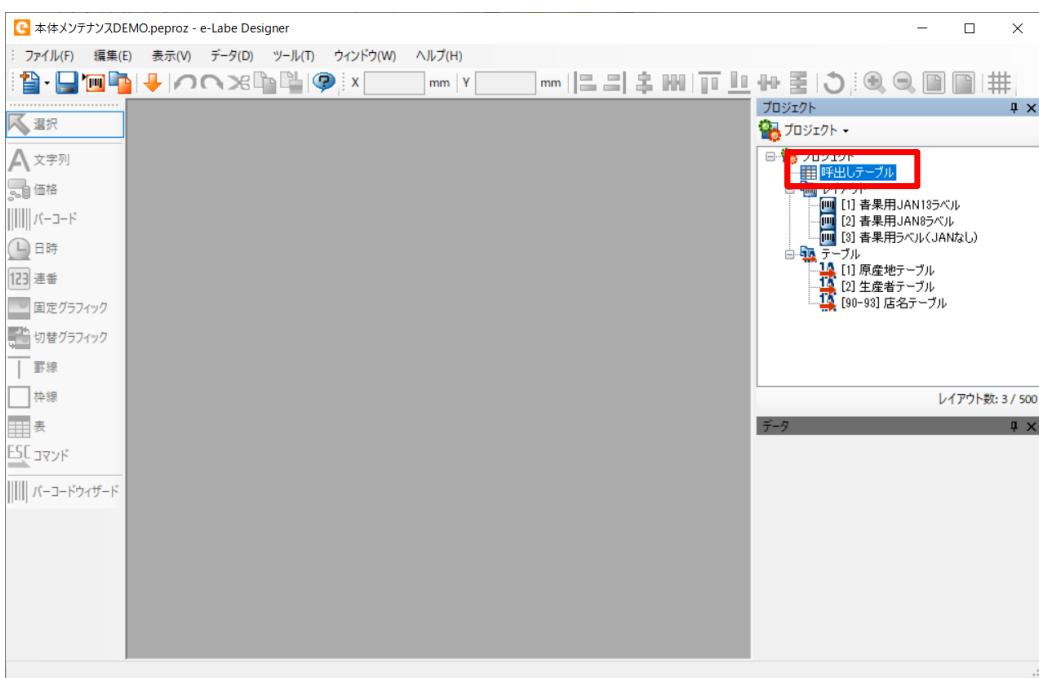
バックアップデータが USB メモリ以外のサーバにアップロードされている場合は、サーバからバックアップ フォルダをローカル PC 等にダウンロードします。
本マニュアルでは USB メモリを例に説明します。

1. コンピュータにバックアップデータが保存されている USB メモリを挿します。

2. 編集したデータを取り込むプロジェクトファイルを起動します。

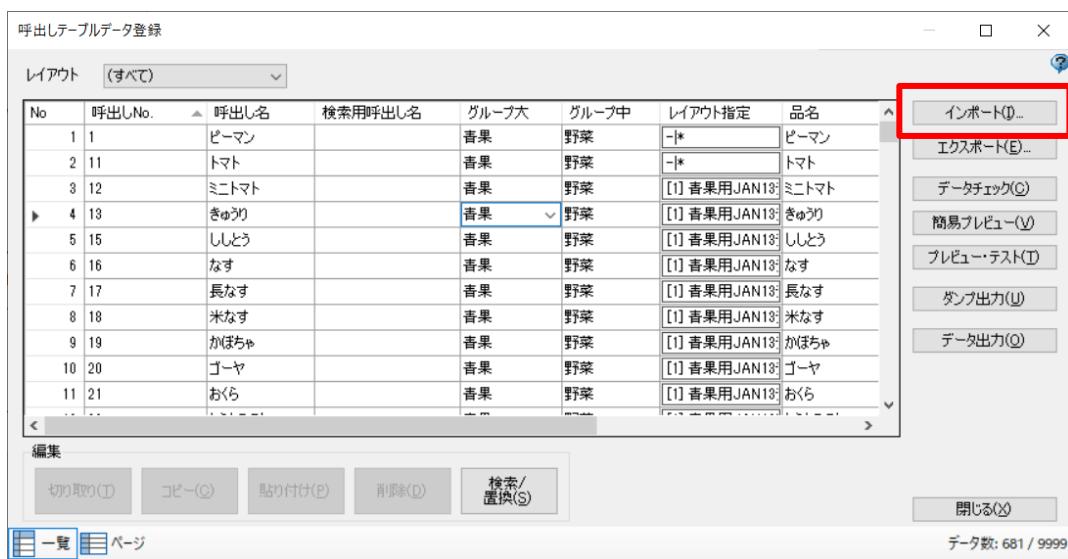


3. 呼出しテーブルをダブルクリックします。



フォーマット別マスター編集機能

4. [インポート]ボタンをクリックします。



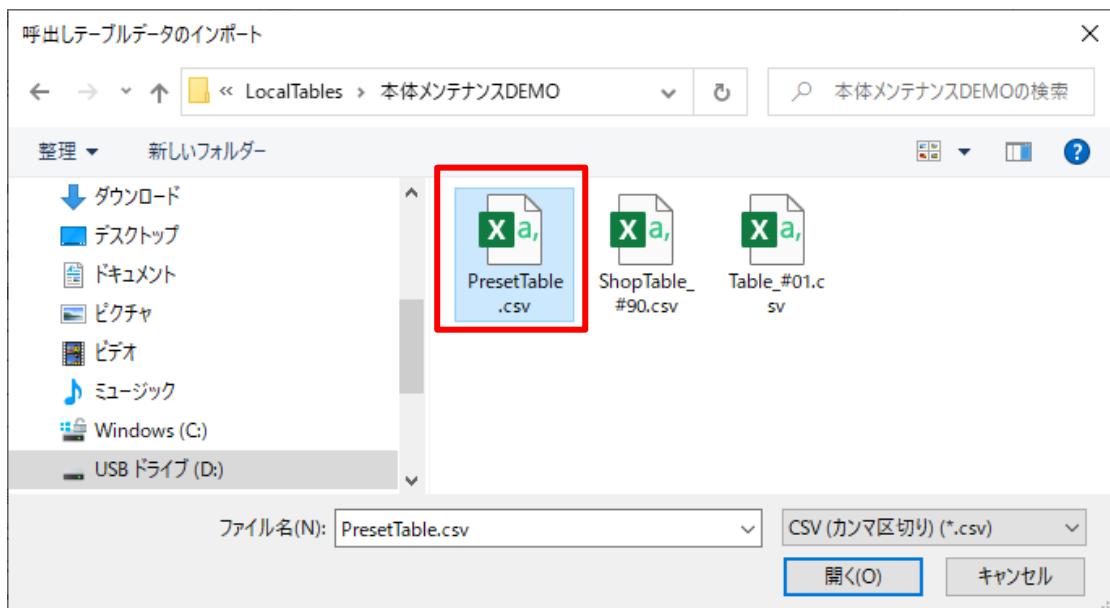
5. インポートするファイルを選択します。

USB メモリのドライブ> SATO> BackupFiles> (復元する端末名フォルダ) > (バックアップ日時 フォルダ) > LocalTables> 本体メンテナンス DEMO フォルダを選択し、「PresetTable.csv」を選択し[開く]をクリックします。

注意

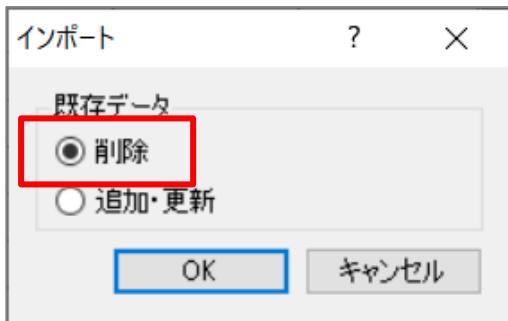
バックアップデータのフォルダ構成の詳細は以下をご参照ください。

➤ [バックアップ先のフォルダ構成について](#)



6. インポート方法の確認ダイアログが表示されます。[削除]を選択し、[OK]をクリックします。

フォーマット別マスター編集機能



- データ削除の確認ダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。



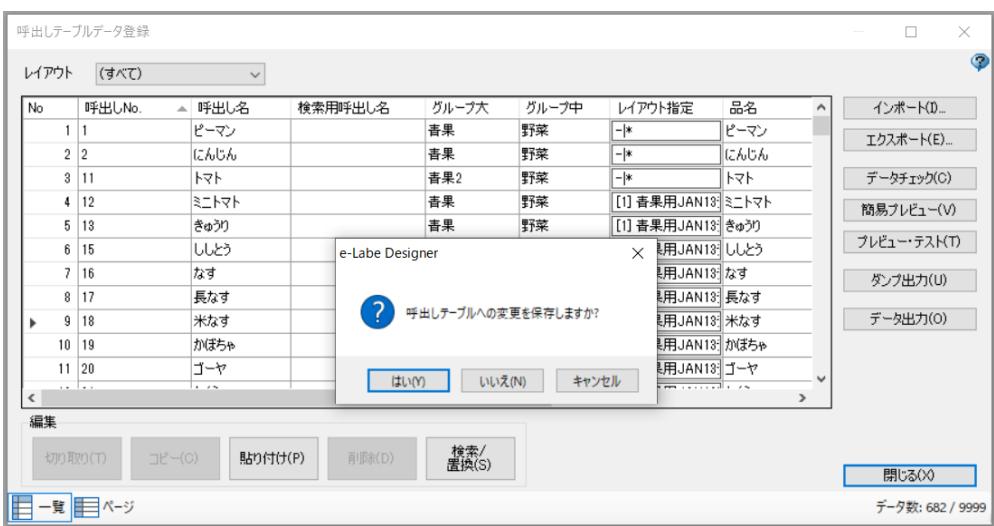
編集したマスターデータが Designer の呼出しテーブルにインポートされます。

注意

e-Labe Print で新規登録したデータは呼出しテーブルの末尾に追加されます。

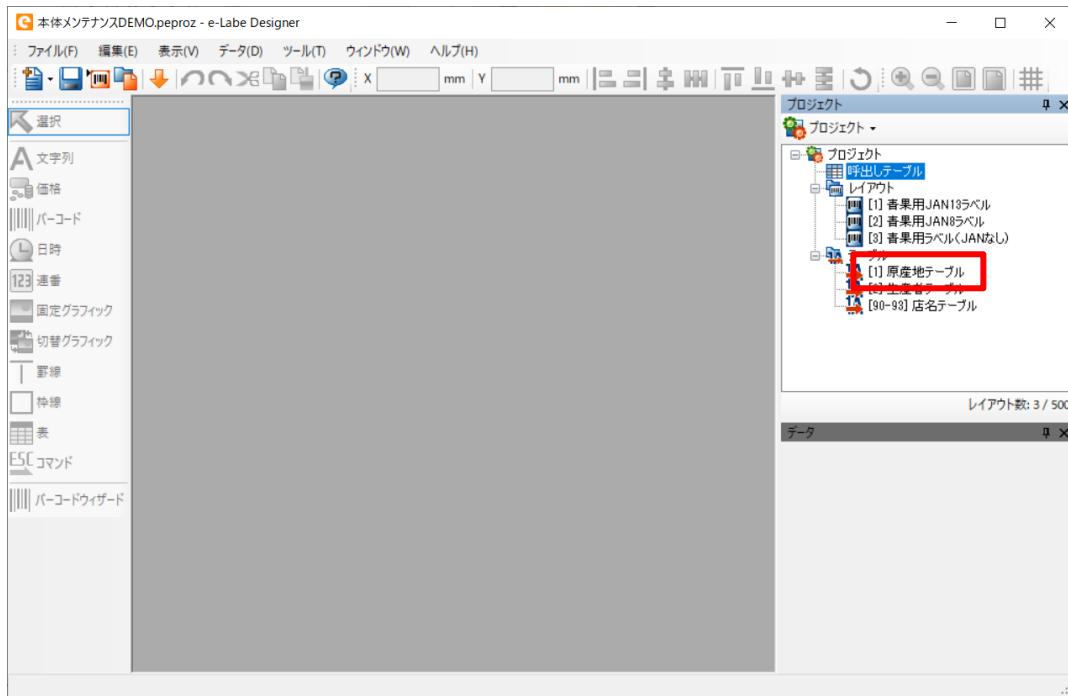
呼出し No.順にソートするには「呼出し No.」の列をクリックして並び替えを行ってください。

- 【閉じる】をクリックし、保存の確認ダイアログで[はい]を選択します。

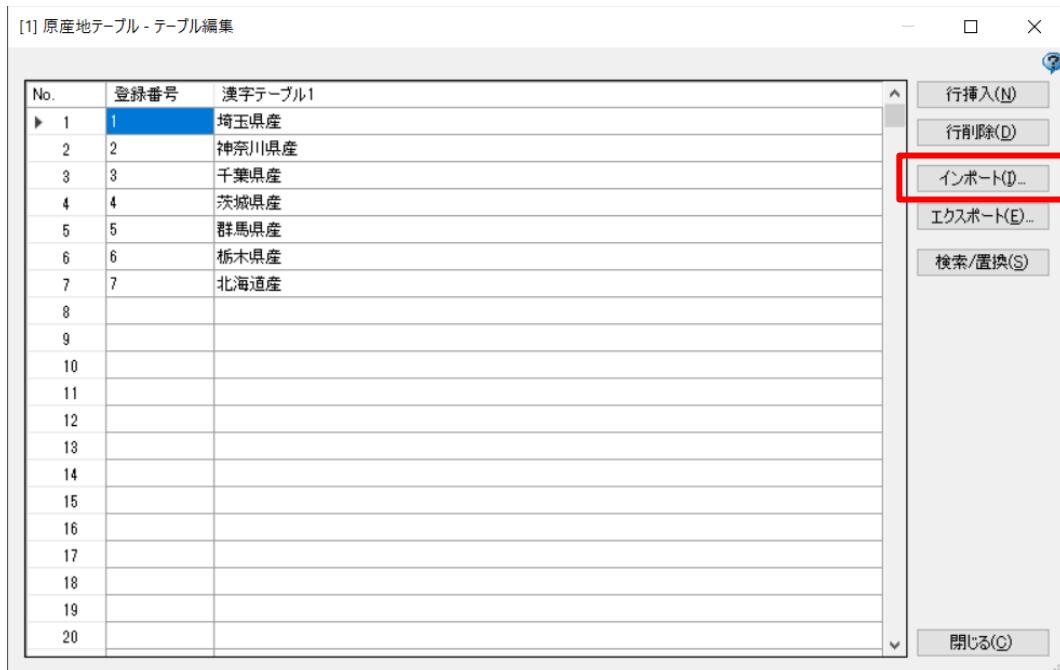


漢字テーブルデータを取り込む

1. マスター編集した漢字テーブルをダブルクリックします。



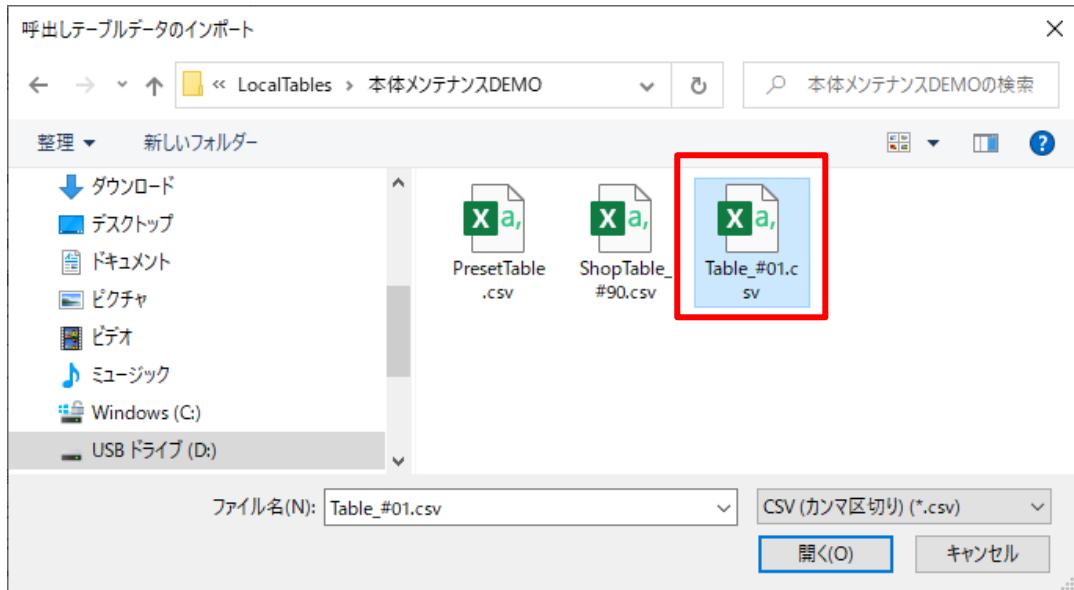
2. [インポート]ボタンをクリックします。



3. インポートするファイルを選択します。

フォーマット別マスター編集機能

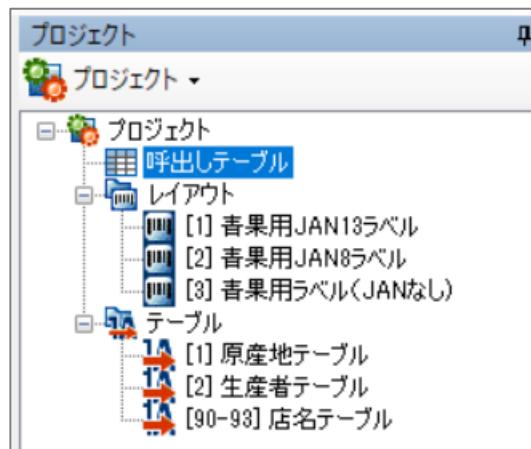
USB メモリのドライブ> SATO> BackupFiles> (復元する端末名フォルダ) > (バックアップ日時フォルダ) > LocalTables> 本体メンテナンス DEMO フォルダを選択し、「Table_#01.csv」を選択し[開く]をクリックします。



注意

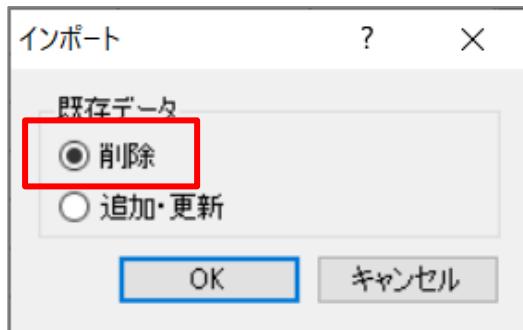
漢字テーブルデータが複数ある場合は、漢字テーブルのテーブル番号と同じ番号の CSV データをインポートしてください。

以下の例では「原産地テーブル」のテーブル番号は【1】となるため、「Table_#01.csv」を選択します。



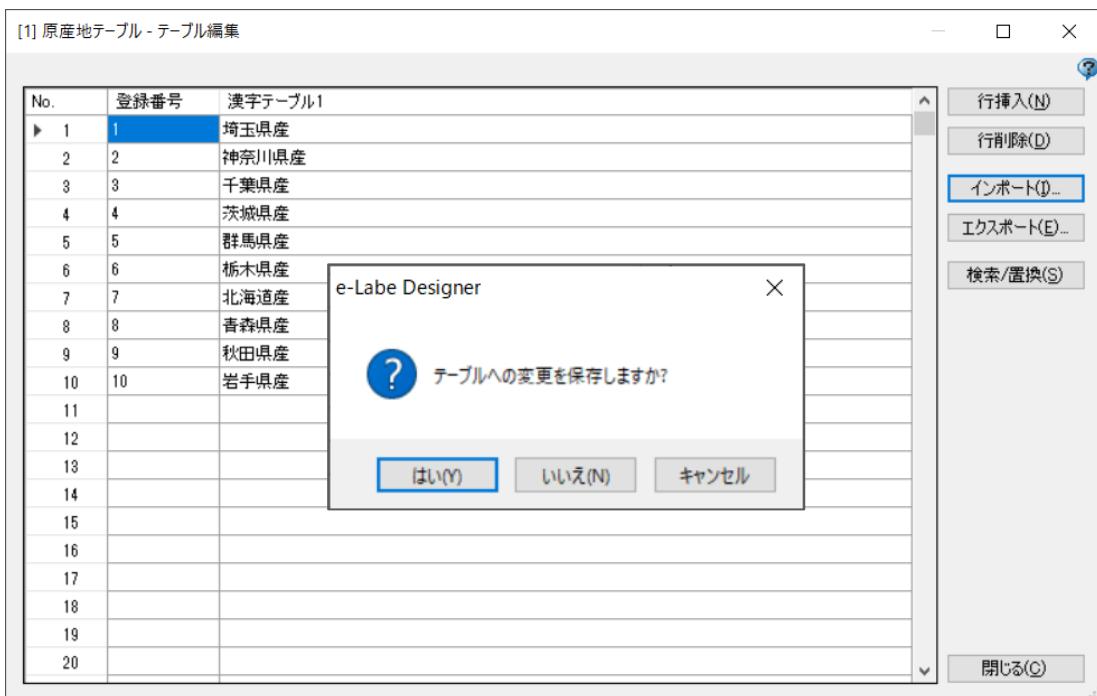
4. インポート方法の確認ダイアログが表示されます。[削除]を選択し、[OK]をクリックします。

フォーマット別マスター編集機能



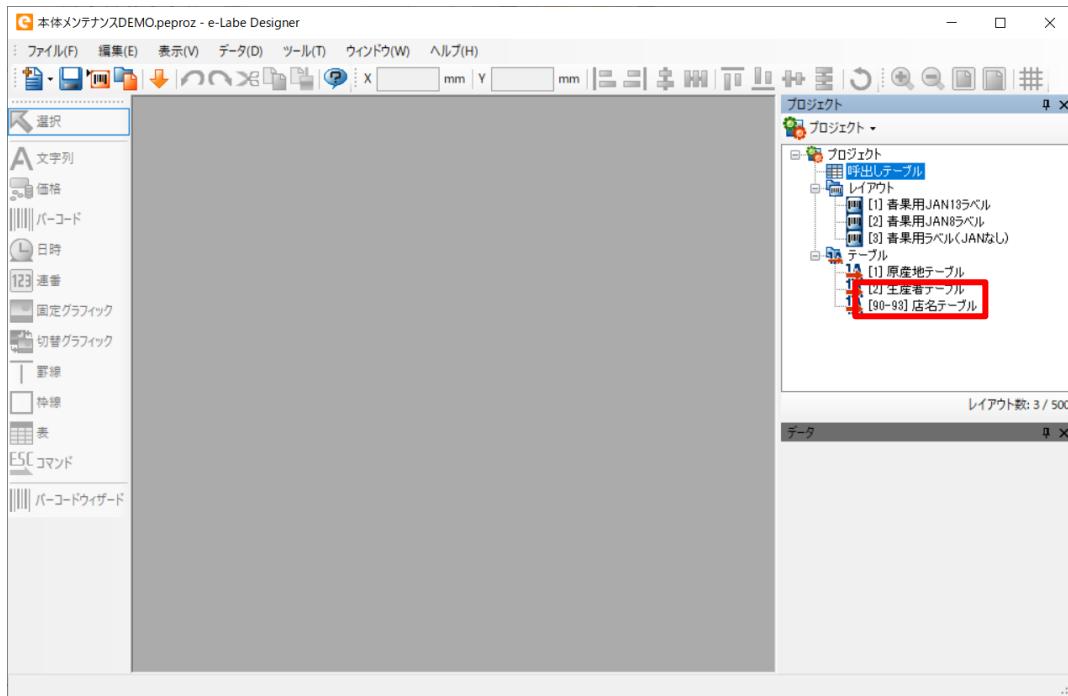
編集したマスターデータが Designer の漢字テーブルにインポートされます。

5. [閉じる]をクリックし、保存の確認ダイアログで[はい]を選択します。



店名テーブルデータを取り込む

1. 店名テーブルをダブルクリックします。



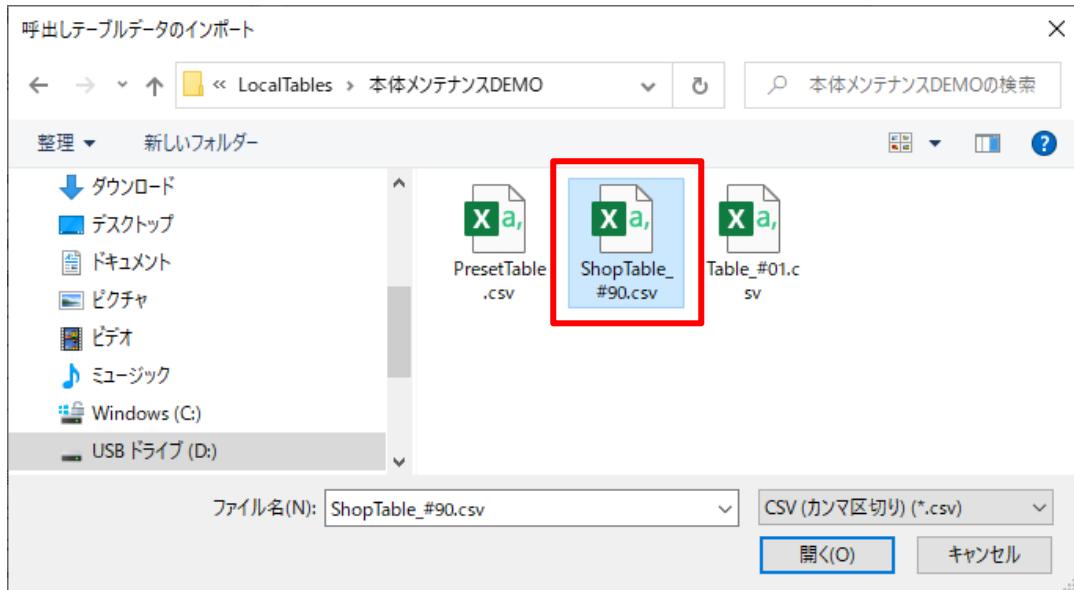
2. [インポート]ボタンをクリックします。



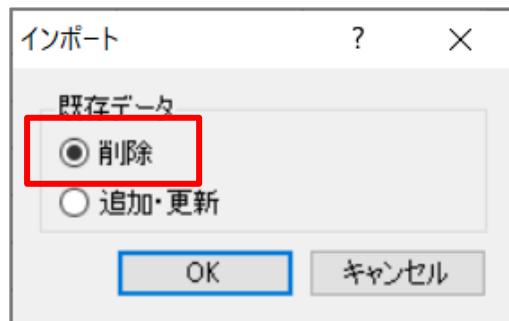
3. インポートするファイルを選択します。

フォーマット別マスター編集機能

USB メモリのドライブ> SATO> BackupFiles> (復元する端末名フォルダ) > (バックアップ日時フォルダ) > LocalTables> 本体メンテナンス DEMO フォルダを選択し、「ShopTable_#90.csv」を選択し[開く]をクリックします。



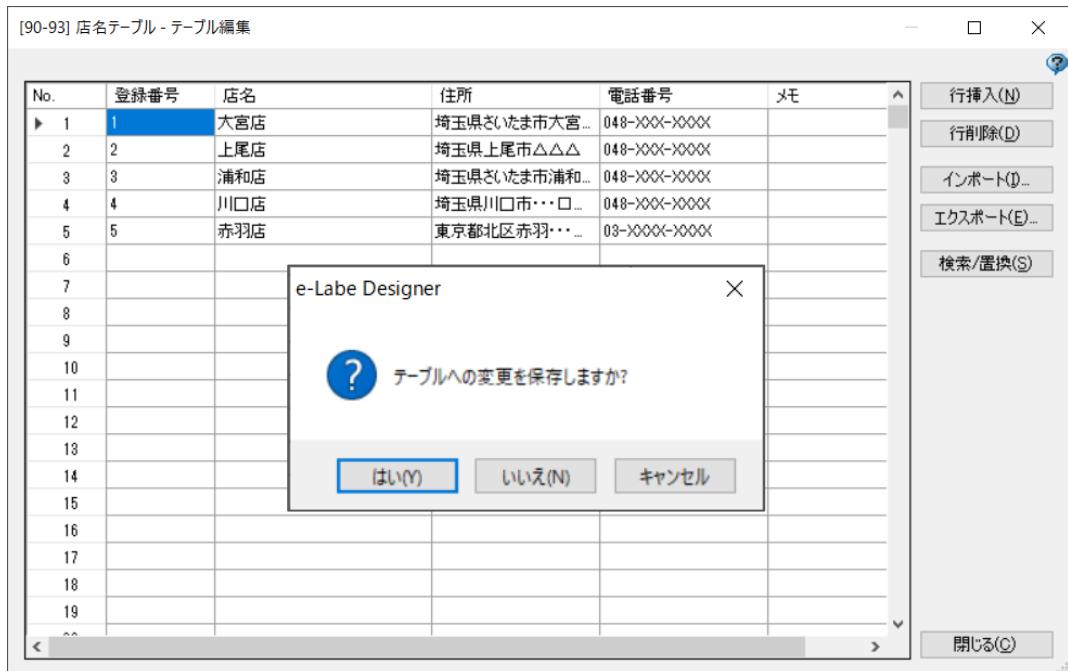
4. インポート方法の確認ダイアログが表示されます。[削除]を選択し、[OK]をクリックします。



編集したマスターデータが Designer の店名テーブルにインポートされます。

5. [閉じる]をクリックし、保存の確認ダイアログで[はい]を選択します。

フォーマット別マスター編集機能



Designer からデータ出力を起こない、フォーマットファイルを FX3-LX に反映する

Print のマスターデータと同期したフォーマットファイルを、再度 FX3-LX に反映させます。

＜手順＞

- ・FX3-LX に USB メモリからデータ更新でフォーマットファイルをセット
- ・FX3-LX の古いマスターファイルの削除

1. Designer のデータ出力で、USB メモリを指定してフォーマットファイルを出力します。



詳細の手順は本マニュアルの以下の 1~4 の手順を参照してください。

- [フォーマットファイルをエクスポートする](#)

2. 「1」の USB メモリを FX3-LX に挿し、データ更新を実行します。

詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

- [USB メモリとデータ連携する](#)

3. (メニュー) をタップします。

4. [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

5. 設定メニュー画面で [マスター編集] をタップします。

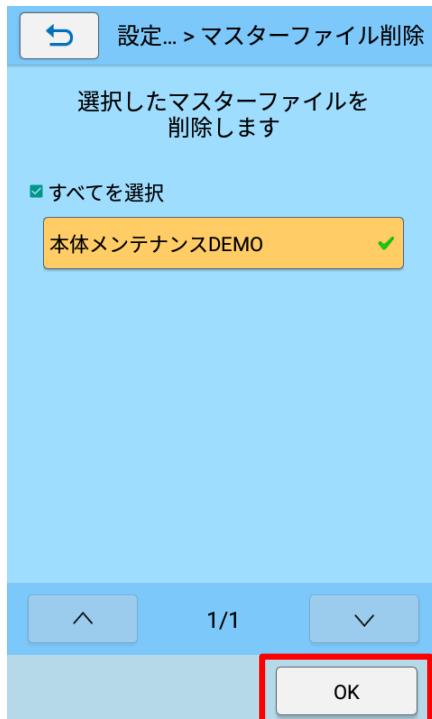


6. [マスターファイル削除] をタップします。

フォーマット別マスター編集機能



7. 削除するマスターファイルを選択し、[OK]をタップします。



8. 削除の確認ダイアログが表示されたら[OK]をタップします。

全てのマスターファイルを削除します。
この操作を元に戻すことはできません。
よろしいですか?

キャンセル **OK**

発行履歴機能

発行履歴データを e-Labe Print 内部で持つ履歴データベースに記録します。記録した履歴は、テキストファイルに出力してパソコンで確認したり、e-Labe Print の発行履歴表示画面で確認したりすることができます。

注意

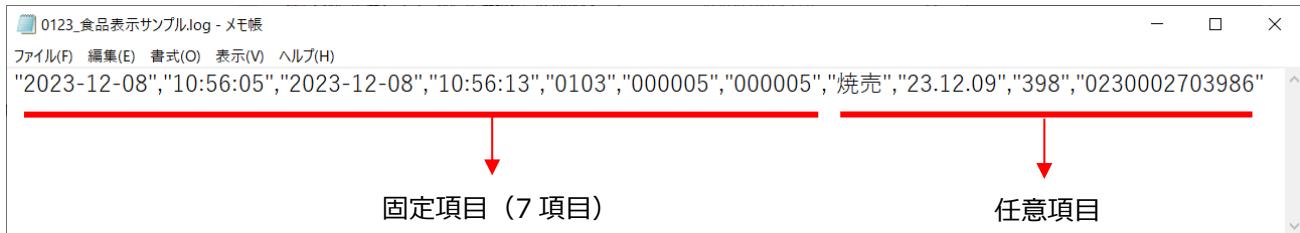
本資料の記載内容は e-Labe Ver.1.15.0 以上のご利用を前提とします。

発行履歴項目

発行履歴で記録できる項目は[固定項目]と[任意項目]があります。

e-Labe Print の発行履歴出力設定を[使用する]にすると[固定項目]が記録されます。

[固定項目]以外に記録したい項目がある場合は e-Labe Designer で指定します。



■固定項目

項目名	データ	備考
発行指示日	YYYY-MM-DD	
発行指示時刻	hh:mm:ss	
発行完了日	YYYY-MM-DD	下記注釈を参照
発行完了時刻	hh:mm:ss	下記注釈を参照
呼出し No.	0001～9999	
発行指示枚数	000001～009999	
発行完了枚数	<通常時> 000001～009999 <エラー時> E01:000001～009999 E02:000001～009999	下記注釈を参照 ■ e-Labe での発行キャンセル時 発行が確認できた枚数を表示 ■ 通信エラー時 エラーフラグ (E01/E02) と発行が確認できた枚数を表示 E01:コマンド送信前にエラー発生 E02:コマンド送信後にエラー発生

※1 「発行完了日」「発行完了時刻」「発行完了枚数」の項目は、e-Labe Print の「枚数カウント表示」設定が有効な場合、またはレイアウト中に「リアルタイム発行機能が有効な日時オブジェクト」が含まれている場合に値を記録し、それ以外の場合は値を記録しません。

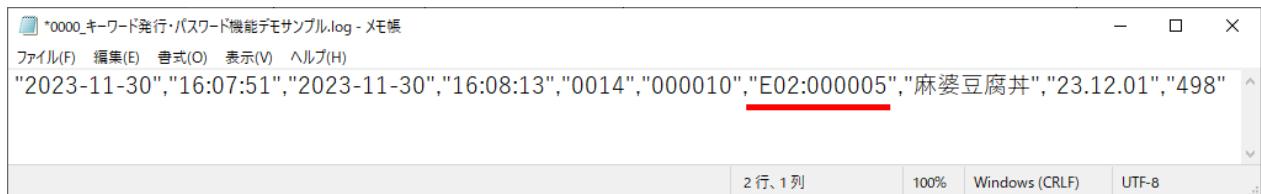
発行履歴機能

また、発行履歴をテキストファイルにエクスポート時は記録されていない項目は値が空で出力されます。

※2 ハクリ発行モード利用時「発行完了時刻」は「ハクリ操作完了時」の時刻が出力されます。

発行履歴データについて

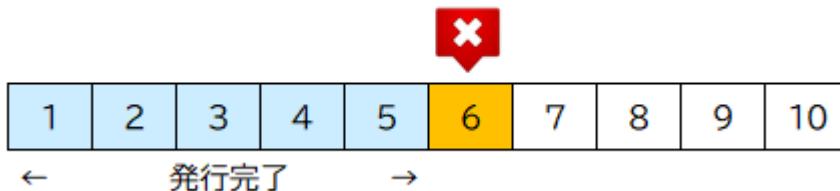
- ・e-Label で発行途中にキャンセルした場合に記録される発行履歴データについては巻末の「[\[付録\]キャンセル時の発行履歴データについて](#)」をご参照ください。
- ・下図のように発行履歴の[発行完了枚数]にエラーフラグが表示されている場合は発行途中に通信エラーによりプリンタの状態確認ができなくなったことを示します。コマンド送信後に通信エラーが発生した場合は、表示されている[発行完了枚数]以上に実際のラベルが印字される場合があります。



```
*0000_キーワード発行・パスワード機能デモサンプル.log - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
"2023-11-30", "16:07:51", "2023-11-30", "16:08:13", "0014", "000010", "E02:000005", "麻婆豆腐丼", "23.12.01", "498"
```

[E02:000005]の場合

6枚目コマンド送信後に通信エラー



5枚目までは発行確認OK
6枚目は発行できているか
通信エラーのため不明

- ・「枚数カウント表示」設定が ON の状態で発行中にプリンタをシャットダウンした場合は、発行履歴が出力されない場合があります。

■任意項目

レイアウト上にある項目を発行履歴に記録可能です。設定は Designer の発行履歴設定画面でおこないます。Designer の細かな設定方法は「[発行履歴機能の基本設定](#)」をご参照ください。

＜任意項目の条件＞

設定可能な最大項目数：99 項目

1 項目あたりの最大桁数：1000 桁

全項目の合計の最大桁数：5000 桁

- ・Designer の設定画面

発行履歴機能

発行履歴データ設定

No.	履歴項目	開始行	行数	サンプル
1	品名	1	30	(品名)
2	消費期限	1	8	23.12.08
3	本体価格	1	4	198
4	JANコード	1	13	0200007501986
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

合計 55 行

OK キャンセル

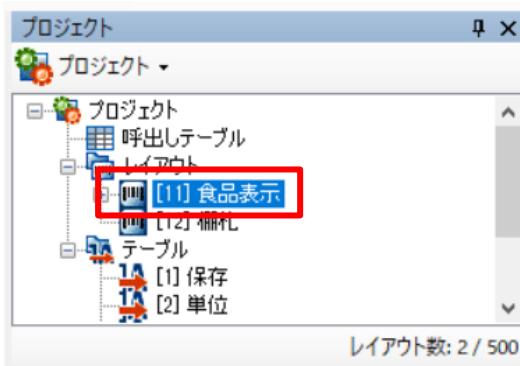


発行履歴機能の基本設定

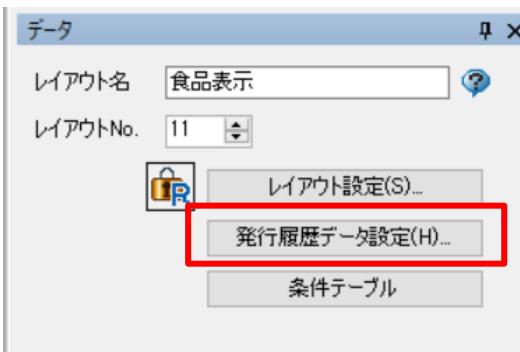
e-Labe Designer で発行履歴に出力する任意項目を設定する

任意項目はレイアウト毎に設定することができます。

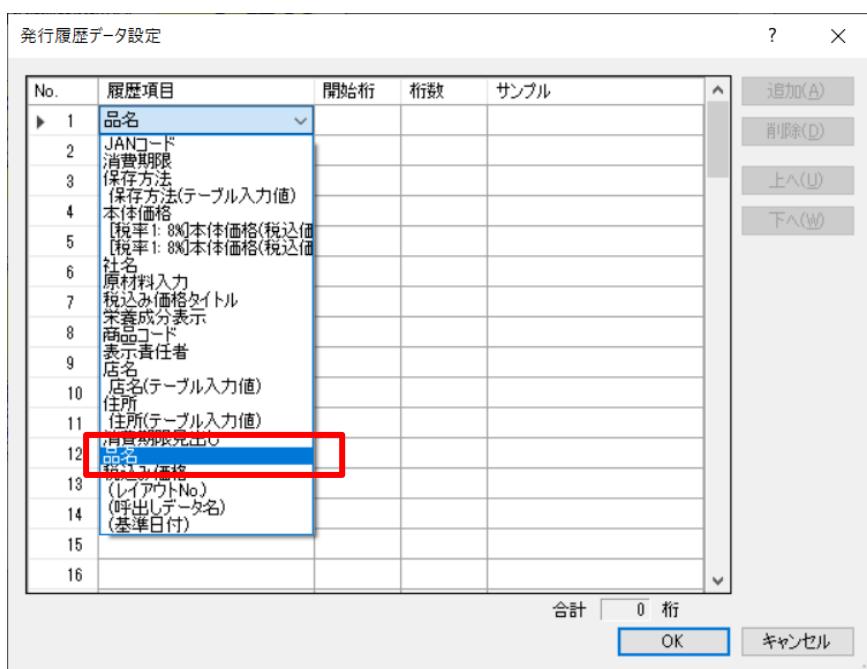
1. プロジェクトを開き、発行履歴の任意項目を設定するレイアウトを選択します



2. データウィンドウの「発行履歴データ設定」ボタンをクリックします



3. 発行履歴に出力したい項目をリストから選択します。



4. すべて登録が完了したら「OK」をクリックします



フォーマットを出力し、発行端末にセットしてください。

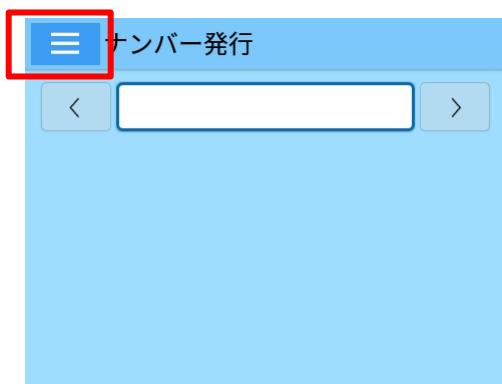
e-Labe Print で発行履歴の出力設定をオンにする

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



発行履歴機能

2.  (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

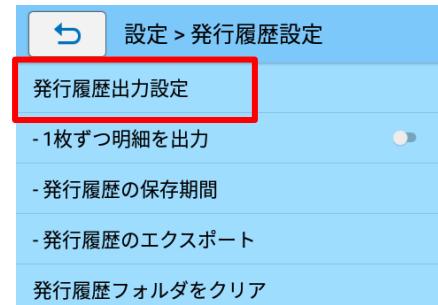
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [発行履歴設定] をタップします。



5. [発行履歴出力設定] をタップします。



発行履歴機能

6. 発行履歴出力設定が[使用する]が選択されていることを確認します。[使用しない]が選択されている場合は設定を変更して [OK] をタップします。



発行履歴機能の基本設定は以上です。

注意

- 初期設定は[使用する]が選択されています。
 - [互換形式]を有効にすると Ver.1.6.0 以前の形式の発行履歴データが出力されます。
- 通常選択する必要はありません。

発行履歴のオプション機能



[1枚ずつ明細を出力] 初期値：オフ

[連番オブジェクト]や[リアルタイム発行機能が有効な日時オブジェクト]が含まれるラベルを発行時、発行履歴をラベル1枚単位で記録することができます。

```

0123_食品表示サンプル.log - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
"2023-12-03","02:01:02","2023-12-03","02:01:07","0003","000001","000001","焼壳","23.12.03","280","50001"
"2023-12-03","02:01:07","2023-12-03","02:01:11","0003","000001","000001","焼壳","23.12.03","280","50002"
"2023-12-03","02:01:11","2023-12-03","02:01:15","0003","000001","000001","焼壳","23.12.03","280","50003"
"2023-12-03","02:01:15","2023-12-03","02:01:20","0003","000001","000001","焼壳","23.12.03","280","50004"

```

注意

- ・本オプションは操作設定>枚数カウント表示機能がオンの場合に有効になります。
- ・上記オブジェクトが含まれないラベルの場合、本設定が有効でも発行単位で履歴が記録されます。

発行履歴機能

[発行履歴の保存期間] 初期値: 7日



発行履歴データを内部データベースに保存する期間を 1~365 日の間で指定できます。指定した期間を過ぎた発行履歴データは e-Label Print 起動時に削除されます。

[発行履歴のエクスポート]

内部データベースに記録された発行履歴データを発行履歴フォルダにフォーマット単位のテキストファイル形式で出力します。

出力先: 「内部共有ストレージ」> 「SATO」> 「Histories」フォルダ

出力ファイル名: [端末No.]_[フォーマットファイル名].log

例) 端末 No. 「1」、フォーマットファイル名 「食品表示サンプル」 → 0001_食品表示サンプル.log

[発行履歴フォルダをクリア]

発行履歴テキストファイルの保存先である発行履歴フォルダ(「内部共有ストレージ」> 「SATO」> 「Histories」)内のファイルをすべて削除します。

[発行履歴データベースをクリア]

内部データベースで記録している発行履歴データを削除します。

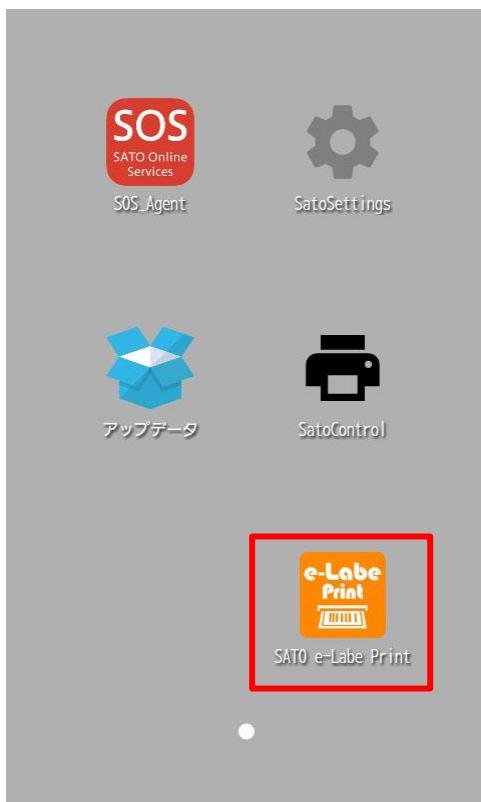
発行履歴データを取得する

発行履歴データはカンマ区切りのテキストファイルに出力して取得することができます。

USB ケーブルをパソコンに接続して手動でコピーする方法や SATO App Storage などデータ連携用サーバーにアップロードする方法について説明します。

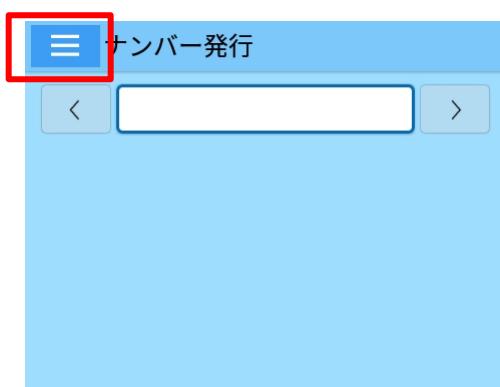
USB ケーブルをパソコンに接続して手動でコピーする

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します。

2.  (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3. **[⚙️ 設定] をタップします。**

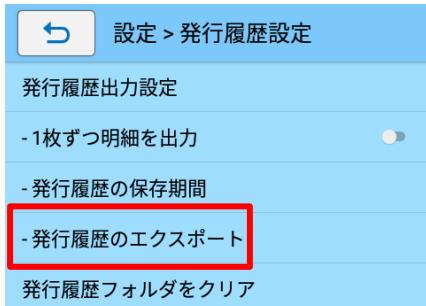
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

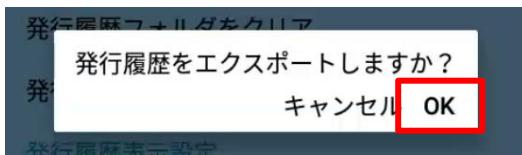
4. 設定メニュー画面で **【発行履歴設定】** をタップします。



5. **【発行履歴のエクスポート】をタップします。**



6. **【発行履歴をエクスポートしますか？】と確認ダイアログが表示されますので、[OK]をタップします。**

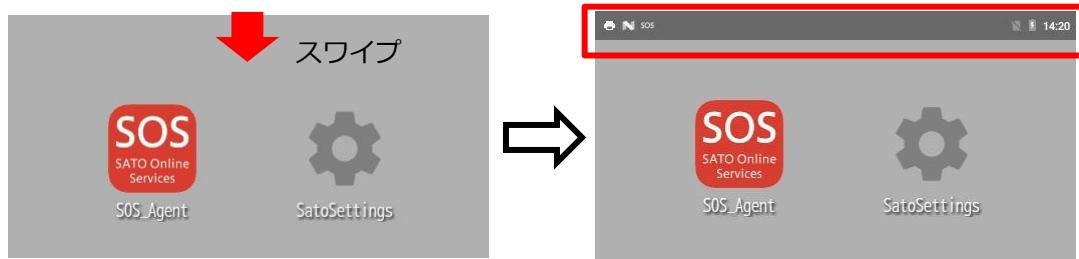


7. パソコンと FX3-LX を USB ケーブルで接続します。

8. FX3-LX のホーム画面上部を下にスワイプします。

ステータスバーが表示されます。

発行履歴機能



9. ホーム画面上部をもう一度下にスワイプします。

クイック設定パネルが表示されます。



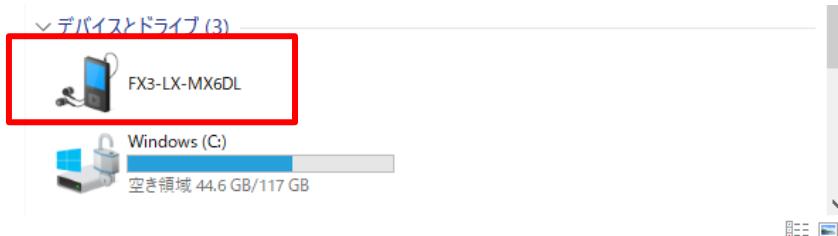
10. 「USB をファイル転送に使用」が表示されていることを確認します。

注意

「USB をファイル転送に使用」が表示されていないときは代わりに「USB for Printer」または「USB を写真転送に使用」が表示されている可能性があります。これらがあった場合はタップし、「ファイルを転送する」を選択してください。

11. コンピュータのエクスプローラから「PC」を開き、「デバイスとドライブ」>「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックします。

Windows 10 を例にしています。OS によってはメニュー名が異なる場合があります。



注意

- 初めて FX3-LX をコンピュータと接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。このため、アイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 「FX3-LX-MX6DL」をダブルクリックしても中身が表示されない場合は、手順 8 からやり直してください。

12. 「内部共有ストレージ」>「SATO」>「Histories」フォルダを選びます。



注意

「SATO」>「Histories」フォルダがない場合 USB ケーブルを抜いて再度接続してください。

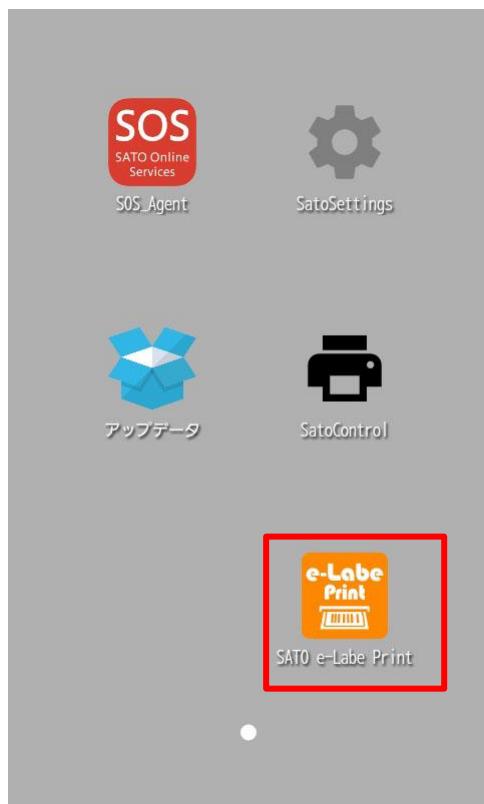
13. Histories フォルダの中にエクスポートされている発行履歴ファイルをコピーし、パソコンに貼り付けます。



データ更新機能でネットワークサーバーや USB メモリにアップロードする

データ更新機能には、発行履歴ファイルをアップロードする機能があります。この機能を使って、データ連携先であるサーバーや、USB メモリ内に発行履歴ファイルを書き込むことが可能です。

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



e-Labe Print が起動します

2.  (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

発行履歴機能

3. [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 設定メニュー画面が表示されます。



5. [外部ストレージ連携管理]をタップします。

6. [連携対象データ]をタップします。

7. [発行履歴ファイル]をオンにします。



8. データ更新を実行して発行履歴ファイルをサーバーや USB メモリにアップロードします。

注意

発行履歴ファイルはアップロード先の Histories フォルダに書き込まれます。

[補足]発行履歴ファイルを Excel で開く方法

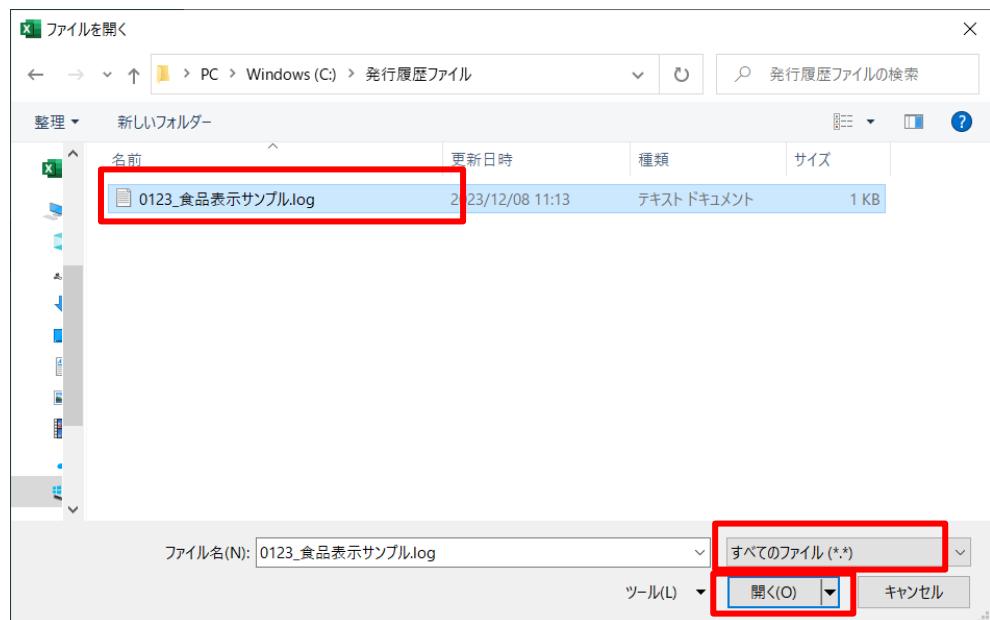
1. Excel を起動し、[ファイル]メニューから[開く]をクリックし、[参照]を選択します。



2. [ファイルを開く]画面でパソコンに取り込んだ発行履歴ファイルを選択し[開く]をクリックします。

注意

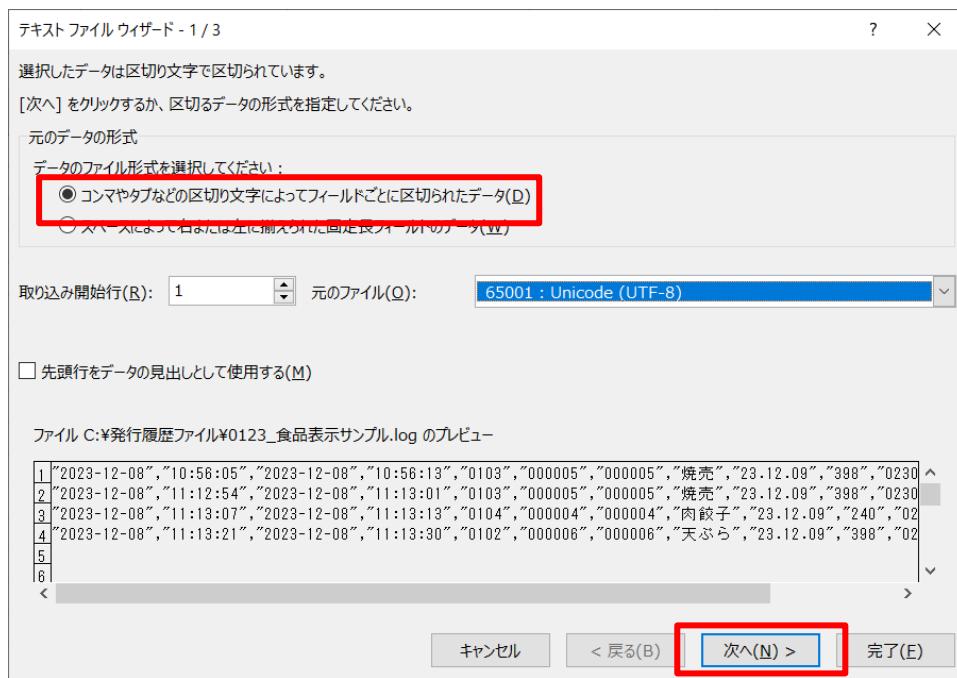
ファイルの拡張子を[すべてのファイル(*.*)]に変更してください。



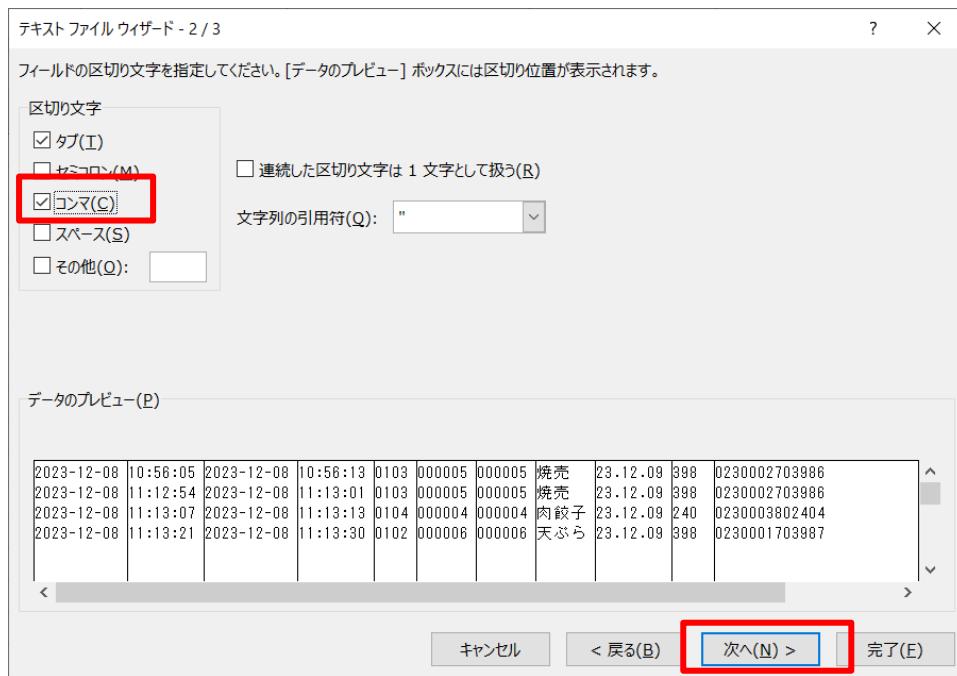
発行履歴機能

3. [テキストファイルウィザード]が開くので以下の手順で設定を進めます。

【1/3】[元のデータの形式]が[コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ]が選択されていることを確認して[次へ]をクリックします。



【2/3】[区切り文字]の[コンマ]にチェックをいれて[次へ]をクリックします。

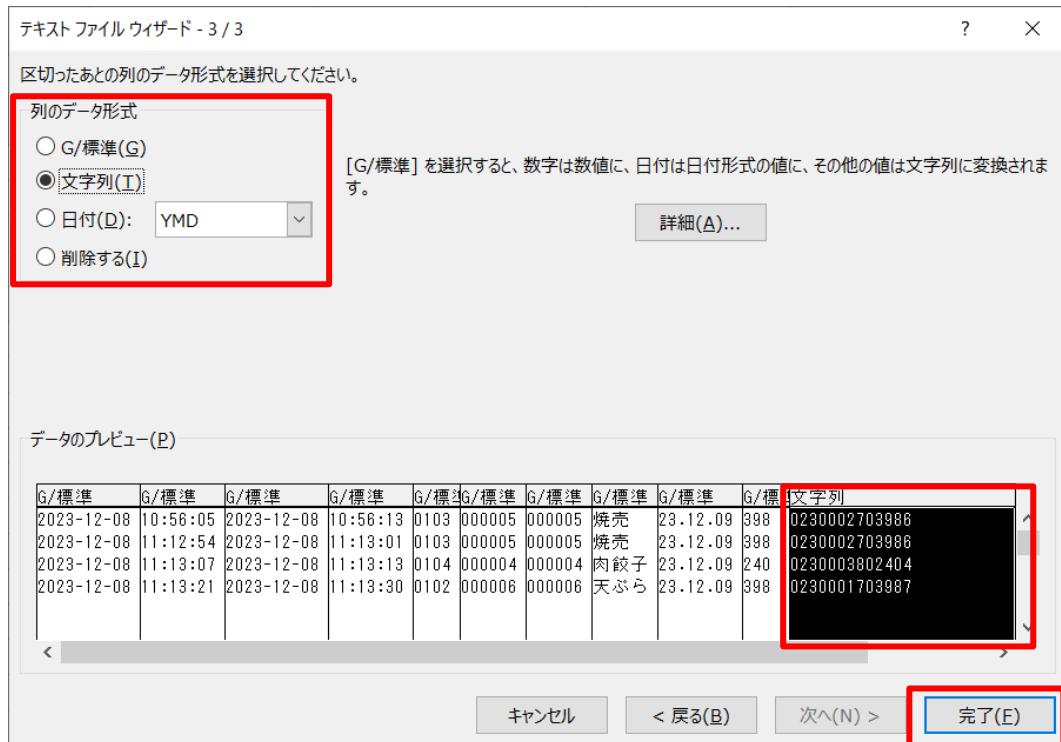


発行履歴機能

【3/3】必要に応じて列（項目）を選択し、[列のデータ形式]を変更します。変更ができたら[完了]をクリックします。

注意

JAN コードなどバーコードの値はデータ形式を[文字列]にしてください。（[G/標準]のままだと Excel 取り込み時、指数形式に変換され正しい表記になりません）



4. Excel で発行履歴データが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	2023/12/8	10:56:05	2023/12/8	10:56:13	103	5	5	焼壳	23.12.09	398	0230002703986
2	2023/12/8	11:12:54	2023/12/8	11:13:01	103	5	5	焼壳	23.12.09	398	0230002703986
3	2023/12/8	11:13:07	2023/12/8	11:13:13	104	4	4	肉餃子	23.12.09	240	0230003802404
4	2023/12/8	11:13:21	2023/12/8	11:13:30	102	6	6	天ぷら	23.12.09	398	0230001703987
5											

注意

Excel の詳細な操作方法についてはお答えいたしかねます。予めご了承ください。

e-Labe Print の発行履歴表示機能を利用する

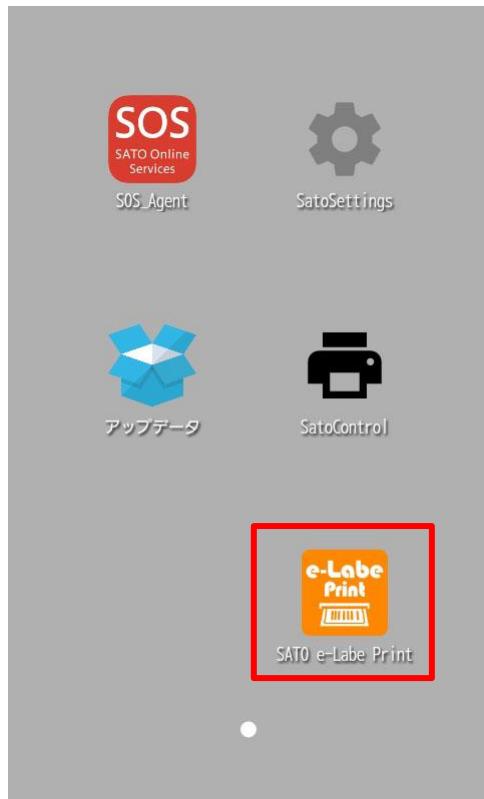
e-Labe Print で発行履歴の確認がおこなえます。検索ウィンドウでキーワードによる簡易的な検索も可能です。

注意

- 表示できる履歴は e-Labe Print Ver.1.7.0 以上で出力した発行履歴のみです。Ver.1.7.0 以上でも「互換形式」がオンになっている場合は表示できません。
- 検索の対象は「任意の履歴項目」です。任意項目の設定方法は Designer 操作マニュアルを参照してください。

発行履歴表示画面で履歴を閲覧する

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



2.  (メニュー) をタップします。

発行履歴機能



注意

発行画面では (メニュー) は表示されません。 をタップして前の画面に戻ってください。

3. [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [発行履歴設定] をタップします。



注意

システム管理>メニューカスタマイズの設定で[発行履歴表示]を[オン]にすることでドロワーメニューから表示することも可能です。



発行履歴機能

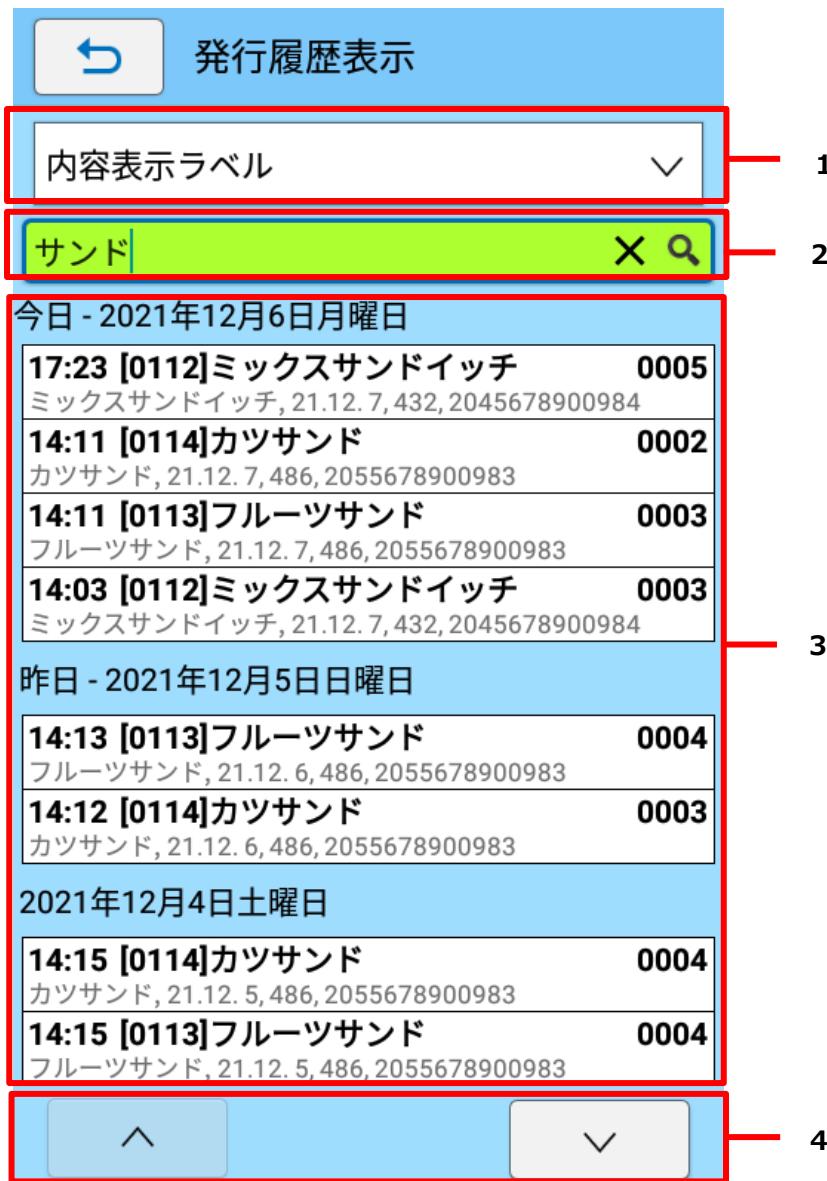
5. [発行履歴表示] をタップします。



6. 選択中のフォーマットの発行履歴が表示されます。



発行履歴表示画面の説明



[0113]フルーツサンド	
発行指示日	2021-12-05
発行指示時刻	14:13:25
発行指示枚数	000004
品名	フルーツサンド
消費期限	21.12.6
[税率1: 8%]価格 1(税込価格)	486
バーコード	2055678900983

閉じる

5

番号	機能名	説明
1	フォーマット選択項目	選択したフォーマットの発行履歴が表示されます。
2	検索ウィンドウ	<p>入力した値が含まれる行を絞り込んで表示します。</p> <p>入力した値の検索対象は「任意の履歴項目」です。固定の履歴項目である「発行指示日」「発行指示時間」「発行指示枚数」「発行完了日」「発行完了時間」「呼出し No.」「呼出しな」の値は検索対象外です。</p> <p>[]検索ウィンドウの値をクリアし、一覧を初期化します。</p> <p>[]入力した値で絞り込みをおこないます。</p> <p>※検索キーの注意事項</p> <p>「英数カナ」・・・全半角を区別しません</p> <p>「記号」・・・全半角を区別します</p> <p>例)「アップル」と入力時「アップル」「アップル」双方検索可 全角「%」入力時、半角「%」は検索不可 アルファベットの大文字／小文字は区別します</p>
3	発行履歴表示欄	<p>発行日単位で表示されます。</p> <p>明細行は上段に「発行指示時間」「呼出し No.」「呼出しな」「発行指示枚数」、下段に任意の履歴項目が表示されます。</p> <p>※「呼出しな」は Ver.1.10 以上で出力した履歴データで表示可能です。</p>
4	ページ送りボタン	前ページ、次ページにページを送ります。長押しすると1つ前（または次）の発行日までページを送ります。

発行履歴機能

5	詳細表示画面	明細行をタップすると履歴情報の詳細を確認できます。画面上で上下にスワイプすることで、画面をスクロール可能です。
---	--------	---

SATO App Storage の発行履歴管理機能を利用する

SATO App Storage の発行履歴データベースに履歴データをアップロードすることで、SATO App Storage の Web 画面で履歴データを閲覧することができます。

利用条件

[e-Labe Print]

- ・バージョン：1.7.0 以上
- ・設定>発行履歴設定>発行履歴出力設定>互換形式：オフ

[SATO App Storage]

- ・契約プラン：「配信・履歴プラン」または「マスタメンテナンスプラン」

※ファイル配信プランでは利用不可

[FLEQV FX3-LX]

- ・ファームバージョン：JP.0.4.2-013 以上
- ・SatoSettings>システム>SATO App Storage の接続情報、「プッシュ通知を受信する：オン」

※FLEQV FX3-LX 以外の場合、e-Labe 専用タブレットに「SATO App Storage Bridge」ソフトをインストールの上、上記接続情報、プッシュ通知の設定が必要

注意

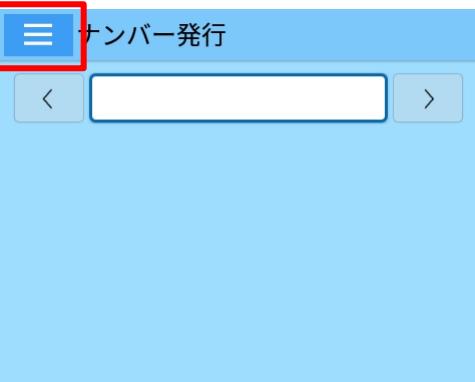
- ・「発行完了日」「発行完了時刻」「発行完了枚数」項目は、SATO App Storage 発行履歴データベースにはアップロードされません。

発行履歴を SATO App Storage にアップロードする

1. FX3-LX のホーム画面で [SATO e-Labe Print] をタップします。



2.  (メニュー) をタップします。



注意

発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

3.  [設定] をタップします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

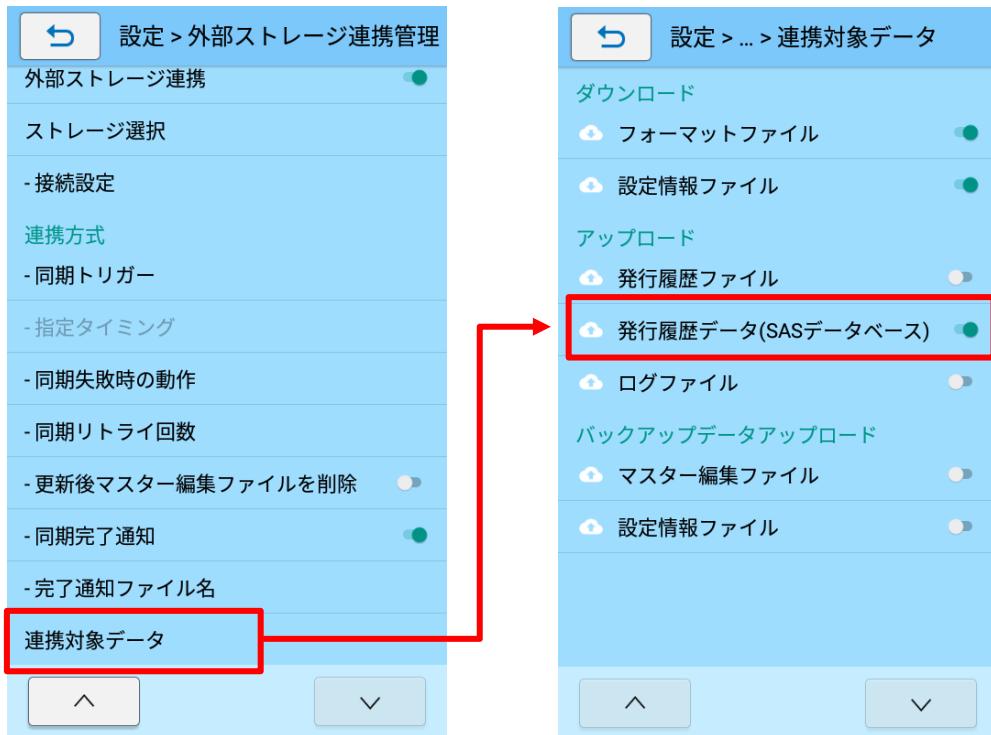
設定メニュー画面が開きます。

発行履歴機能

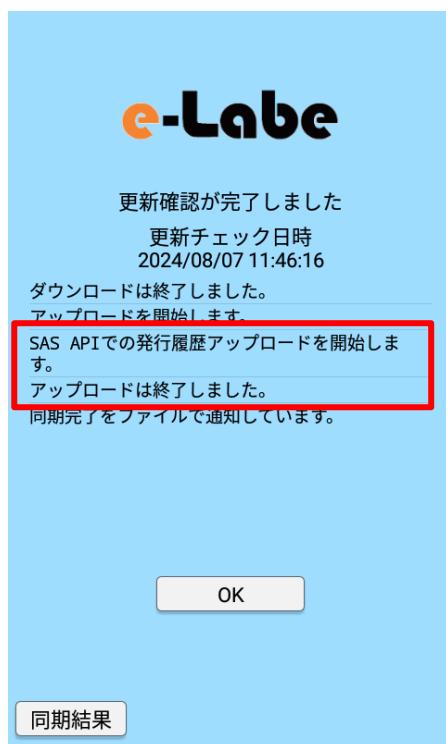
4. 設定メニュー画面で [外部ストレージ連携管理] をタップします。



5. [連携対象データ]を開き、[アップロード]項目の[発行履歴データ (SAS データベース)]をオンにします。



6. データ更新を実行し、SATO App Storage に履歴データをアップロードします。



＜よくあるエラー＞

- ・「データの更新に失敗しました SAS API で発行履歴をアップロードできない契約です。」
→SATO App Storage の契約プランを確認してください。
- ・「データの更新に失敗しました SAS API で発行履歴のアップロードに失敗しました。」
→SATO App Storage 設定画面で「プッシュ通知を受信する」がオンになっているか確認してください。

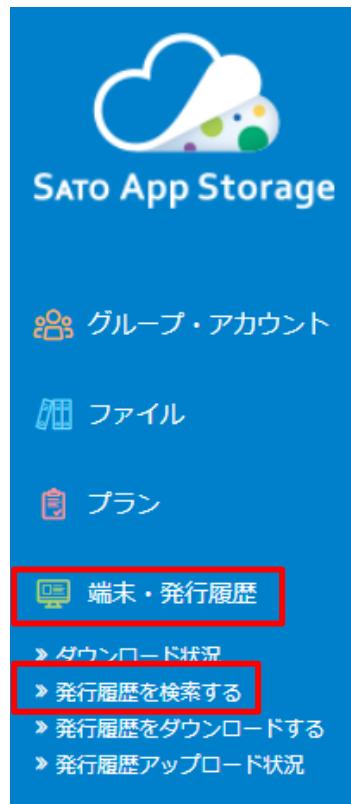


発行履歴を SATO App Storage の Web 画面で閲覧する

1. SATO App Storage のページ (<https://sato-app-storage.com>) にアクセスし、会社 ID、ログイン ID、パスワードを入力の上、ログインします。

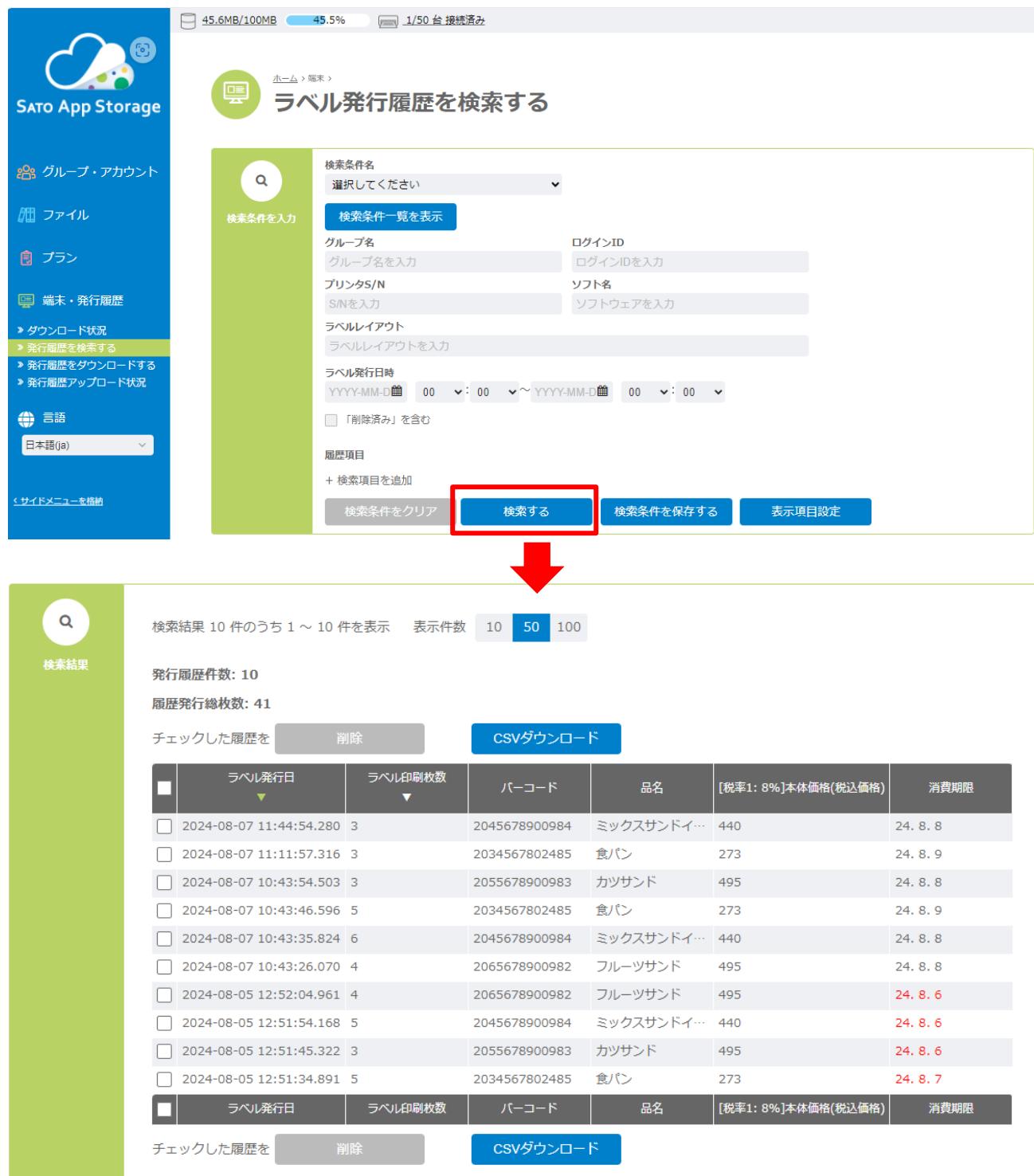


2. 左側メニューの[端末・発行履歴]を選択し、[» 発行履歴を検索する]を選択します。



発行履歴機能

3. [検索する]をクリックします。



45.6MB/100MB 45.5% 1/50 台 接続済み

ホーム > 端末 > ラベル発行履歴を検索する

検索条件名
選択してください

検索条件一覧を表示

グループ名
グループ名を入力

ログインID
ログインIDを入力

プリントS/N
S/Nを入力

ソフト名
ソフトウェアを入力

ラベルレイアウト
ラベルレイアウトを入力

ラベル発行日時
YYYY-MM-DD 00:00 ~ YYYY-MM-DD 00:00

「削除済み」を含む

履歴項目
+ 検索項目を追加

検索条件をクリア 検索する 検索条件を保存する 表示項目設定

検索結果 10 件のうち 1 ~ 10 件を表示 表示件数 10 50 100

発行履歴件数: 10
履歴発行総枚数: 41

チェックした履歴を 削除 CSVダウンロード

ラベル発行日	ラベル印刷枚数	バーコード	品名	[税率1: 8%]本体価格(税込価格)	消費期限
2024-08-07 11:44:54.280	3	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8
2024-08-07 11:11:57.316	3	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9
2024-08-07 10:43:54.503	3	2055678900983	カツサンド	495	24. 8. 8
2024-08-07 10:43:46.596	5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9
2024-08-07 10:43:35.824	6	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8
2024-08-07 10:43:26.070	4	2065678900982	フルーツサンド	495	24. 8. 8
2024-08-05 12:52:04.961	4	2065678900982	フルーツサンド	495	24. 8. 6
2024-08-05 12:51:54.168	5	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 6
2024-08-05 12:51:45.322	3	2055678900983	カツサンド	495	24. 8. 6
2024-08-05 12:51:34.891	5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 7

チェックした履歴を 削除 CSVダウンロード

発行履歴機能

✓ 絞り込みたい条件（検索項目）を追加し検索することも可能です。

履歴項目

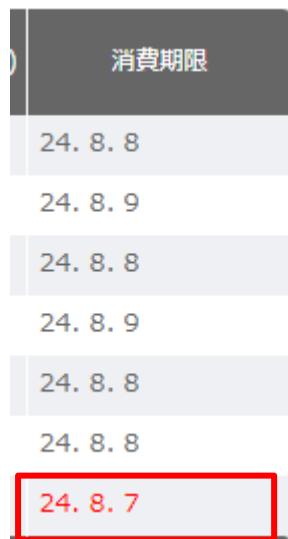
× 消費期限 2024-08-07 00:00:00 以降

+ 検索項目を追加

検索条件をクリア 検索する 検索条件を保存する 表示項目設定

■	ラベル発行日	ラベル印刷枚数	バーコード	品名	[税率1: 8%]本体価格(税込価格)	消費期限
□	2024-08-07 11:44:54.280	3	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8
□	2024-08-07 11:11:57.316	3	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9
□	2024-08-07 10:43:54.503	3	2055678900983	カツサンド	495	24. 8. 8
□	2024-08-07 10:43:46.596	5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 9
□	2024-08-07 10:43:35.824	6	2045678900984	ミックスサンドイ…	440	24. 8. 8
□	2024-08-07 10:43:26.070	4	2065678900982	フルーツサンド	495	24. 8. 8
□	2024-08-05 12:51:34.891	5	2034567802485	食パン	273	24. 8. 7

✓ 現在日時から超過している日付は赤字で表示されるため、期限切れの商品の確認が可能です。



SATO App Storage の詳細については、Web 画面下部に掲載している操作マニュアルをご参照ください。



[付録]印字中止時の発行履歴データについて

e-Labe で発行中に[印字中止]操作をした場合の発行履歴データおよび連番保存値についてまとめた一覧です。

【連番および日時（リアルタイム発行が有効）のどちらも未使用の場合】

条件	履歴明細 設定	発行中の[印字中止]時の発行履歴および連番保存値
枚数カウント表示オン	明細あり ※設定しても明細なしで記録します	【発行履歴】コマンドを送信したら発行履歴を出力します。 [発行完了枚数]に、発行確認が取れた枚数を表示します。
	明細なし	
枚数カウント表示オフ	明細なし	【発行履歴】コマンドを送信したら発行履歴を出力します。

【連番を使用している場合】

条件	履歴明細 設定	発行中の[印字中止]時の発行履歴および連番保存値
枚数カウント表示オン	明細あり	【発行履歴】発行確認が取れた枚数分、発行履歴の明細行を出力します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。
	明細なし	【発行履歴】1枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 [発行完了枚数]に、発行確認が取れた枚数を表示します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。
枚数カウント表示オフ	明細なし	【発行履歴】1枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 【連番保存値】発行指示枚数分カウントアップします。

【日時（リアルタイム発行が有効）を使用している場合】

条件	履歴明細 設定	発行中の[印字中止]時の発行履歴および連番保存値
枚数カウント表示オン	明細あり	【発行履歴】発行確認が取れた枚数分、発行履歴の明細行を出力します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。
	明細なし	【発行履歴】1枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 [発行完了枚数]に、発行確認が取れた枚数を表示します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。
枚数カウント表示オフ※	明細なし	【発行履歴】1枚目のコマンドを送信したら発行履歴を出力します。 【連番保存値】発行確認ができた分カウントアップします。

※枚数カウント表示がオフの場合でも、枚数カウント表示オン + 明細なしと同じ出力結果になります。

便利な機能

1. 複数枚貼りレイアウト機能

[対応バージョン : Ver.1.18.0.0~]

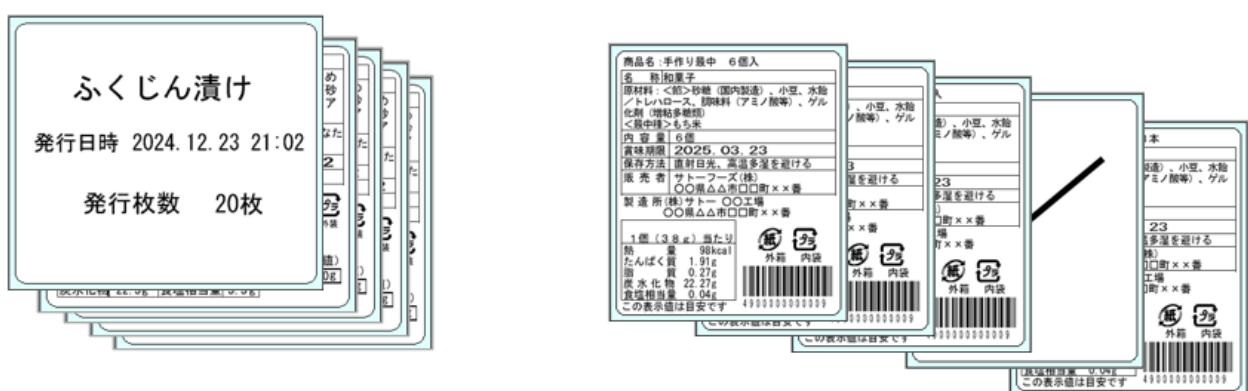
複数枚貼り設定を有効にすることで、1 レイアウト内に異なるデザインのラベルを最大 4 パターンまで作成できます。お弁当の表面、裏面に貼るラベルを一度に発行したい場合などにご利用いただけます。



2. ヘッダラベル・テールラベル機能

[対応バージョン : Ver.1.18.0.0~]

主となるラベルに付随して印字前、または印字後にラベルを印字することが可能です。今から印字するラベルのタイトル、発行指示枚数を印字したり、印字の末尾が分かるよう目印を印字したい場合に使用します。



詳細の設定手順は「e-Labe Designer 操作マニュアル」で『ヘッダラベル、テールラベルを印字する方法』で検索してください。

3. 発行枚数のプリセット、参照機能

[対応バージョン : Ver.1.18.0.0~]

発行枚数を事前にセット可能です。発行枚数の入力方法を指定することで、発行時に発行枚数の変更を許可するかどうかを指定できます。

呼び出しテーブルデータ登録

レイアウト (すべて)

No	呼び出しNo.	呼び出し名	レイアウト指定	品名	(発行枚数)
▶ 1	102	天ぷら盛合せ(小)	[1] 食品表示 1,5	天ぷら盛合せ(小)	15
2	103	天ぷら盛合せ(中)	[1] 食品表示 1	天ぷら盛合せ(中)	10
3	104	野菜かき揚げ	[1] 食品表示 1	野菜かき揚げ	8
4	110	穴子天	[1] 食品表示 1	穴子天	12

0102 天ぷら盛合せ (小)

基準日付 2025/01/23 12:02

日時4 AM2

□ プレビュー □ 発行

1	2	3	BS
4	5	6	C
7	8	9	0
15	枚	□ 発行	

0103 天ぷら盛合せ (中)

基準日付 2025/01/23 12:02

日時4 AM2

□ プレビュー □ 発行

1	2	3	BS
4	5	6	C
7	8	9	0
10	枚	□ 発行	

詳細の設定手順は「e-Labe Designer 操作マニュアル」で『発行枚数をプリセットする方法』で検索してください。

4. 発行枚数の上限／下限チェック機能

[対応バージョン : Ver.1.18.0.0～]

上限値／下限値をセットすることで発行枚数入力時に入力チェックをおこない、発行枚数の入力ミスを防止します。

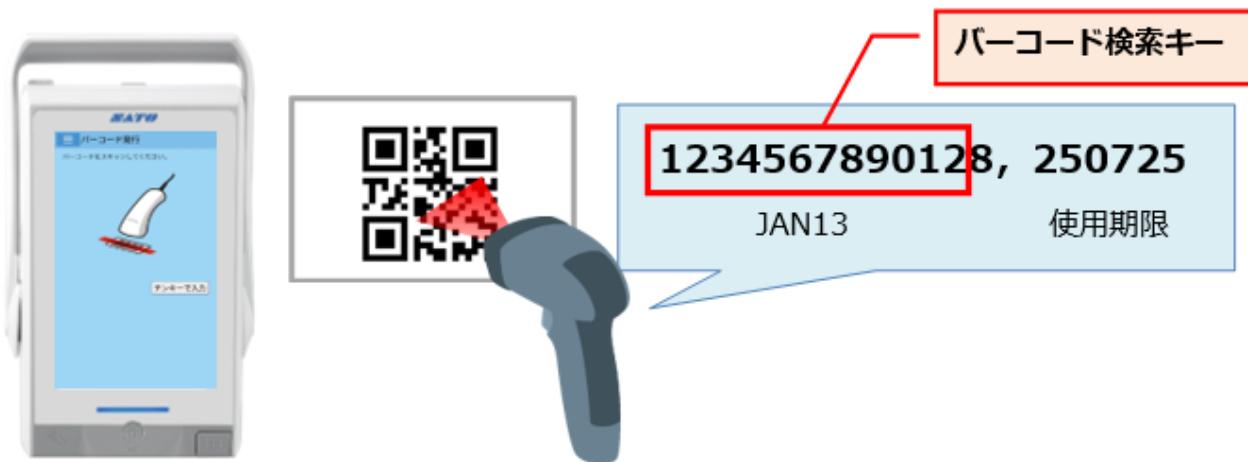


詳細の設定手順は「e-Labe Designer 操作マニュアル」で『発行枚数の上限／下限チェック機能の設定方法』で検索してください。

5. バーコード発行で読み込んだ値の一部を使用して検索する機能

[対応バージョン : Ver.1.19.0.0~] PRO 形式のみ

読み込んだ一部の値を検索キーとしてバーコード発行で検索が可能です。カンマで区切られた複数の値から指定の列の値を検索キーとすることも可能です。



呼び出しテーブル定義

No.	項目名	桁数	桁数チェック	文字種チェック	属性
1	品名	24	チェックなし	チェックなし	
2	保存温度帯	4	チェックなし	チェックなし	
3	使用期限(日)	3	入力必須(未入力)	数字のみ	
4	検索キー	12	チェックなし	チェックなし	Barcode search key 詳細
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

Barcode search key 詳細設定

全桁で検索

指定範囲で検索

列番号 区切り文字

開始桁 桁数

OK キャンセル

詳細の設定手順は「e-Labe Designer 操作マニュアル PRO形式」で『バーコード発行で読み込んだ値の一部を使用して検索する方法』で検索してください。

6. バーコード発行で読み込んだ値を印字データとして参照する機能

[対応バージョン：Ver.1.19.0.0～] PRO形式のみ

バーコード発行画面で読み込んだ値を保持し、印字項目として参照することができます。



詳細の設定手順は「e-Labe Designer 操作マニュアル PRO形式」で『バーコード発行で読み込んだ値を印字データとして参照する方法』で検索してください。

e-Labe Print のバックアップと復元

e-Labe Print の環境を USB ストレージにバックアップ／復元が可能です。

バックアップは FX3-LX の内部共有ストレージ> SATO フォルダを丸ごと保存します。

復元は、USB ストレージ内のバックアップ用フォルダから「FormatFiles」「LocalTables」「Settings」データを反映します。復元をおこなうと、復元前のデータはすべて削除されます。

また、「バックアップ世代数設定」で保管するバックアップ数を 1～9 世代の間で指定できます。

バックアップ世代数を設定する

1.  (メニュー) をタップします。

2.  [設定] をタップします。

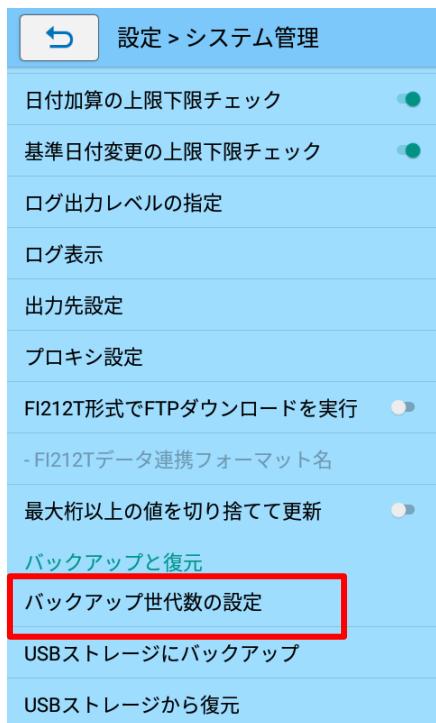
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

設定メニュー画面が開きます。

3. 設定メニュー画面で [システム管理] をタップします。



4. [バックアップ世代数の設定] をタップします。



5. 保管するバックアップ世代数を設定します。

1～9世代の間で設定可能です。初期値は3世代です。

「USBストレージにバックアップ」およびデータ更新による自動バックアップ時に有効です。



USB ストレージにバックアップする

1. USB メモリを FX3-LX の USB ポートに接続します。



注意

USB メモリはあらかじめファイルシステムを「FAT32」でフォーマットしておきます。
詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

- [USB メモリの準備をおこなう](#)

2.  (メニュー) をタップします。

3.  [設定] をタップします。

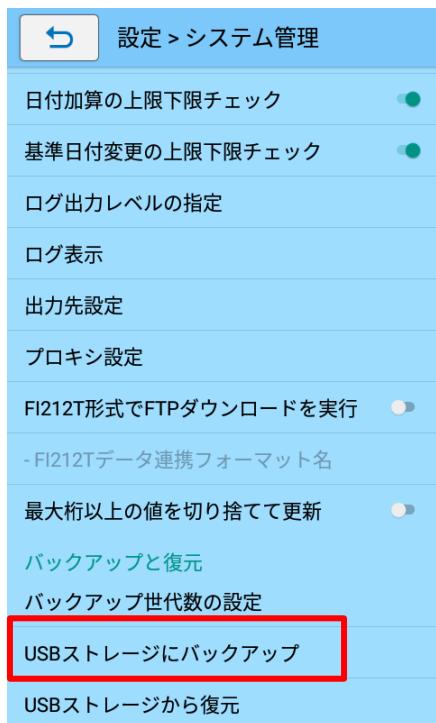
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [システム管理] をタップします。



5. [USB ストレージにバックアップ] をタップします。

バックアップと復元



6. [OK] をタップしてバックアップを実行します。

コメントを入力すると、復元時フォルダー一覧にコメントが表示されます。



7. バックアップデータの保存が完了したら[OK]をタップします。

USB ストレージから復元する

1. USB メモリを FX3-LX の USB ポートに接続します。



注意

USB メモリはあらかじめファイルシステムを「FAT32」でフォーマットしておきます。
詳細の手順は本マニュアルの以下を参照してください。

- [USB メモリの準備をおこなう](#)
- 2.  (メニュー) をタップします。
- 3.  [設定] をタップします。
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
設定メニュー画面が開きます。

4. 設定メニュー画面で [システム管理] をタップします。



5. [USB ストレージから復元] をタップします。

バックアップと復元



6. [復元する端末名を選択] のリストをタップして復元したい端末を選択します。



注意

端末名は [(端末 No.) - (機種名) - (シリアル No.)] で表示されます。

7. 【復元するバックアップフォルダを選択】のリストをタップして日時ごとのバックアップデータから復元したいフォルダを選択します。

USB ストレージにバックアップ時に「コメント」を入力していると、リストの日時フォルダ名の下に表示されます。



8. 【復元対象ファイル】を選択します。

初期値は全ファイルが復元対象となっています。



9. [e-Labe 関連フォルダ削除後に復元する] を指定します。

初期値はオンになっています。

オフにした場合、復元対象で選択したフォルダ以外のデータは削除されずに残ります。



注意

- ・ チェックをオフにした場合、フォルダによって復元前のデータと復元後のデータが混在するためフォーマットファイルとマスターデータの不整合などが発生する可能性があります。
復元後に必ず動作を確認してください。
- ・ e-Labe 関連フォルダとは以下のフォルダを指します。
 - ・ FI212TData
 - ・ FormatFiles
 - ・ Histories
 - ・ LocalTables
 - ・ Logs
 - ・ Settings

10. [OK] をタップして復元を実行します。



11. 復元が完了したら【OK】をタップします。

OKをするとe-Labe Printは自動的に再起動し復元データを反映します。



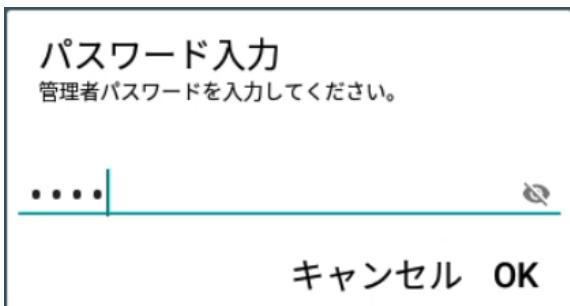
e-Labe Print の設定メニュー

設定メニューを使用して、e-Labe Print の各種設定をおこないます。

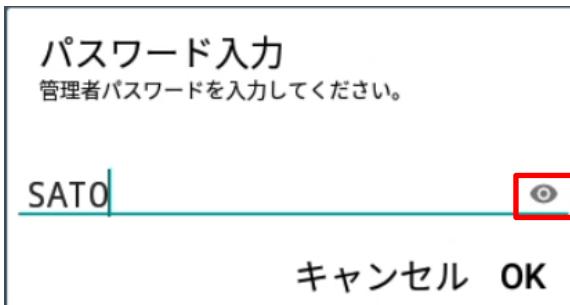
設定メニューを表示する

1.  (メニュー) をタップします。
2. [設定] をタップします。

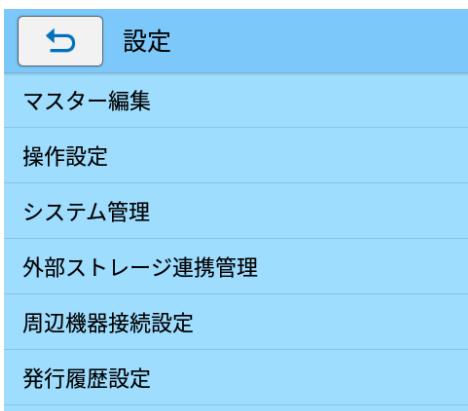
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。



右端のアイコンをタップすると入力した値を表示します。



3. 設定メニュー画面が表示されます。



注意

- ・ 発行画面では  (メニュー) は表示されません。  をタップして前の画面に戻ってください。

マスター編集

メニュー	詳細	初期値
端末 No.	端末 No.を設定します。 設定した桁数より大きい値は入力できません。	0
- 衔数	端末 No.の桁数を 4~6 衔で設定します。	4
店名テーブル (0 番)	店名テーブルに 0 番を入力時に参照する店舗情報を登録します。	
店名	店名を設定します。(最大桁数 60 衔)	—
住所	住所を設定します。(最大桁数 100 衔)	—
電話番号	電話番号を設定します。(最大桁数 80 衔)	—
メモ	メモを設定します。(最大桁数 80 衔)	—
[フォーマット別マスター編集]		
フォーマット選択	マスター編集を行う PRO 形式のフォーマットを選択します。 ※[外部ストレージ連携]がオフの場合に有効です。	ドロワーメニューで選択しているフォーマット
呼出しテーブル	選択したフォーマットの呼出しテーブルデータの「新規登録」「コピーして新規登録」「変更」「削除」が可能です。	—
漢字テーブル	選択したフォーマットの漢字テーブルデータの「新規登録」「コピーして新規登録」「変更」「削除」が可能です。 ※漢字テーブルの追加、削除はできません。	—
店名テーブル	選択したフォーマットの店名テーブルデータの「新規登録」「コピーして新規登録」「変更」「削除」が可能です。 ※店名テーブルの追加、削除はできません。	—
マスターファイル削除	フォーマット単位でマスター編集データの削除が可能です。	—

操作設定

メニュー	詳細	初期値
アイテム選択、入力完了時に即時発行	<p>即時発行を使用するか設定します。</p> <p>オン アイテム選択と同時にラベル発行します。 [入力項目を順次表示]がオンの場合は、最後の入力画面を確定するとラベル発行します。</p> <p>オフ 即時発行を使用しません。</p>	オフ
- 発行前に確認画面を表示	<p>即時発行前に確認画面を表示するか設定します。</p> <p>[アイテム選択、入力完了時に即時発行]がオンの場合に有効です。</p>	オフ
入力項目を順次表示	<p>アイテム選択後の発行操作を設定します。</p> <p>オン 入力画面を順番に表示します。すべての入力画面を確定すると、発行画面を表示します。</p> <p>オフ アイテム選択後に発行画面を表示します。</p>	オフ
- レイアウト選択画面をスキップ	<p>順次入力時レイアウト切り替え用のボタンを表示します。表示されるタイミングは最初の入力項目です。</p> <p>[入力項目を順次表示]がオンの場合に有効です。</p>	オフ
発行後の戻り先を指定	<p>ラベル発行後の動作を設定します。</p> <p>アイテム選択画面 アイテム選択画面に戻ります。</p> <p>発行画面 発行画面に戻ります。</p> <p>※[アイテム選択、入力完了時に即時発行]がオフの場合は表示されません。</p> <p>順次入力の先頭画面 最初の入力画面に戻ります。</p> <p>※[入力項目を順次表示]がオンの場合のみ表示されます。</p>	アイテム選択画面

- 発行後に編集データの破棄を確認	アイテム選択画面に戻るときに確認画面を表示するかを設定します。[発行後の戻り先を指定]が[発行画面]の場合に有効です。	オン
発行枚数キーボードのデフォルト表示	<p>発行枚数入力用のテンキー表示を設定します。</p> <p>オン テンキーを表示します。</p> <p>オフ テンキーを表示しません。発行枚数をタップするとテンキーを表示します。</p>	オン
SATO Control 条件表示	<p>SATO Control を発行枚数に合わせて表示するかどうかを設定します。</p> <p>オン [表示条件]で指定した発行枚数以上の場合に SATO Control を表示します。※</p> <p>オフ SATO Control の動作に従います。</p> <p>※本機能を使用するには、SATO Control 設定で[表示]設定を[マニュアル]にする必要があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>表示</p> <p><input checked="" type="radio"/> マニュアル</p> <p><input type="radio"/> 常に表示</p> <p><input type="radio"/> イベント表示</p> <p style="text-align: right;">キャンセル</p> </div>	オフ
- 表示条件	SATO Control を表示させる発行枚数を 1~9999 から指定します。[SATO Control 条件表示]がオンの場合に有効です。	2
- 発行後に閉じる	発行後に SATO Control を閉じるかどうかを設定します。[SATO Control 条件表示]がオンの場合に有効です。	オフ
SATO Control のショートカット表示	画面右上に SATO Control のショートカットを表示するかどうかを設定します。	オフ
枚数カウント表示	<p>ラベル発行中、残発行枚数を画面に表示するかどうかを設定します。</p> <p>オン 発行中に残発行枚数を表示します。</p> <p>オフ 発行中のメッセージのみを表示します。</p>	オフ

基準日付の一時変更許可	発行画面に表示される基準日付の一時変更を許可するかどうかを設定します。	オフ
- 一時変更用パスワード	基準日付変更時のパスワードを設定します。 [基準日付の一時変更許可]がオンの場合に有効です。	-
- 一時変更の保持期間	変更した基準日付を保持する期間を設定します。 [基準日付の一時変更許可]がオンの場合に有効です。 1 アイテムのみ 該当のアイテムを選択している間、一時変更した基準日付を保持します。 電源を切るまで FLEQV FX3-LX の電源を切るまでの間、一時変更した基準日付を保持します。	1 アイテムのみ
グループの絞り込み方法	グループ発行画面での絞り込み方法を設定します。 ドロップダウン選択 ドロップダウンリストから選択します。 順次選択 順次選択します。	ドロップダウン選択
漢字テーブルの表示形式	漢字テーブルの選択方法を設定します。 一覧 一覧から項目を選びます。 番号入力 番号を入力して項目を選びます。	一覧
グラフィックテーブルの表示形式	グラフィックテーブルの選択方法を設定します。 アイコン アイコンから項目を選びます。 一覧 一覧から項目を選びます。 番号入力 番号を入力して項目を選びます。	アイコン
価格項目の未入力許可	価格項目の入力時、未入力を許可するかどうかを設定します。	オフ

税設定	<p>消費税計算の参照先を設定します。</p> <p>フォーマット設定値</p> <p>フォーマットファイルの設定を使用します。</p> <p>本体設定値</p> <p>e-Labe Print の設定を使用します。</p>	フォーマット設定値
- 税率 1	<p>税率 1 の値を設定します。</p> <p>[税設定]が[本体設定値]の場合に有効です。</p>	10%
- 税率 2	<p>税率 2 の値を設定します。</p> <p>[税設定]が[本体設定値]の場合に有効です。</p>	8%
- 端数処理	<p>端数処理を設定します。</p> <p>[税設定]が[本体設定値]の場合に有効です。</p> <p>切り捨て</p> <p>消費税計算の端数を切り捨てます。</p> <p>切り上げ</p> <p>消費税計算の端数を切り上げます。</p> <p>四捨五入</p> <p>消費税計算の端数を四捨五入します。</p>	四捨五入
プレビュー機能を使用	<p>プレビュー機能を使用するかどうかを設定します。発行画面にプレビューボタンが表示されます。</p>	オン
- デフォルトでプレビュー画面を表示	<p>アイテム選択と同時にプレビューを行うか設定します。</p> <p>オン</p> <p>プレビュー画面を表示します。※</p> <p>オフ</p> <p>発行画面を表示します。</p> <p>※入力項目にエラーがある(ex.入力必須に対して初期値が空)場合、プレビューに失敗します。</p>	オフ
- デフォルトの表示サイズ	<p>プレビュー表示時の初期サイズを指定します。</p> <p>原寸大で表示</p> <p>原寸大で表示します。</p> <p>画面横幅に合わせて表示</p> <p>画面の横幅に合わせて表示します。</p> <p>画面高さに合わせて表示</p> <p>画面の高さに合わせて表示します。</p>	原寸大で表示

- デフォルトの表示方向	<p>プレビューの表示方向を反時計回りの角度で指定します。レイアウトの用紙回転方向と合わせると e-Labe Designer と同じ向きで表示できます。レイアウトの頭出し/尻出しありません。</p> <p>0度  用紙回転が 0° のレイアウトに使用します。</p> <p>90度  用紙回転が 90° のレイアウトに使用します。</p> <p>180度  用紙回転が 180° のレイアウトに使用します。</p> <p>270度  用紙回転が 270° のレイアウトに使用します。</p>	0 度
呼出し No.表示	<p>呼出しデータ名の表示形式を設定します。</p> <p>オン 呼出し No. + 呼出し名で表示します。</p> <p>オフ 呼出し名のみ表示します。</p>	オン
呼出し名表示サイズ	<p>呼出しデータ名の表示サイズを指定します。</p> <p>標準  標準サイズで表示します。</p> <p>大  標準サイズの約 1.2 倍で表示します。 ※呼出し No. を表示する場合、呼出し名の桁数によっては途切れる場合があります</p> <p>特大  標準サイズの約 1.8 倍で表示します。 ※呼出し名の桁数によっては途切れる場合があります</p>	標準

<p>アイテム選択情報を保持しない</p> <p>オン</p> <p>アイテムの位置を記憶せず、先頭のページに戻ります。</p> <p>オフ</p> <p>アイテムの位置を記憶し、最後に選択したアイテムのページに戻ります。</p>	<p>発行画面からアイテム選択画面に戻るとき、最後に選択したアイテムの位置を記憶するかどうか設定します。</p>	<p>オフ</p>
<p>発話機能設定</p> <p>※Ver.1.16.0 以降、e-Labe Designer で発話設定をしたフォーマットを選択時、本設定は動作しません。</p> <p>アイテム選択時や発行指示時に指定の言葉を発話させるかどうか設定します。</p> <p>「#呼出し名#」・・・アイテムの呼出し名</p> <p>「#発行枚数#」・・・発行枚数</p> <p>アイテム確定時</p> <p>アイテム確定時に発話します。</p> <p>アイテム確定時の発話内容</p> <p>発話させる内容を入力します。初期値は「#呼出し名#選択」を読み上げます。</p> <p>発行指示時</p> <p>発行指示時に発話します。</p> <p>発行指示時の発話内容</p> <p>発話させる内容を入力します。初期値は「#呼出し名#を#発行枚数#枚発行します」を読み上げます。</p> <p>ハクリ操作時</p> <p>プリンタがハクリモードまたはノンセパカタモードのとき、発行されたラベルを取った際に発話します。</p> <p>※ハクリ操作時に発話するためには操作設定の「枚数カウント表示」の設定を有効にする必要があります</p> <p>ハクリ操作時の発話内容</p> <p>発話させる内容を入力します。初期値は「#呼出し名#」を読み上げます。</p>	<p>※Ver.1.16.0 以降、e-Labe Designer で発話設定をしたフォーマットを選択時、本設定は動作しません。</p> <p>アイテム選択時や発行指示時に指定の言葉を発話させるかどうか設定します。</p> <p>「#呼出し名#」・・・アイテムの呼出し名</p> <p>「#発行枚数#」・・・発行枚数</p> <p>アイテム確定時</p> <p>アイテム確定時に発話します。</p> <p>アイテム確定時の発話内容</p> <p>発話させる内容を入力します。初期値は「#呼出し名#選択」を読み上げます。</p> <p>発行指示時</p> <p>発行指示時に発話します。</p> <p>発行指示時の発話内容</p> <p>発話させる内容を入力します。初期値は「#呼出し名#を#発行枚数#枚発行します」を読み上げます。</p> <p>ハクリ操作時</p> <p>プリンタがハクリモードまたはノンセパカタモードのとき、発行されたラベルを取った際に発話します。</p> <p>※ハクリ操作時に発話するためには操作設定の「枚数カウント表示」の設定を有効にする必要があります</p> <p>ハクリ操作時の発話内容</p> <p>発話させる内容を入力します。初期値は「#呼出し名#」を読み上げます。</p>	<p>オフ</p>

e-Labe Print の設定メニュー

ハクリ操作時発話抑制 時間	最後にハクリ操作による音声発話をしてから、指定秒数内はハクリ操作をしても音声発話を起こしません。連続してハクリ操作をした際の発話回数を抑えたいときに利用します。0秒～20秒の間で設定します。	0秒
------------------	---	----

システム管理

メニュー	詳細	初期値
フォーマットファイル 自動更新	<p>内部共有ストレージのフォーマットファイルが変更された場合の動作を設定します。</p> <p>オン e-Labe Print の画面が切り替わるタイミングでフォーマットファイルを自動更新します。</p> <p>オフ ■ (フォーマットファイル選択) の左に更新マークを表示します。更新マークをタップするとフォーマットファイルを更新します。</p>	オン
設定情報の自動インポート	<p>内部共有ストレージの[SATO]>[Settings]フォルダに [eLabePrint.xml] (設定情報ファイル) がある場合のインポート動作を設定します。</p> <p>オン e-Labe Print の画面が切り替わるタイミングで設定情報をインポートし更新します。</p> <p>オフ 自動インポートは行いません。</p>	オフ
設定情報のインポート	内部共有ストレージの[SATO]>[Settings]フォルダにある[eLabePrint.xml] (設定情報ファイル) をインポートします。一部の設定情報のみ記載された差分ファイルも取り込み可能です。	-
設定情報のエクスポート	設定情報を内部共有ストレージの[SATO]>[Settings]フォルダの[eLabePrint.xml] にエクスポートします。 ※ただし、各種 ID・パスワードはエクスポートされません。	-
管理者パスワード	設定メニューを表示するためのパスワードを設定します。 ※設定情報にはエクスポートされません	-
スタート画面設定	FX3-LX 起動と合わせて自動で e-Labe Print も起動するかどうかを設定します。	オフ
- インテントを入力	自動起動時に表示させる画面を指定します。 [ショートカット生成モード]を有効にして、表示させた	-

e-Labe Print の設定メニュー

	い画面のインテントをコピーしてください。 未入力の場合はアイテム選択画面が開きます。	
ショートカット生成モード	<p>ショートカット生成モードを使用するか設定します。</p> <p>オン</p> <p>ショートカット生成モードを有効にします。 e-Labe Print の各画面にインテントを取得するための三点アイコンを表示します。アイコンをタップするとインテント URI をクリップボードにコピーします。</p> <p>オフ</p> <p>ショートカット生成モードを無効にします。</p>	オフ
メニューカスタマイズ	e-Labe Print のメニュー項目を編集します。オフにした項目はメニューに表示されません。	
	ナンバー発行	オン
	グループ発行	オン
	キーワード発行	オン
	バーコード発行	オン
	履歴発行	オン
	データ更新 ※[外部ストレージ連携管理]の[外部ストレージ連携]の設定と連動します。データ更新は行うがメニューに表示させない場合、この項目をオフにしてください。	オン
	マスター編集	オフ
	発行履歴表示	オフ
配信表示フィルターを使用	e-Labe Designer の「配信開始日/終了日」や「配信先指定」の機能を使用するか設定します。	オン
日付加算の上限下限チェック	日付加算値の上限下限チェックをおこなうか設定します。	オン
基準日付変更の上限下限チェック	基準日付の変更時、上限下限チェックをおこなうか設定します。	オン
ログ出力レベルの指定	<p>動作ログの出力方法を設定します。</p> <p>簡易ログ取得</p> <p>Android のログ機能を使ってログを出力します。電源 OFF や時間経過によりログが削除される場合があります。</p>	簡易ログ取得

	長期ログ取得 ログを内部データベースに出力します。 電源 OFF 後も保持され、最大 7 日間分のログを保存します。	
ログ表示	動作ログの表示、エクスポートをおこないます。	-
出力先設定	(本設定は変更しないでください)	
プロキシ設定	インターネット接続時のプロキシ設定をおこないます。	
	プロキシを使用する プロキシ設定を使用します。	オフ
	- アドレス プロキシサーバのアドレスを入力します。	-
	- ポート ポート番号を入力します。	-
	- ユーザ認証を使用する プロキシ使用時にユーザ認証が必要な場合に選択します。	オフ
	- ユーザ名 ユーザ認証のユーザ名を入力します。 ※設定情報にはエクスポートされません	-
	- パスワード ユーザ認証のパスワードを入力します。 ※設定情報にはエクスポートされません	-
FI212T 形式で FTP ダウンロードを実行	FTP サーバより FI212T 形式のテキストデータを e-Labe 用に変換してダウンロードするかを設定します。	オフ
- FI212T データ連携 フォーマット名	FI212T 形式のデータをインポートする PRO 形式のフォーマットファイル名（拡張子除く）を入力します。 例) TEST.pefmtz の場合、「TEST」と入力	-
最大桁数以上の値を切り捨てて更新	発行時に入力した値が最大桁をオーバーした場合エラーとせずに最大桁数以上の値を除いてデータを確定するかどうかを設定します。(FI212T 互換)	オフ

[バックアップと復元]		
バックアップ世代数の設定	「USB ストレージにバックアップ」および「データ更新時のバックアップデータアップロード」で、保管できるバックアップフォルダの世代数を設定します。	3

e-Labe Print の設定メニュー

USB ストレージにバックアップ	USB ストレージに e-Labe Print のデータをバックアップします。	-
USB ストレージから復元	USB ストレージから e-Labe Print のデータを復元します。 FormatFiles、Settings、LocalTables を復元可能です。	-

外部ストレージ連携管理

メニュー	詳細	初期値
外部ストレージ連携	<p>SATO App Storage などの外部ストレージとのデータ連携をおこなうかどうかを設定します。</p> <p>オン メニューに[データ更新]を表示します。</p> <p>オフ メニューに[データ更新]を表示しません。</p>	オン
ストレージ選択	<p>接続するストレージを選択します。</p> <p>SAS (SATO App Storage) (株)サトーが提供するクラウドストレージサービスに接続します。</p> <p>WebDAV (HTTP) WebDAV 有効の HTTP サーバに接続します。</p> <p>FTP FTP サーバに接続します。</p> <p>USB ストレージ USB メモリなどの USB 機器に接続します。</p>	USB ストレージ
- 接続設定 (SATO App Storage 選択時)	<p>本体設定値を参照 SATO App Storage 接続情報の参照先を設定します。</p> <p>オン SatoSettings の接続情報を使用します。</p> <p>オフ e-Labe Print の接続情報を使用します。</p> <p>アドレス (通常は変更しません)</p> <p>会社 ID 会社 ID を入力します。</p> <p>ログイン ID ログイン ID を入力します。 ※設定情報にはエクスポートされません</p> <p>パスワード ログインパスワードを入力します。 ※設定情報にはエクスポートされません</p>	<p>オン</p> <p>https://sato-app-storage.com/</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>

	<p>詳細設定</p> <p>- フォルダーネーム</p> <p>フォルダーネームを入力します。</p>	-
	<p>詳細設定</p> <p>-SAS 同期トリガー互換</p> <p>同期トリガー設定で「指定タイミング」機能を利用する場合にオンにします。</p>	オフ
	<p>詳細設定</p> <p>-Socket タイムアウト</p> <p>サーバと通信時のタイムアウトを 10 ~ 120 秒の間で指定します。</p>	10 秒
	<p>接続テスト</p> <p>接続テストをおこないます。</p>	-
- 接続設定 (WebDAV 選択時)	<p>アドレス</p> <p>サーバのアドレスを入力します。</p>	-
	<p>ユーザ名</p> <p>ログインユーザ名を入力します。</p> <p>※設定情報にはエクスポートされません</p>	-
	<p>パスワード</p> <p>ログインパスワードを入力します。</p> <p>※設定情報にはエクスポートされません</p>	-
	<p>接続テスト</p> <p>接続テストをおこないます。</p>	-
- 接続設定 (FTP 選択時)	<p>アドレス</p> <p>サーバのアドレスを入力します。</p>	-
	<p>ユーザ名</p> <p>ログインユーザ名を入力します。</p> <p>※設定情報にはエクスポートされません</p>	-
	<p>パスワード</p> <p>ログインパスワードを入力します。</p> <p>※設定情報にはエクスポートされません</p>	-
	<p>転送モード</p> <p>FTP サーバ接続時の転送モードを設定します。</p> <p>アクティブモード</p> <p>アクティブモードを使用します。</p>	パッシブモード

	<p>パッシブモード</p> <p>パッシブモードを使用します。</p>	
	<p>接続テスト</p> <p>接続テストをおこないます。</p>	-
[連携方式]		
- 同期トリガー	<p>データ更新をおこなうタイミングを設定します。[USB ストレージ]選択時は設定できません。</p> <p>電源起動時</p> <p>FX3-LX 起動時に自動でデータ更新をおこないます。</p> <p>毎回</p> <p>電源起動時必ずデータ更新をおこないます。</p> <p>1日1回</p> <p>電源起動時のデータ更新を1日1回までとします。FX3-LX Plusをご利用の場合はこちらを選択してください。ダウンロードデータの有無に関わらず、日付が変わるまでは電源起動時のデータ更新は実行されません。</p>	オン
	<p>指定タイミング</p> <p>※SATO App Storage 選択時はデフォルトでは表示されません。利用するには「SAS 接続設定」内の「-SAS 同期トリガー互換」をオンにしてください。</p> <p>指定時刻</p> <p>指定した時刻にデータ更新をおこないます。</p> <p>指定間隔</p> <p>指定した間隔でデータ更新をおこないます。</p>	オフ
- 指定タイミング	<p>[同期トリガー]で[指定タイミング]をオンにした場合に有効になります。</p> <p>[指定時刻]選択時</p> <p>0:00～23:59 から設定します。</p> <p>[指定間隔]選択時</p> <p>1 時間～24 時間から設定します。</p>	-
- 同期失敗時の動作	<p>データ更新失敗時、発行操作を許可するかどうかを設定します。</p> <p>発行許可</p> <p>発行操作を許可します。データ更新失敗時、画</p>	発行許可

	<p>面に[閉じる]ボタンを表示し、発行メニューに遷移可能とします。</p> <p>発行禁止</p> <p>発行操作を許可しません。データ更新失敗時、[再実行]または[設定]メニューへの遷移のみ可能とします。</p>	
- 同期リトライ回数	データ更新失敗時に自動でリトライする回数を 0~10 回の間で指定します。	0 回
- 更新後マスター編集ファイルを削除	<p>データ更新時、フォーマット別マスター編集ファイルをすべて削除するかを設定します。</p> <p>※フォーマットファイルの更新がない（ダウンロードをスキップした）場合は削除しません</p> <p>※フォーマットファイルを複数使用時は、いずれかのフォーマットファイルの更新が行われるとすべてのマスター編集ファイルを削除します（更新があったフォーマットのみ削除することはできません）</p>	オフ
- 同期完了通知	データ更新成功時、完了通知ファイルをサーバにアップロードするかどうかを設定します。	オフ
- 完了通知ファイル名	<p>完了通知ファイル名の先頭に付加する値を選択します。[同期完了通知] がオンの場合のみ設定できます。</p> <p>端末 No.を付加</p> <p>[マスター編集]の[端末 No.]をファイル名の先頭に付加します。</p> <p>店名テーブル(0 番)の店名情報を付加</p> <p>[マスター編集]の[店名テーブル(0 番)]—[店名]をファイル名の先頭に付加します。</p>	端末 No.を付加
連携対象データ	データ更新の対象データを選択します。	
	[ダウンロード]	
	フォーマットファイル	オン
	設定情報ファイル	オン
	[アップロード]	
	発行履歴ファイル	オフ
	発行履歴データ(SAS データベース) ※[SATO App Storage]選択時のみ	オフ

e-Labe Print の設定メニュー

	※SATO App Storage の契約内容の確認が必要になり ますので、ご利用時は販売店までご相談ください。	
	ログファイル	オフ
[バックアップデータアップロード]		
	マスター編集ファイル	オフ
	設定情報ファイル	オフ

周辺機器接続設定

メニュー	詳細	初期値
Bluetooth 機器に接続	Bluetooth 機器連携を使用するか設定します。	オン
Bluetooth 機器を選択	Bluetooth 機器の検索・ペアリングと、接続先の選択をおこないます。	-
[接続]		
バックグラウンド接続を許可	e-Labe Print がバックグラウンドに遷移時、Bluetooth 接続を維持するかどうかを設定します。 オン Bluetooth 接続を維持します。 オフ Bluetooth 接続を切断します。	オン
[発行画面設定]		
データ受信時に即時発行	発行画面で Bluetooth 機器からデータ受信後、即時発行をおこなうかどうかを設定します。	オン
データ入力フィールドを表示	Bluetooth 機器からのデータ受信用に設定した入力項目を発行画面に表示するかどうかを設定します。	オフ
- フィールド名を変更	Bluetooth 機器からのデータを入力する項目名を入力します。レイアウトの項目名と紐づけます。	(INP-DEV)
[受信設定] ※設定変更時は受信テストを必ず行ってください。		
文字セット	受信したデータの文字コードを選択します。	UTF-8
スタートコード(16 進数)	データ受信を開始する文字列を 16 進数で指定します。 例) [STX] ⇒ 「02」	-
トップコード(16 進数)	データ受信を終了する文字列を 16 進数で指定します。 例) [ETX] ⇒ 「03」	-
受信タイムアウト(ミリ秒)	データ受信を開始してから終了するまでの時間を 0～60000 ミリ秒の間で設定します。	300

発行履歴設定

メニュー	詳細	初期値
発行履歴出力設定	<p>発行履歴を記録するか設定します。</p> <p>使用する</p> <p>発行履歴を内部データベースに記録します。 Ver.1.6.3 より以前のファイル形式で記録する場合は[互換形式]にチェックします。</p> <p>使用しない</p> <p>発行履歴を記録しません。</p>	使用する
- 1枚ずつ明細を出力	<p>[連番オブジェクト]や[リアルタイム発行機能が有効な日時オブジェクト]が含まれるラベルを発行時、ラベル1枚単位で発行履歴を記録するか設定します。</p> <p>[操作設定]の[枚数カウント表示]がオンの場合に有効です。</p> <p>オン</p> <p>ラベル1枚単位で記録します。</p> <p>オフ</p> <p>発行指示単位で記録します。</p>	オフ
- 発行履歴の保存期間	発行履歴を保持する期間を設定します。[互換形式]では無効です。	7日
- 発行履歴のエクスポート	発行履歴を内部共有ストレージのテキストファイルにエクスポートします。[互換形式]では無効です。	-
発行履歴フォルダをクリア	内部共有ストレージの発行履歴フォルダ内のファイルをすべて削除します。	-
発行履歴データベースをクリア	e-Labe Print 内部で記録している発行履歴を削除します。	-
[発行履歴表示設定]		
発行完了日	発行履歴表示画面に表示するかどうかを設定します。	オフ
発行完了時刻	※発行完了日、発行完了時刻、発行完了枚数を表示するには[操作設定]の[枚数カウント表示]をオンにする必要があります（発行履歴に記録されません）。	
発行完了枚数		
発行履歴表示	発行履歴表示画面に遷移します。	-

スペック表

項目		設定値
レイアウト数	STD 形式	基本レイアウト : 5,000 件
		発行レイアウト : 5,000 件
	PRO 形式	レイアウト : 500 件
呼び出しデータ	件数	STD 形式 : 5,000 件
		PRO 形式 : 9,999 件
	呼び出しデータ名桁数	32 桁 (全角 16 桁)
	検索用呼び出し名桁数	100 桁 (全半角入力可)
	登録番号	4 桁 (固定) 数字
入力フィールド 最大桁数		1,000 桁
フィールド数 (1 レイアウトあたり)		200 個
漢字テーブル	テーブル数	最大 99 テーブル
	1 テーブル登録件数	1,000 件
	入力桁数	1,000 桁
	選択方法	リスト選択／番号入力
	登録番号	4 桁 (固定) 数字
グラフィックテーブル	登録件数	99 件
	選択方法	アイコン選択／番号入力／リスト選択
	登録番号	4 桁 (固定) 数字
店名テーブル	登録件数	5,000 件
	選択方法	リスト選択／番号入力
	登録番号	4~6 桁 (設定可) 数字
端末 No.		4~6 桁 (変更可) 数字
容器マスタテーブル	登録件数	99 件 (LR4NX-FOOD のみ)
	登録番号	4 桁 (固定) 数字
参照・結合で結合可能な項目数		最大 30 項目
PRO 形式のレイアウト最大件数		500 件
フォーマット一元管理 (データ連携先)		SATO App Storage／WebDAV／FTP／ USB ストレージ
フォーマットファイル出力先		デバイスとドライブ／SATO App Storage／FTP サーバ／

スペック表

		USB 経由で FX3 またはタブレットに直接書き込み
呼出しテーブルデータファイルサイズ制限		最大 10MB
発行履歴	出力項目数	99 項目
	1 項目の最大桁数	1,000 桁
	合計桁数	5,000 桁
	データ保存形式	内部データベース ※互換モードはテキストファイル
	保存期間設定	1 日～365 日 ※互換モードは対象外
	本体での履歴データ表示可能 ※互換形式の履歴データは対象外	

トラブルシューティング

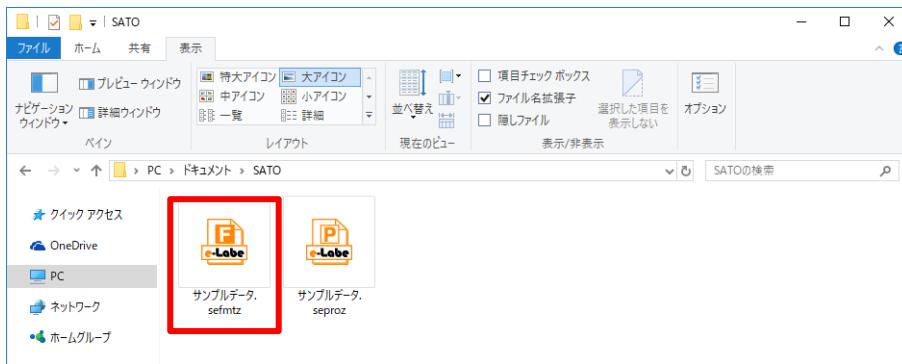
コピーしたフォーマットファイルが、 (フォーマットファイル選択) をタップしても出でこない。

フォーマットファイルを正しいフォルダにコピーしましたか？

- ・ フォーマットファイルは必ず「内部共有ストレージ」>「SATO」>「FormatFiles」フォルダにコピーしてください。他のフォルダにコピーすると、e-Labe Print で読み込めません。

プロジェクトファイルをコピーしていませんか？

- ・ プロジェクトファイル（「P」マークのアイコン）は e-Labe Print で読み込めません。フォーマットファイルは「F」マークのアイコンで拡張子「.sefmtz」または「.pefmtz」のファイルです。



ラベルが発行されない。

FX3-LX の LED インジケータが青に点灯していますか？

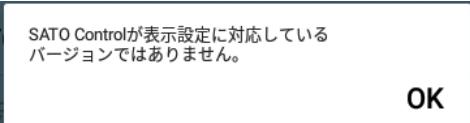
- ・ 消灯している。

FX3-LX はオフライン状態です。オンラインに切り替わるまでラベルは発行されません。Sato コントロールバーで [オンライン] をタップして、オンライン状態に切替えます。詳しくは、FX3-LX の取扱説明書をご覧ください。

- ・ 赤に点灯している。

FX3-LX でエラーが発生しています。画面の指示に従って、エラーを解除してください。詳しくは、FX3-LX の取扱説明書をご覧ください。

[SATO Control 条件表示][SATO Control のショートカット表示]の設定をオンにすると「SATO Control が表示設定に対応しているバージョンではありません。」とエラーになる。



SATO Control のバージョンは Ver.1.1.0 以上ですか？

SATO Control が非対応のバージョンの場合エラーチェックが掛かります。

この機能を使用するには SATO Control のバージョンアップが必要です。販売店にご連絡ください。

[SATO Control 表示条件]をオンにしているにも関わらず、指定した枚数に満たなくとも SATO Control が表示される。

SATO Control の設定は[マニュアル]になっていますか？

- SATO Control の表示条件機能は SATO Control 側の設定が[マニュアル]である必要があります。[常に表示]や[イベント表示]では正しく動作しません。



FX3-LX のホームボタンを押し、[SATO Settings] > [Sato Control] > [表示] をタップし、設定を確認してください。

データ更新時にエラーが発生する。

エラー①：サーバーの接続リクエストは拒否されました。

- ログイン ID やパスワードに誤りはありませんか？接続設定を確認してください。

エラー②：ネットワークに接続されていません。

- IP アドレスやプロキシ設定などネットワークの設定は正しいですか？
- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？